

横 浜 横 須 賀 道 路
氷 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事

設 計 図

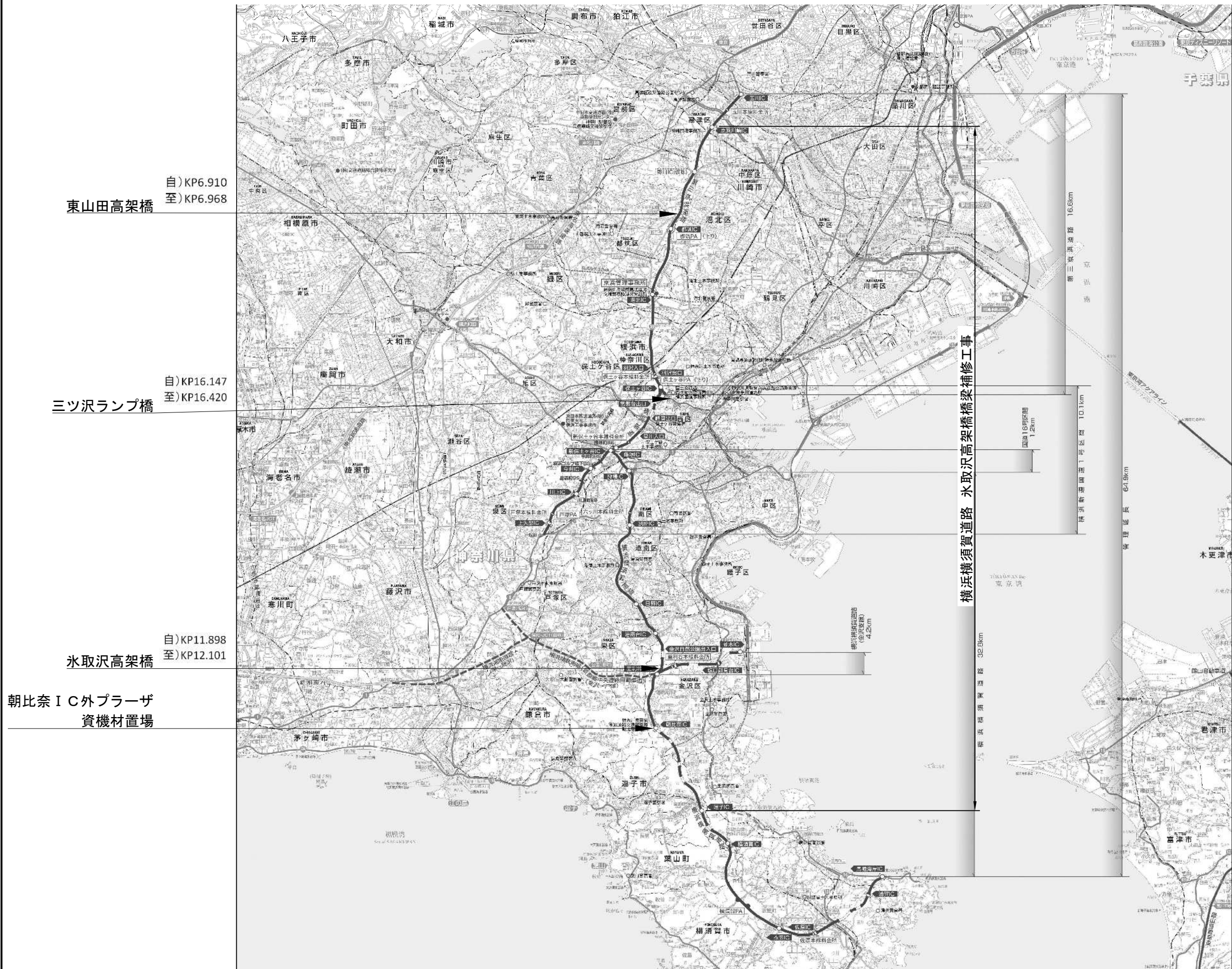
令和 8年 9月

東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社 関 東 支 社
京 浜 管 理 事 務 所

目 次

番号	設計図名称
1～2	位置図(1)～(2)
3	数量総括表
	【東山田高架橋】
4	橋梁一般図
5～6	鋼桁補修工 詳細図(1)～(2)
7	立入防止柵撤去設置工 詳細図
8～9	伸縮装置補修工 詳細図(1)～(2)
10	交通安全要員配置図
	【三ツ沢ランプ橋】
11	橋梁一般図
12～17	鋼桁補修工 詳細図(1)～(6)
18	付帯工 詳細図
19～20	伸縮装置補修工 詳細図(1)～(2)
21～24	交通規制工(1)～(4)
25～28	交通安全要員配置図(1)～(4)

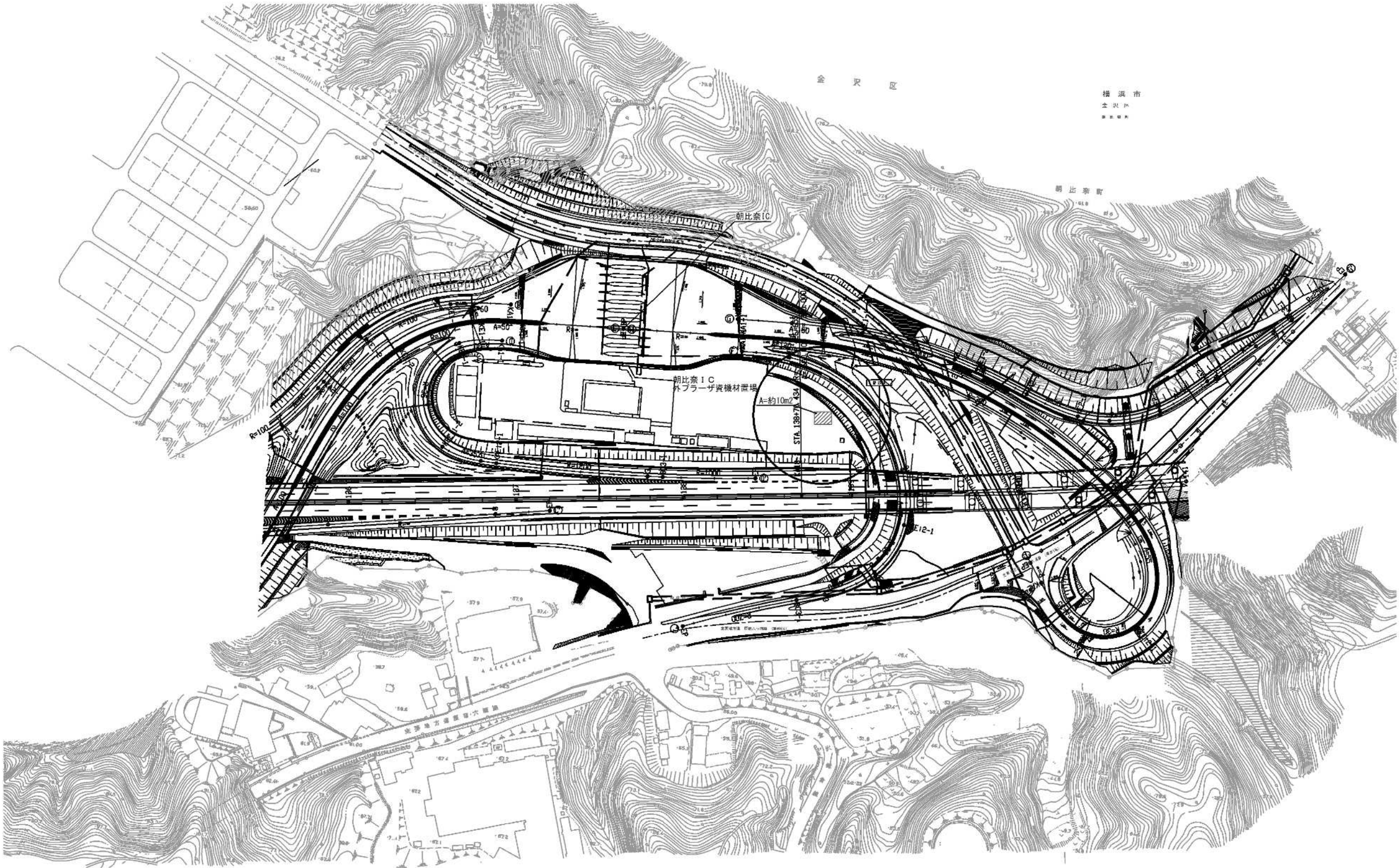
[illegible]



横浜横須賀道路 水取沢高架橋橋梁補修工事			
図面の種類	位置図		
縮尺	—	図面番号	1 / 39
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

位置図(2)

朝比奈IC外プラザ資機材置場 S = 1:2500



横浜横須賀道路 水取沢高架橋橋梁補修工事				
図面の種類	位置図 (2)			
縮尺	図示	図面番号	2 / 39	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所			

数量総括表

橋梁名	上下線 区分	橋脚	15-(10)	15-(11)		16-(22)		17-(29)	17-(37)	19-(1)				備考
			防護柵撤去設置工	立入防止柵撤去設置工		車線分離標撤去設置工		断面修復工	検査路撤去再設置工	交通規制工				
			ガードレール A	一般型非積雪地用	ネットフェンス A	ポールA (H=650mm)	ポールA (H=800mm)	A1(夜)	A(夜)	路肩規制 A1	路肩規制 A2	車線規制 A1(夜)	車線規制 A2(夜)	
			m	m	m	基	基	L	t	回	回	回	回	
東山田高架橋	上	P7	-	-	5.7	-	-	-	-	-	-	-	-	
		P8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	東山田高架橋 計		0.0	0.0	5.7	0	0	0.0	0.000	0	0	0	0	
三ツ沢ランプ橋	下	P5	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
		P5-P6	8.0	8.0	-	12	7	-	-	-	-	-	-	
		P6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		P6-A2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	三ツ沢ランプ橋 計		8.0	8.0	0.0	13	8	0.0	0.000	5	2	0	0	
氷取沢高架橋	上	P1	-	-	-	-	-	1043.9	0.801	-	-	-	-	
		P2	-	-	-	-	-	605.8	0.577	-	-	-	-	
		P5	-	-	-	-	-	546.0	-	-	-	-	-	
	氷取沢高架橋 計		0.0	0.0	0.0	0	0	2195.7	1.378	0	0	58	7	
合計			8.0	8.0	5.7	13	8	2195.7	1.378	5	2	58	7	

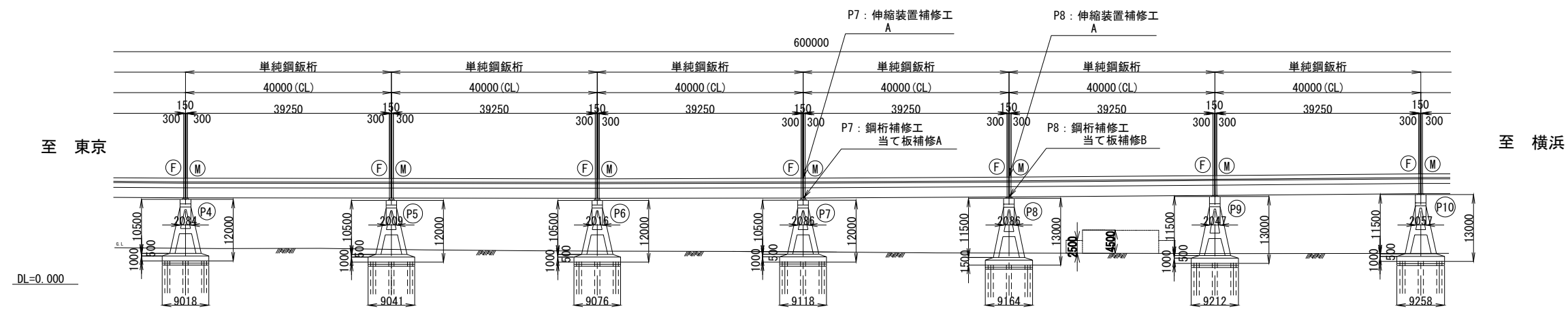
橋梁名	上下線 区分	橋脚	19-(2) 交通保安要員						特-(1) コンクリートはつり工	特-(2) 鋼桁補修工				備考
			交通監視員 A1	交通監視員 A1(夜)	交通誘導警備員 A1	交通誘導警備員 A1(夜)	交通誘導警備員 B1	交通誘導警備員 B1(夜)	A(夜)	当て板補修 A	当て板補修 B	当て板補修 C	当て板補修 D	
			人・日	人・日	人・日	人・日	人・日	人・日	m3	箇所	箇所	箇所	箇所	
東山田高架橋	上	P7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
		P8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	東山田高架橋 計		0	0	61	0	6	0	0.000	1	1	0	0	
三ツ沢ランプ橋	下	P5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
		P5-P6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		P6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
		P6-A2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	三ツ沢ランプ橋 計		67	13	0	13	6	17	0.000	0	0	1	1	
氷取沢高架橋	上	P1	-	-	-	-	-	-	0.238	-	-	-	-	
		P2	-	-	-	-	-	-	0.139	-	-	-	-	
		P5	-	-	-	-	-	-	0.125	-	-	-	-	
	氷取沢高架橋 計		0	0	0	0	0	0	0.502	0	0	0	0	
合計			67	13	61	13	12	17	0.502	1	1	1	1	

橋梁名	上下線 区分	橋脚	特-(2)					特-(3)				特-(4)	備考
			鋼桁補修工					伸縮装置補修工				標識板撤去設置工	
			当て板補修 E 箇所	当て板補修 F 箇所	部材取付 A 箇所	部材取替 A 箇所	溶接補修 A 箇所	A 箇所	B1 箇所	B2 箇所	C(夜) 箇所	A m2	
東山田高架橋	上	P7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
		P8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	東山田高架橋 計		0	0	0	0	0	2	0	0	0	0.0	
三ツ沢ランプ橋	下	P5	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
		P5-P6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3.2	
		P6	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
		P6-A2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	三ツ沢ランプ橋 計		1	1	1	1	1	0	1	1	0	3.2	
氷取沢高架橋	上	P1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
		P2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
		P5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	氷取沢高架橋 計		0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.0	
合計		1	1	1	1	1	2	1	1	3	3.2		

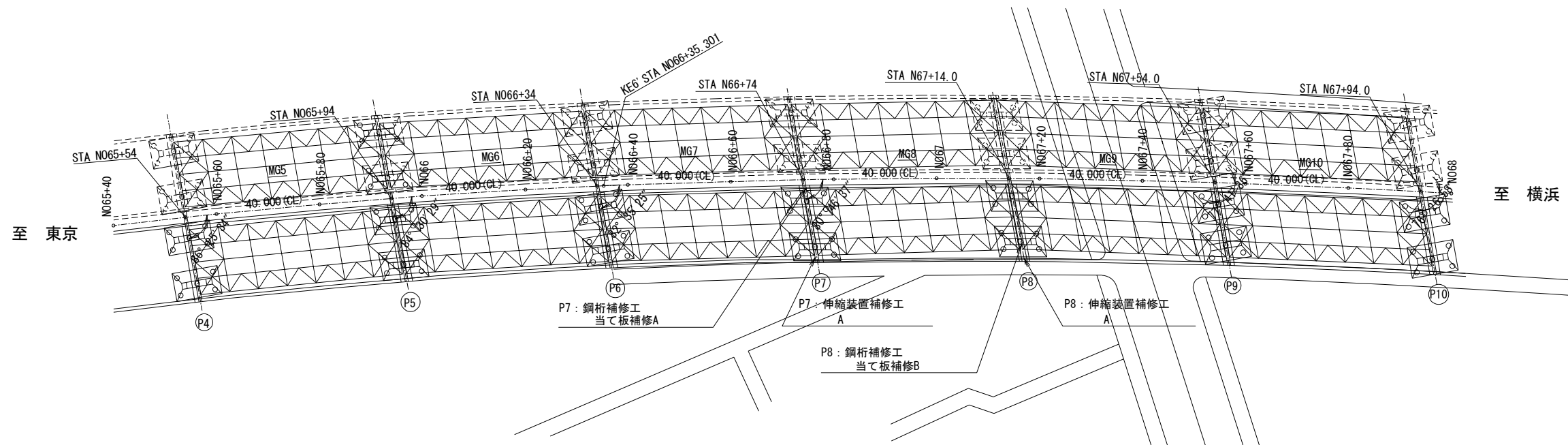
東山田高架橋

橋 梁 一 般 図

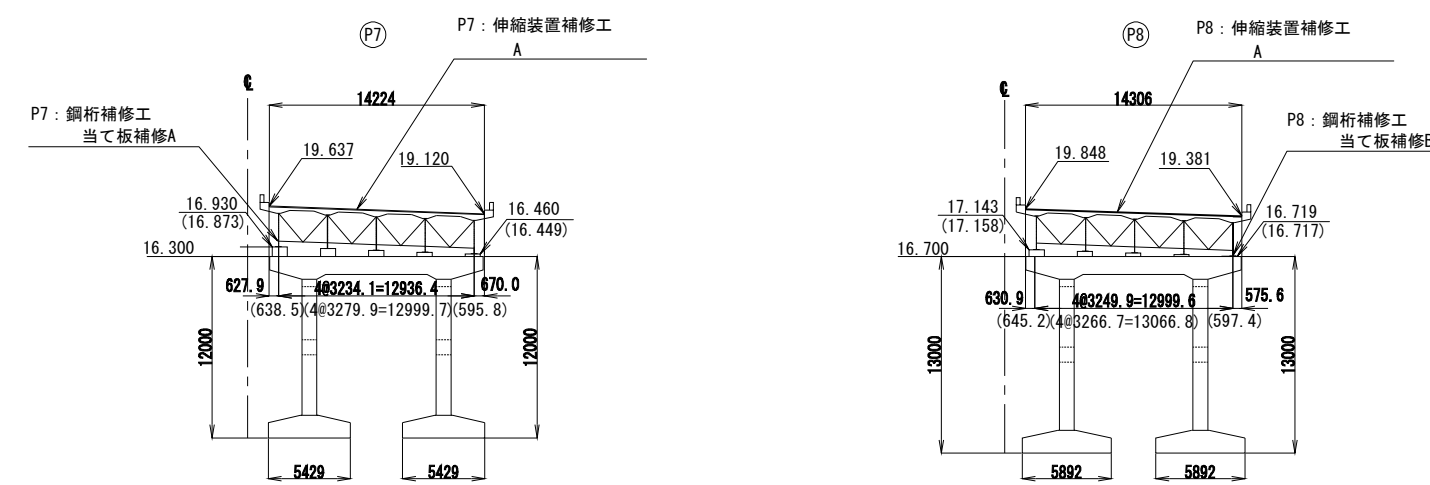
側 面 図 S=1:500



平 面 図 S=1:500



断 面 図 S=1:250



横 浜 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	橋梁一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 39
設計会社名	株式会社櫻エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

鋼 桁 補 修 工 詳 細 図 (1)

P7橋脚上

補 修 図

損 傷 図

断 面 図 S=1:20

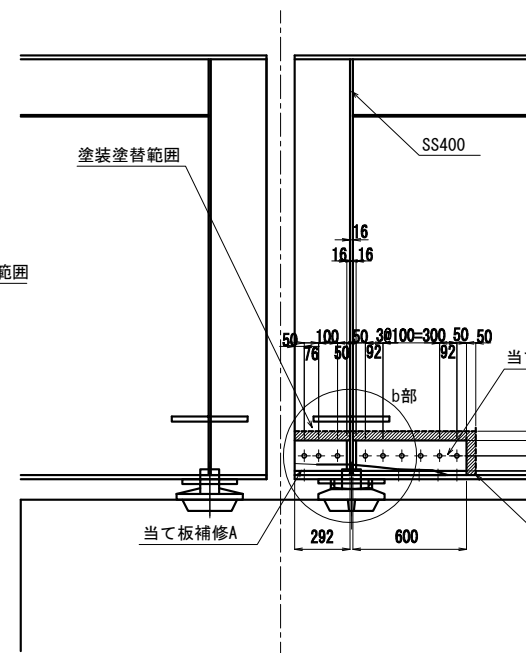
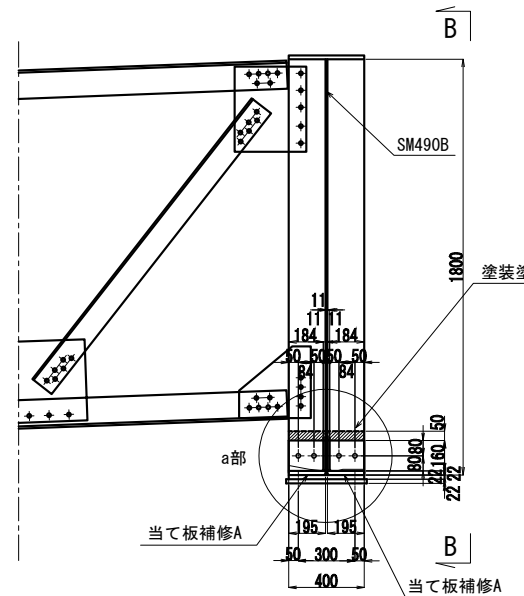
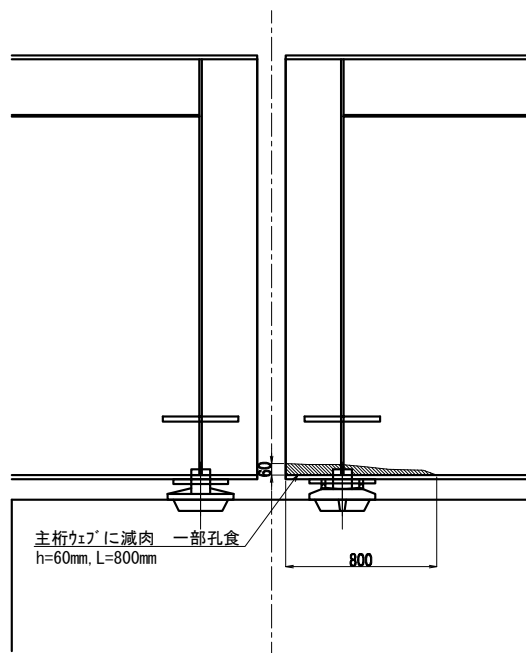
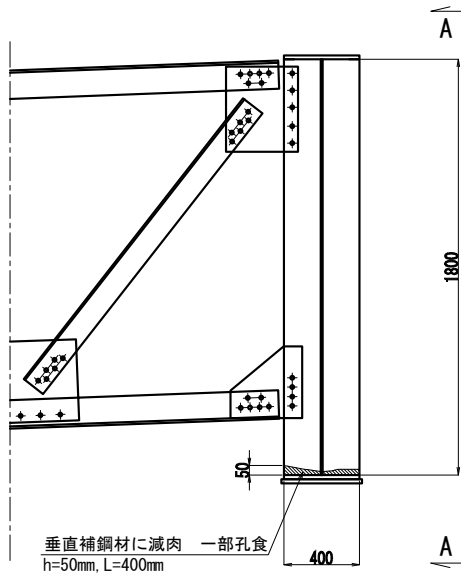
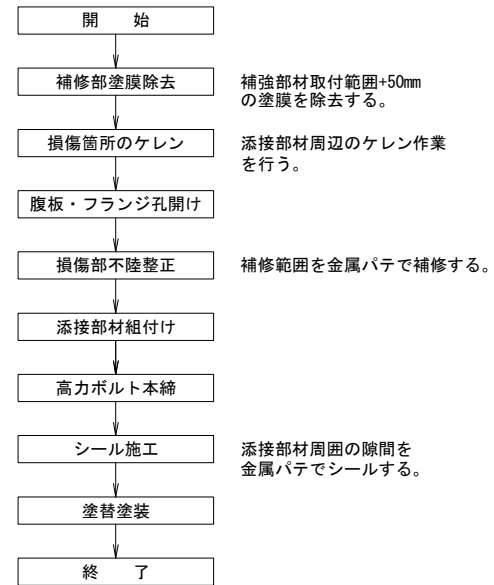
側 面 図 S=1:20

断 面 図 S=1:20

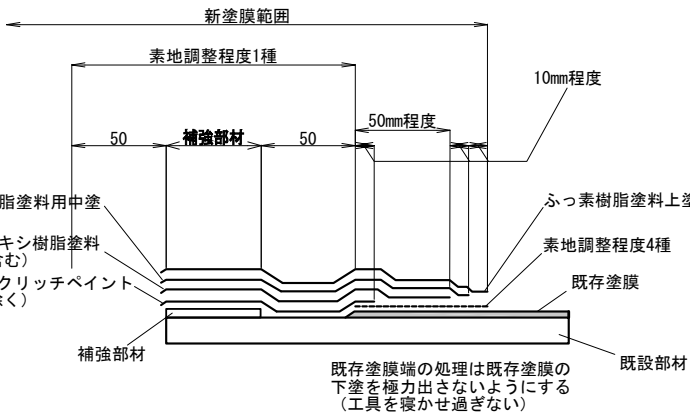
側 面 図 S=1:20

施 工 手 順

当て板補修A

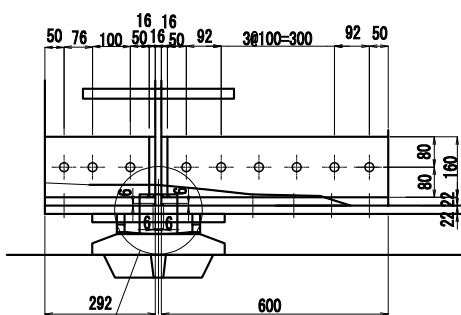
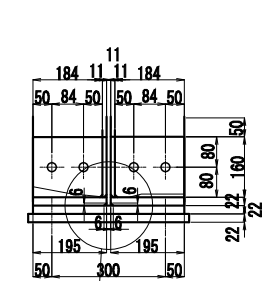


境界部詳細図

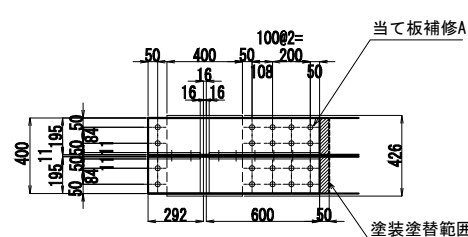


a部 詳細図 S=1:10

b部 詳細図 S=1:10

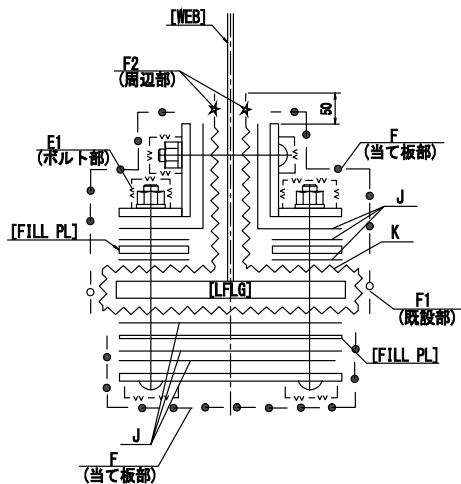


平 面 図 S=1:20



- ①下フランジ部
2-PL 195x22x292 (SM400A)
4-Bolt M22x80 (S10T)
- ②垂直補剛材部
2-PL 195x16x160 (SM400A)
4-Bolt M22x85 (S10T)
- ③ウェブ部
2-PL 160x11x276 (SM490B)
3-Bolt M22x70 (S10T)
- ④下フランジ部
2-PL 195x22x600 (SM400A)
16-Bolt M22x80 (S10T)
- ⑤垂直補剛材部
2-PL 195x16x160 (SM400A)
- ⑥ウェブ部
2-PL 160x11x584 (SM490B)
6-Bolt M22x70 (S10T)

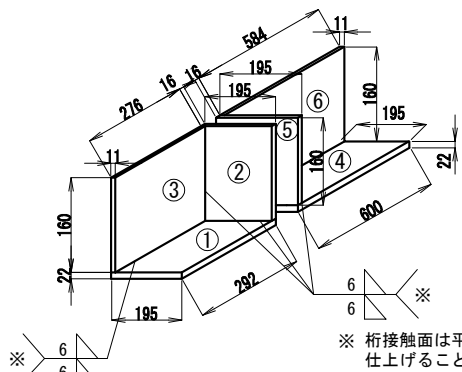
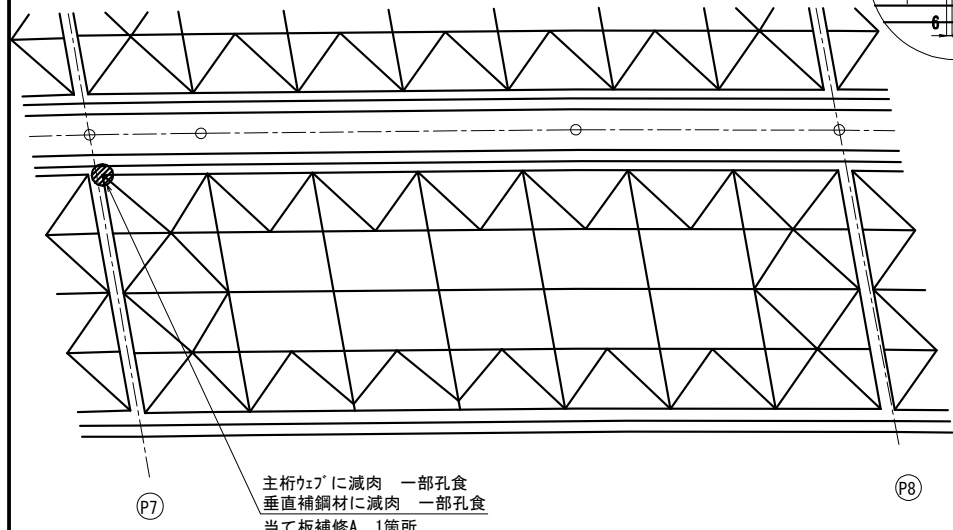
○シール工
L1=(182+195+292+182+195+292) × 2=2676mm
L2=(195+182+600+195+182+600) × 2=3908mm
L1+L2=6584mm



凡例

記号	塗装系	
E1	ボルト外面(増し塗り部)	— V V —
F	増し塗り部(当て板部)	— ● —
F1	増し塗り部(既設部)	— ○ —
F2	増し塗り部(周辺部)	— ★ —
J	摩接合面	— — —
K	1種ケレン	— — —

位 置 図 S=1:200



【鋼桁補修工 数量表】

区 分	単 位	数 量	備 考
当て板補修A	箇所	1	

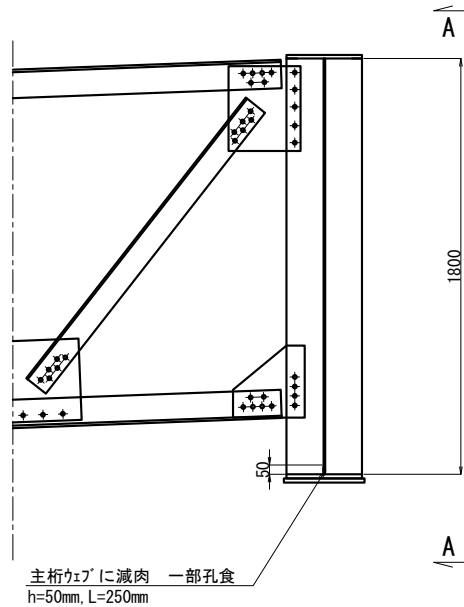
- ＜注記＞
- 1：補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 2：施工に際しては、必ず現地に補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - 3：プラスト（ケレン）によるさびやケレンダストを飛散させないよう防護設備を設置すること。
 - 4：補強部材の現場塗装仕様は高力ボルト接合部はF3系及び高力ボルト頭部はF11系とする。

横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事	鋼桁補修工 詳細図 (1)
縮 尺	図 示 図 面 番 号 5 / 39
設計会社名	株式会社櫻エエンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社 関 東 支 社 京 浜 管 理 事 務 所

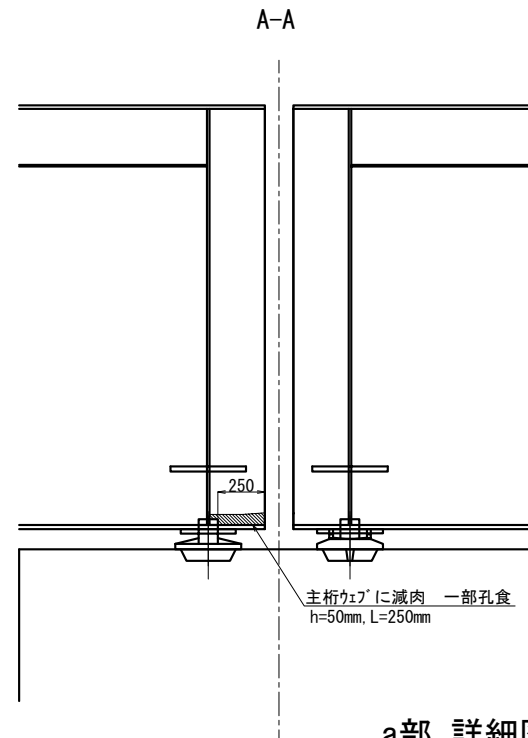
鋼桁補修工詳細図(2)
P8橋脚上

損傷図

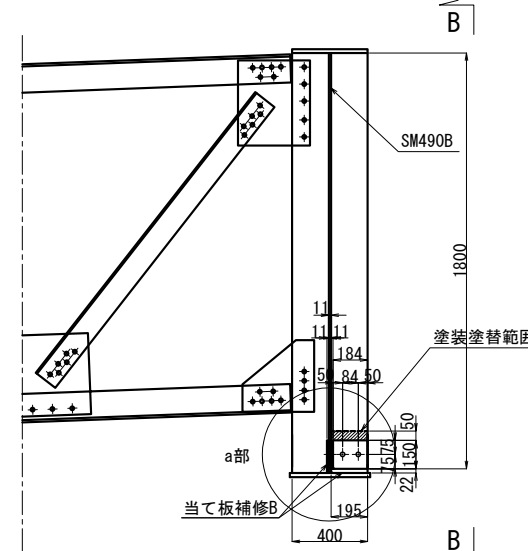
断面図 S=1:20



側面図 S=1:20

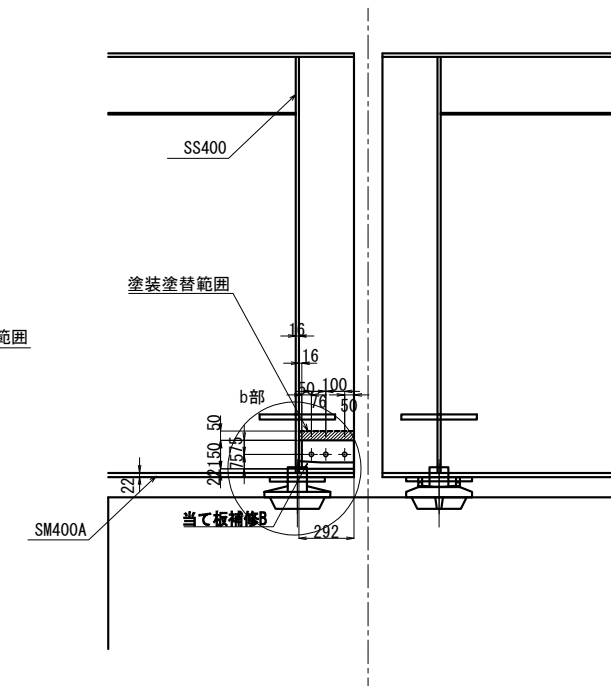


断面図 S=1:20

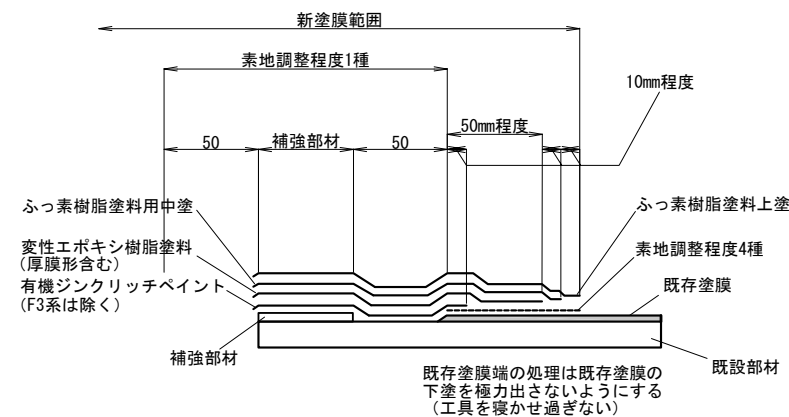


補修図

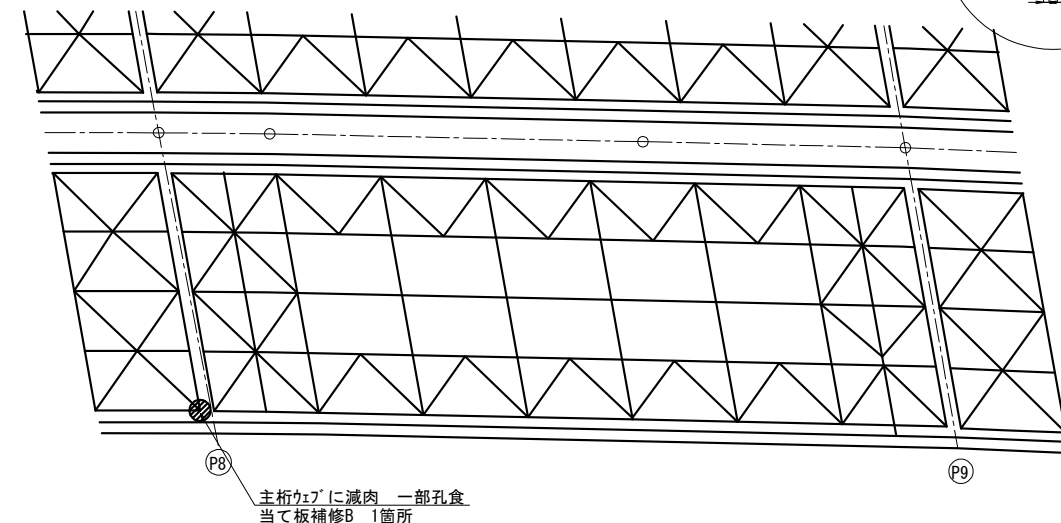
側面図 S=1:20



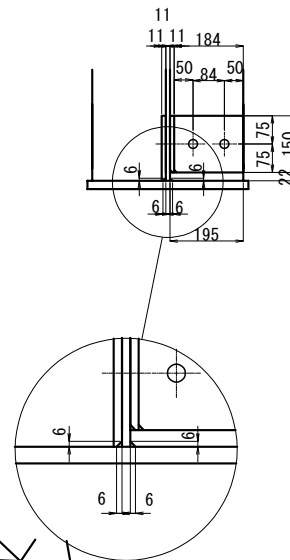
境界部詳細図



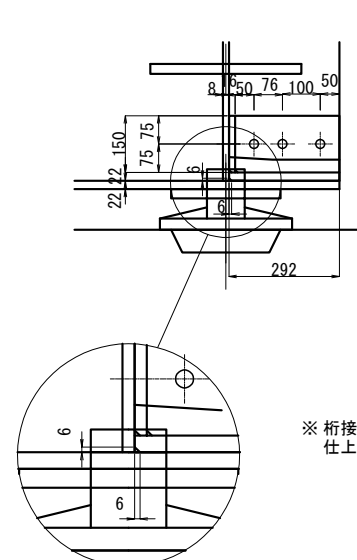
位置図 S=1:200



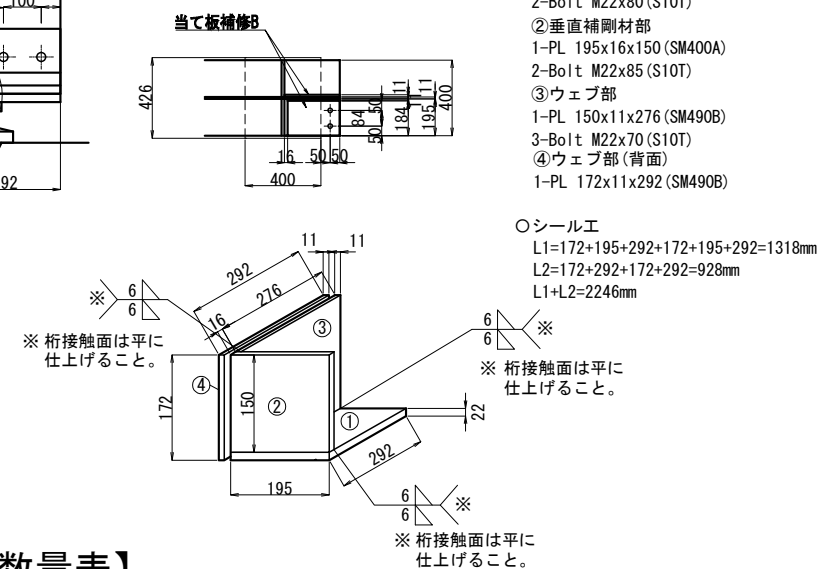
a部 詳細図 S=1:10



b部 詳細図 S=1:10



平面図 S=1:20



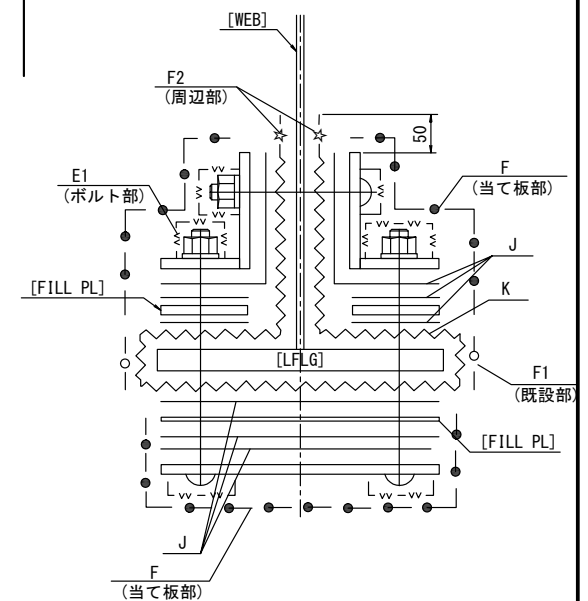
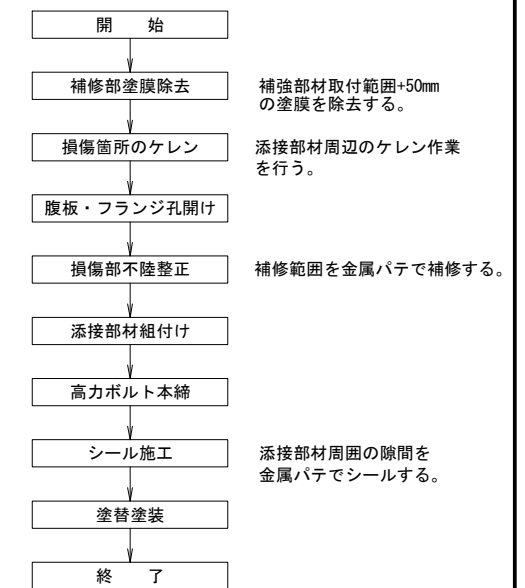
- ①下フランジ部
1-PL 195x22x292 (SM400A)
2-Bolt M22x80 (S10T)
②垂直補剛材部
1-PL 195x16x150 (SM400A)
2-Bolt M22x85 (S10T)
③ウェブ部
1-PL 150x11x276 (SM490B)
3-Bolt M22x70 (S10T)
④ウェブ部 (背面)
1-PL 172x11x292 (SM490B)

○シールエ
L1=172+195+292+172+195+292=1318mm
L2=172+292+172+292=928mm
L1+L2=2246mm

※ 桁接合面は平に仕上げること。
※ 桁接合面は平に仕上げること。
※ 桁接合面は平に仕上げること。

施工手順

当て板補修B



記号	塗装系	
E1	ボルト外面(増し塗り部)	— V V —
F	増し塗り部(当て板部)	— ● —
F1	増し塗り部(既設部)	— ○ —
F2	増し塗り部(周辺部)	— ☆ —
J	摩擦接合面	— —
K	1種ケレン	— —

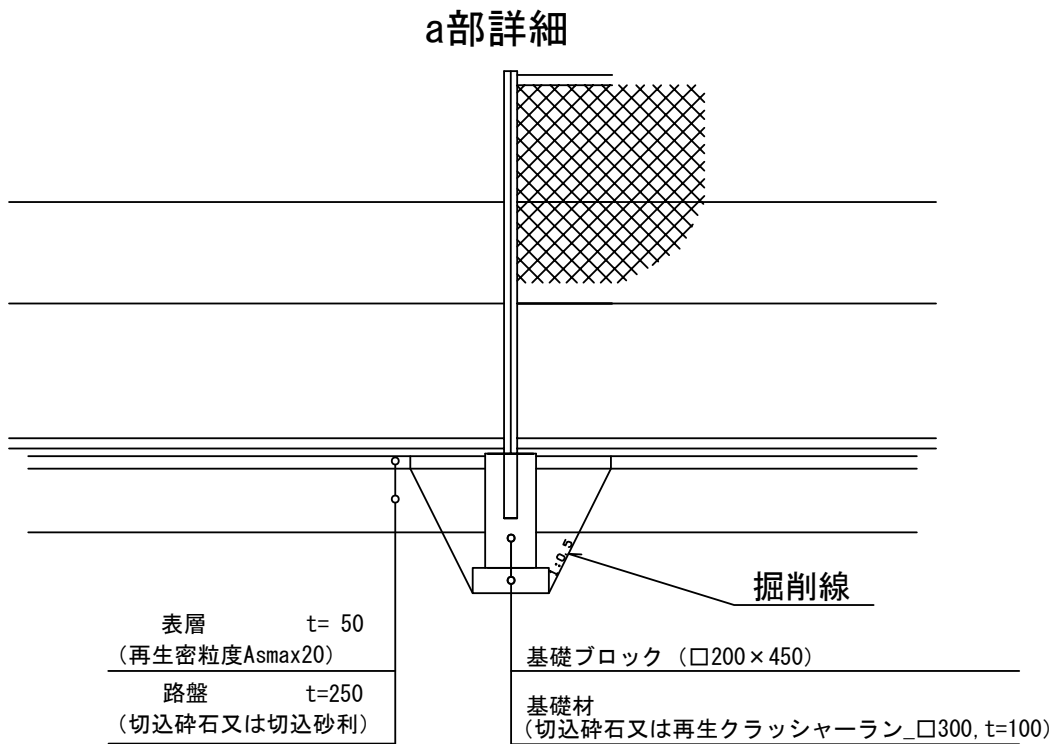
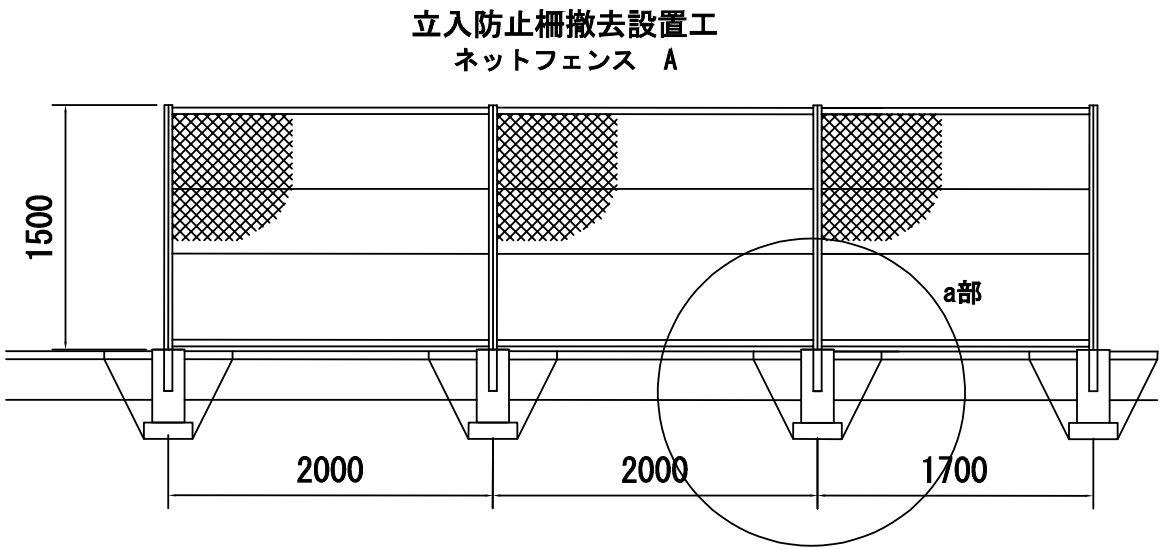
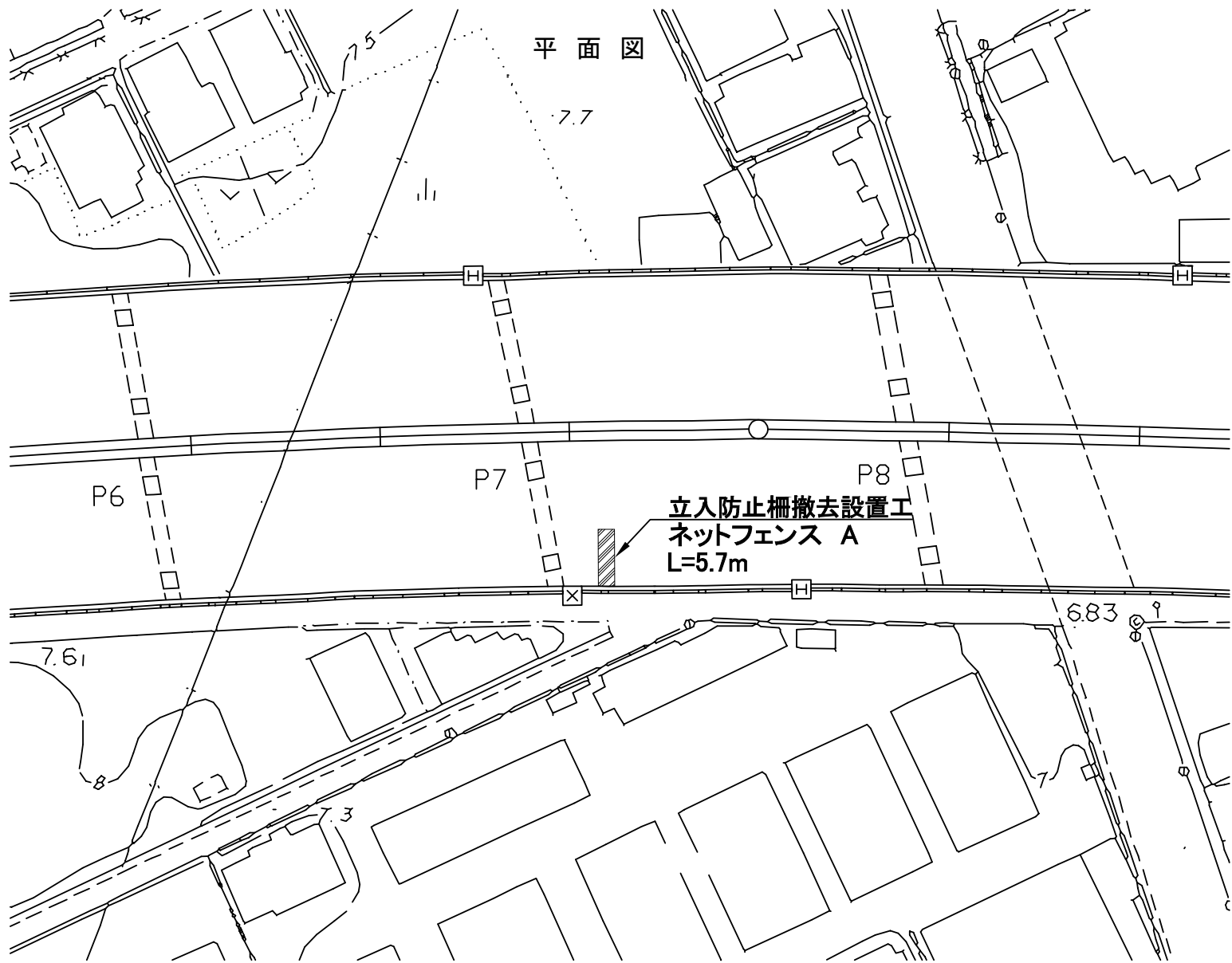
【鋼桁補修工 数量表】

区分	単位	数量	備考
当て板補修B	箇所	1	

＜注記＞

- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
- 施工に際しては、必ず現地に補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
- プラスト（ケレン）によるさびやケレンダストを飛散させないよう防護設備を設置すること。
- 補強部材の現場塗装仕様は高力ボルト接合部はF3系及び高力ボルト頭部はF11系とする。

横浜 横須賀 道路 水取 高架橋 橋梁 補修 工事	鋼桁補修工 詳細図 (2)
縮尺	図示 図面番号 6 / 39
設計会社名	株式会社櫻エンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜 管 理 事 務 所



【立入防止柵撤去設置工 数量表】

区 分	単 位	数 量	備 考
ネットフェンス A	m	5.7	支柱間

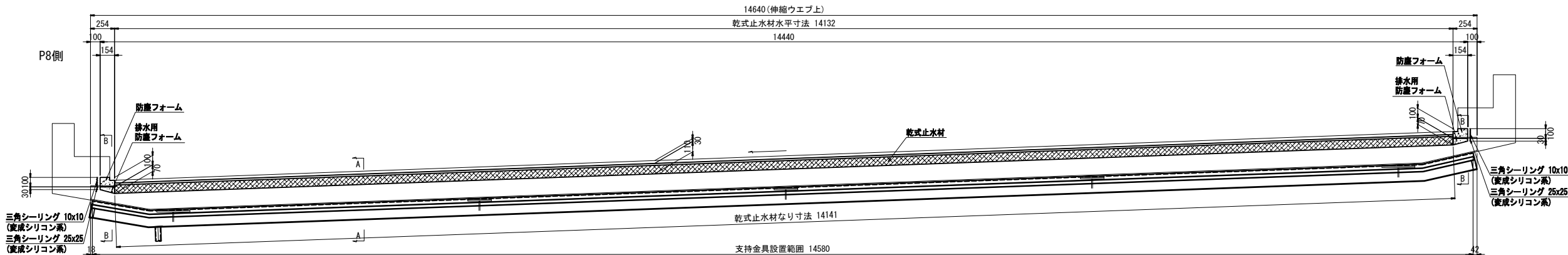
横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	立入防止柵撤去設置工 詳細図		
縮 尺	—	図面番号	7 / 39
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

伸縮装置補修工 詳細図(1)

上り線P7橋脚

- 【伸縮装置補修工 A (P7) 材料数量】
- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1-乾式止水材 14165 | 1-止水ゴムパッキン 14580 (CR) |
| [排水用] 2-防塵フォーム 174 × 70 × 178 | 2-端部ジャバラ蓋 |
| 2-防塵フォーム 54 × 100 × 178 | 1-排水パイプ 50A × 300 (CR) [止水ゴム付] |
| | 1-排水パイプ 50A × 3000 (PVC) [導水用] |
| | 1-排水パイプカフス 50A用 (EPDM) |
| | 1-排水パイプ継手管 50A用 |
| 2-漏水防止材 50 × 10 × 14580 | 2-排水パイプ継手バンド 50A用 |
| 支持金具設置延長 L=14580 | 3-排水パイプ固定金具 50A用 |

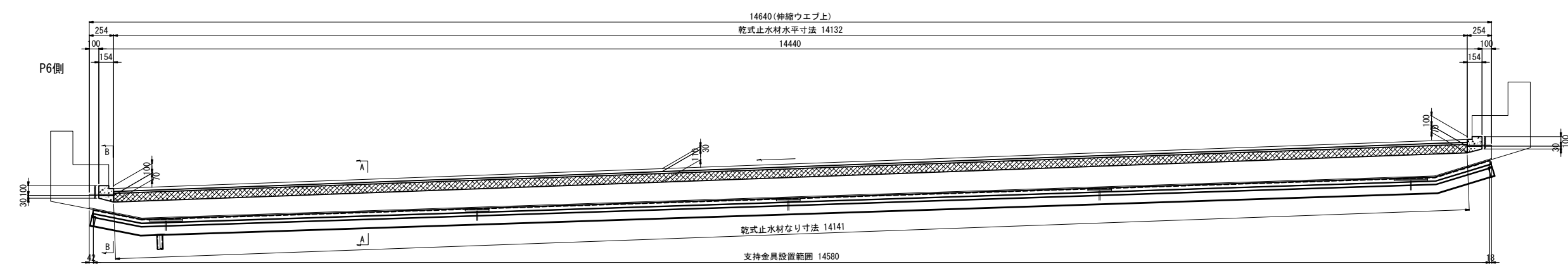
断面図 (P8側) S = 1:50



平面図 (P7) S = 1:50

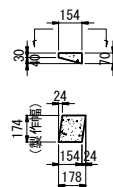


断面図 (P6側) S = 1:50



排水用防塵フォーム詳細図

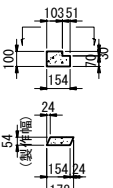
(ポリウレタンフォーム)
[製作幅=最大道間+10=174]



n=2

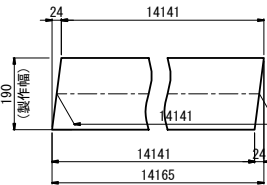
防塵フォーム詳細図

(ポリエチレンフォーム)
[製作幅=最大道間+10=54]

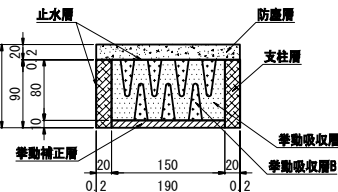


n=2

乾式止水材端部詳細図 S=1:20



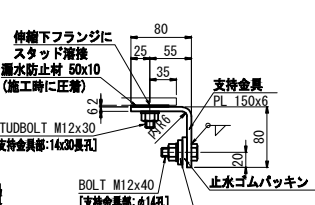
乾式止水材詳細図 S=1:10



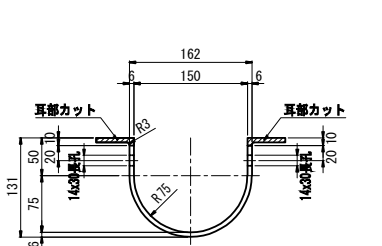
注記)

- 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
- SS材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。膜厚はJIS H 8641 HDZ777とする。ただしボルト類はHDZ749とする。
- ゴム板の導水用排水パイプの流末処理方法は協議の上決定すること。
- 接着剤(t=3)に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.2kg/m2)を塗布すること。
- 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。
現地調査の結果、コンクリート面に不陸や欠損がある場合、あるいは桁道間内の既設物の設置状況によっては施工不可とし、別途止水構造を検討するものとする。
- 新設するナットは、ゆるみ止めナットを使用すること。

支持金具詳細図 S=1:10



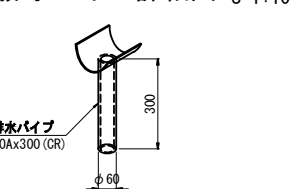
止水ゴムパッキン詳細図 S=1:10



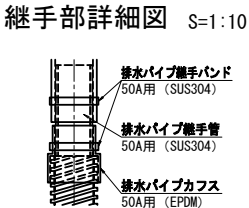
端部ジャバラ蓋詳細図



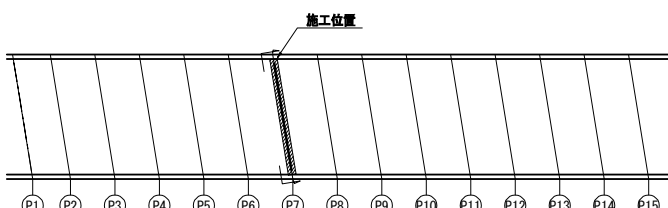
排水パイプ詳細図 S=1:10



排水パイプ継手部詳細図 S=1:10



配置図



横浜 須賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事	伸縮装置補修工 詳細図(1)
縮 尺	図 示 図 面 番 号 8 / 39
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所

伸縮装置補修工 詳細図(2)

上り線P8橋脚

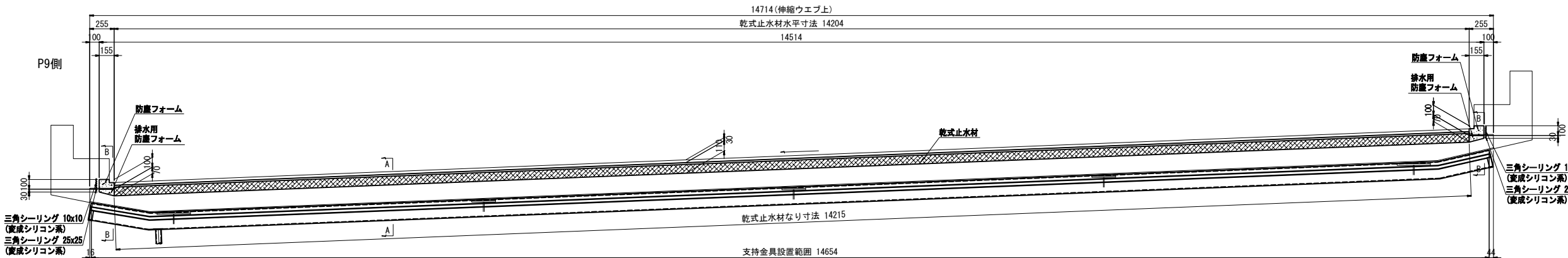
9

39

標準ウェブ間	+15℃時	150mm
最大ウェブ間	-10℃時	164mm
最小ウェブ間	+40℃時	136mm

- 【伸縮装置補修工 A (P8) 材料数量】
- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1-乾式止水材 14244 | 1-止水ゴムパッキン 14654 (CR) |
| [排水用]2-防塵フォーム 174×70×184 | 2-端部ジャバラ蓋 |
| 2-防塵フォーム 54×100×184 | 1-排水パイプ 50A×300 (CR) [止水ゴム付] |
| | 1-排水パイプ 50A×3000 (PVC) [導水用] |
| | 1-排水パイプカフス 50A用 (EPDM) |
| 2-漏水防止材 50×10×14654 | 1-排水パイプ継手管 50A用 |
| 支持金具設置延長 L=14654 | 2-排水パイプ継手バンド 50A用 |
| | 3-排水パイプ固定金具 50A用 |

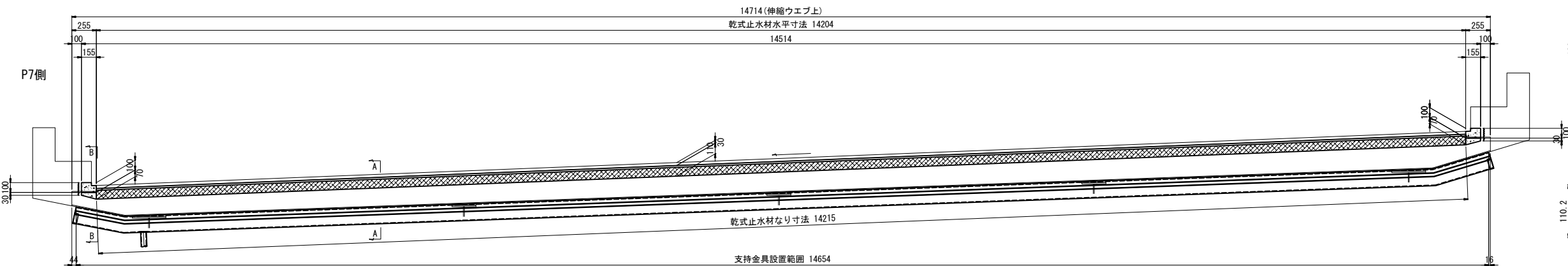
断面図 (P9側) S = 1:50



平面図 (P8) S = 1:50

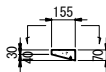


断面図 (P7側) S = 1:50



排水用防塵フォーム詳細図

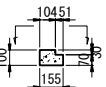
(ポリウレタンフォーム)
[製作幅=最大間隔+10=174]



n=2

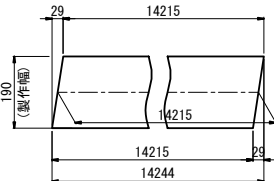
防塵フォーム詳細図

(ポリエチレンフォーム)
[製作幅=最大間隔+10=54]

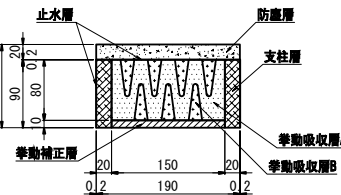


n=2

乾式止水材端部詳細図 S=1:20



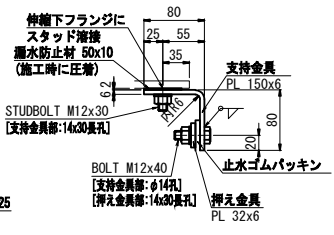
乾式止水材詳細図 S=1:10



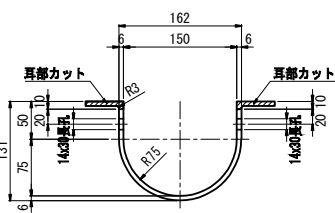
【注記】

- 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
- SS材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。膜厚はJIS H 8641 HDZ777とする。ただしボルト類はHDZT49とする。
- ゴム板の導水用排水パイプの流末処理方法は協議の上決定すること。
- 接着剤(t-3)に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.2kg/m2)を塗布すること。
- 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。
現地調査の結果、コンクリート面に不陸や欠損がある場合、あるいは桁遊間内の既設物の設置状況によっては施工不可とし、別途止水構造を検討するものとする。
- 新設するナットは、ゆるみ止めナットを使用すること。

支持金具詳細図 S=1:10



止水ゴムパッキン詳細図 S=1:10

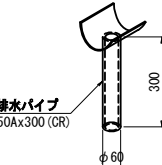


端部ジャバラ蓋詳細図

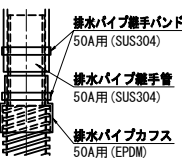
止水ゴム両端部に設置



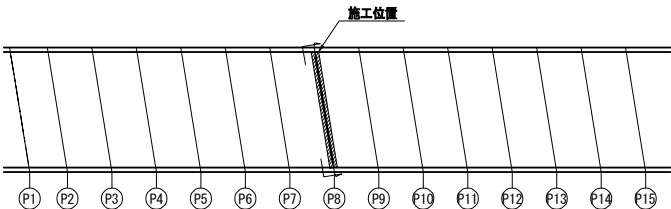
排水パイプ詳細図 S=1:10



排水パイプ継手部詳細図 S=1:10



配置図



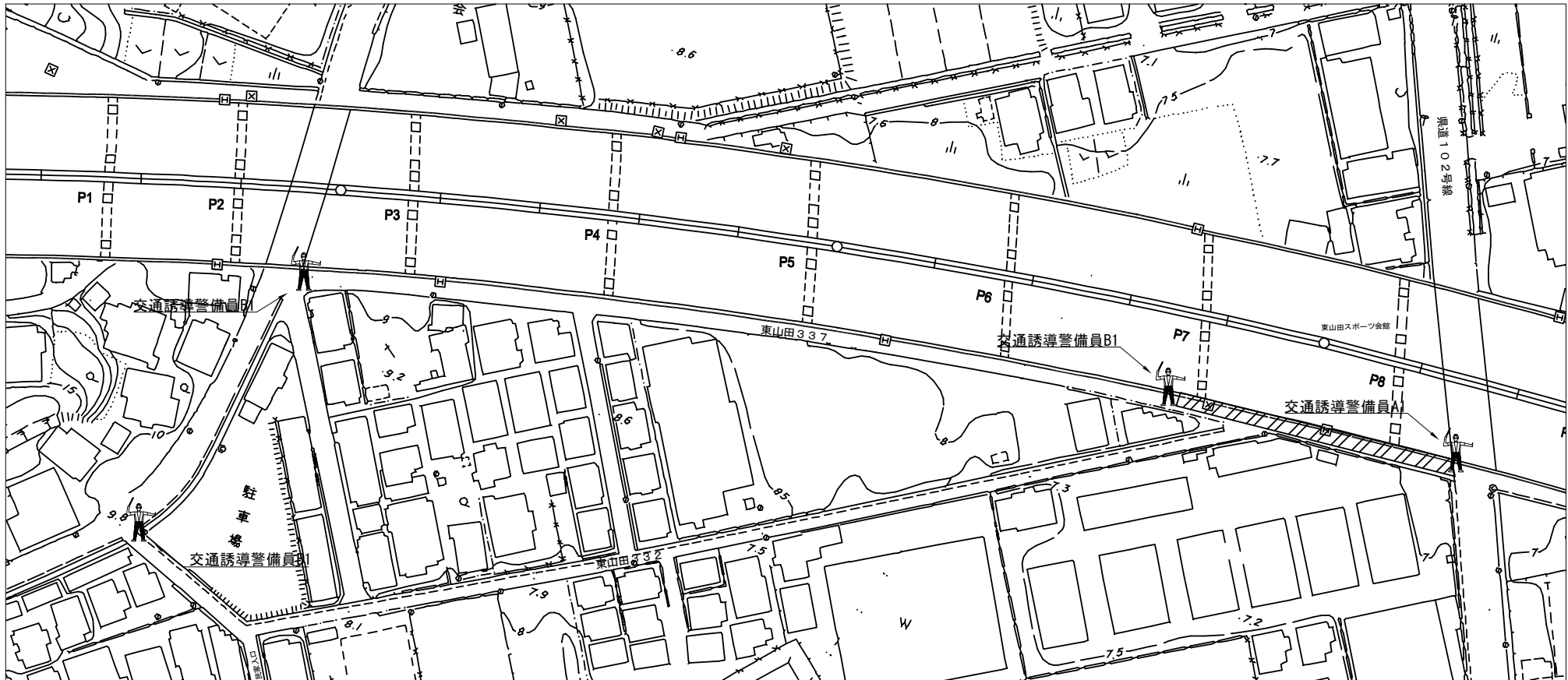
横浜 横須賀 道路 水取沢 高架橋 橋梁 補修工事	伸縮装置補修工 詳細図(2)
縮尺	図示 図面番号 9 / 39
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所

【1】 県道102号荏田綱島線 資機材搬入ゲート（東山田スポーツ会館入口）（上り線 P7～P8 施工時）



交通保安要員 数量		1 回当たり(人・日)	
項目	必要人数	規制回数	合計
	規制箇所		
交通誘導警備員A1	1	59	59

【2】 市道東山田第337号線（上り線 P7～P8 施工時）通行止め



交通保安要員 数量		1 回当たり(人・日)	
項目	必要人数	規制回数	合計
	規制箇所		
交通誘導警備員A1	1	2	2
交通誘導警備員B1	3	2	6

凡例

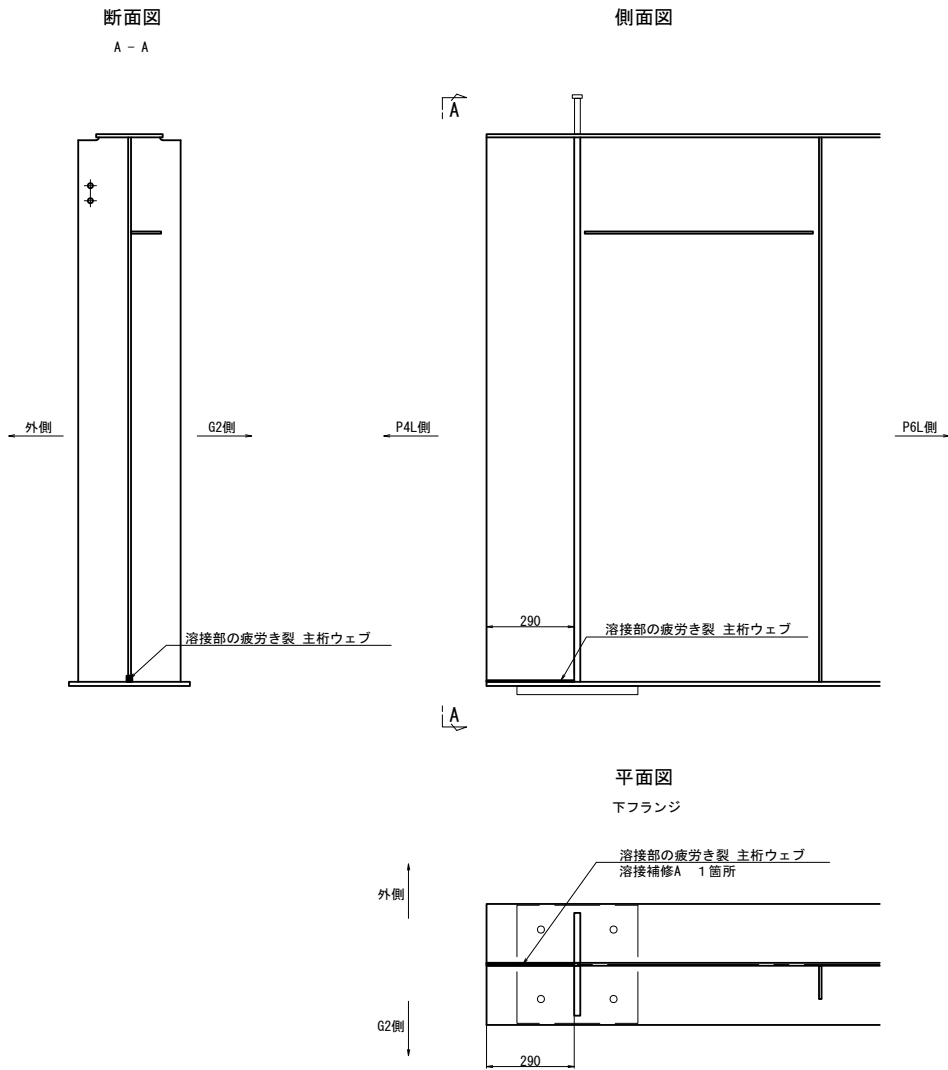
: 交通誘導警備員

: 規制範囲

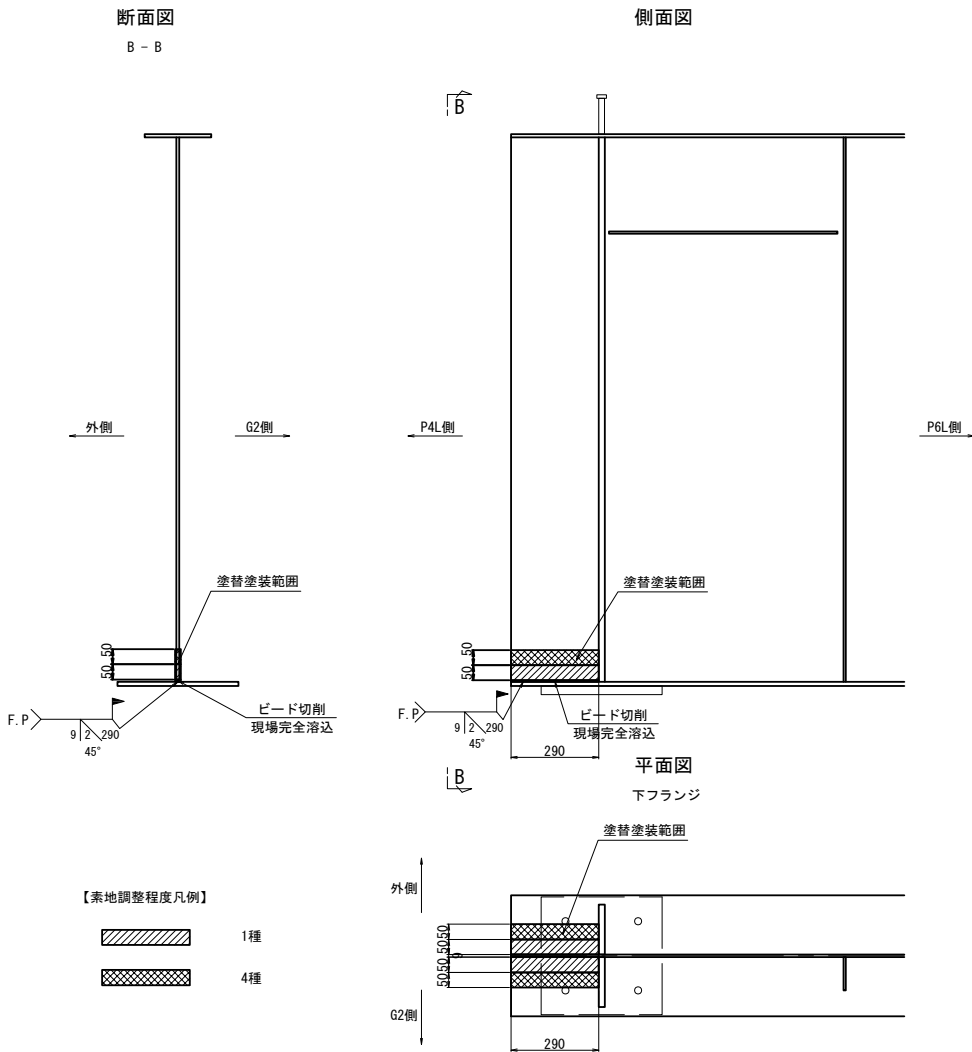
横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	交通保安要員配置図		
縮 尺	—	図 面 番 号	10 / 39
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

三ツ沢ランプ橋

現況図
G1主桁

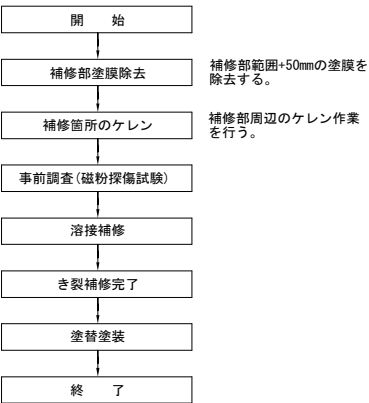


補修図
G1主桁

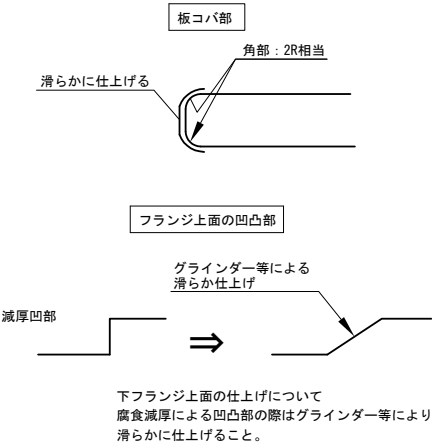


施 工 手 順

溶接補修A

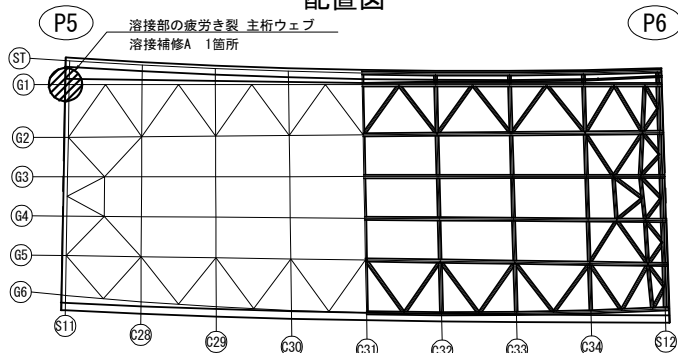


仕上げ要領



注) 1. 補修塗装仕様は、c-3系とする。
2. ガス切断及びグラインダー仕上げ時、また腐食が著しい板コバ部は、仕上げ要領図に倣い滑らかに仕上げること。
3. 下フランジ上面の腐食減厚による凹凸部の際は、仕上げ要領図に倣い滑らかに仕上げること。
4. 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。

配置図



【鋼桁補修工 数量表】

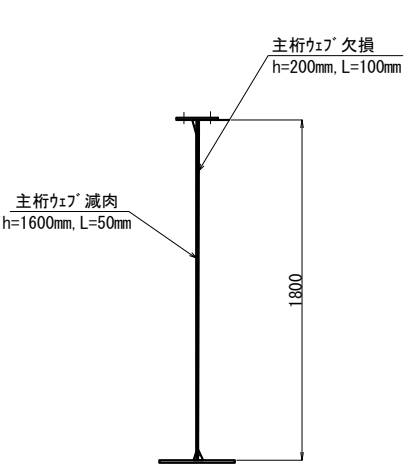
区 分	単 位	数 量	備 考
溶接補修A	箇所	1	

横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	鋼桁補修工 詳細図 (1)		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	12 / 39
設計会社名	信和設計株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

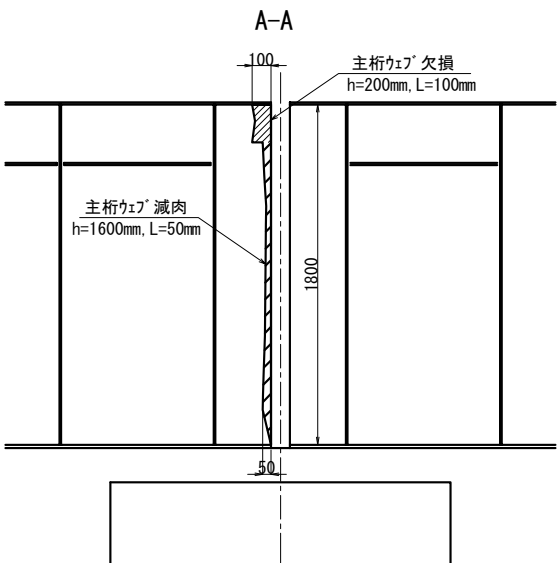
P5橋脚上

損傷図

断面図 S=1:20

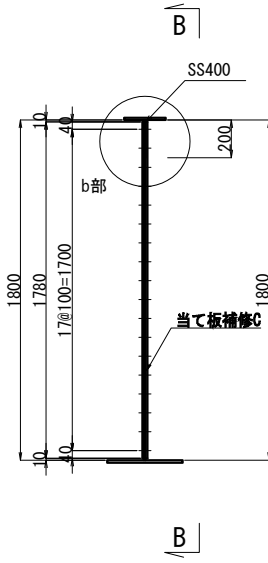


側面図 S=1:20

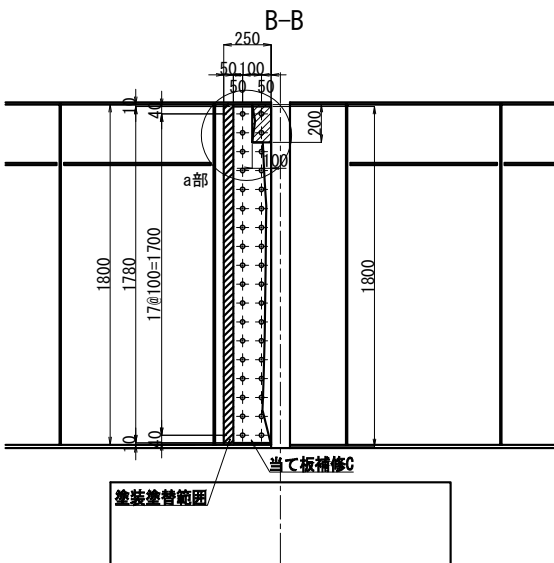


補修図

断面図 S=1:20

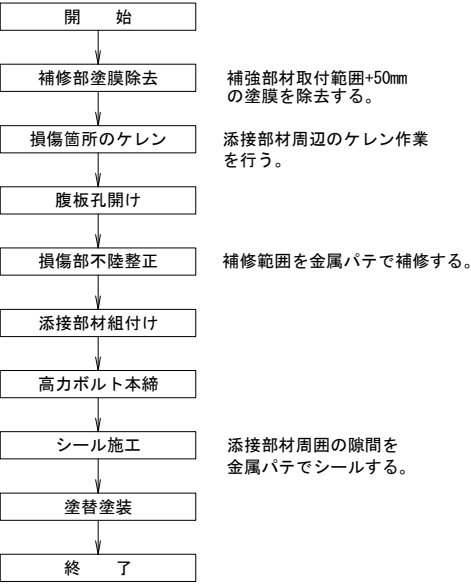


側面図 S=1:20

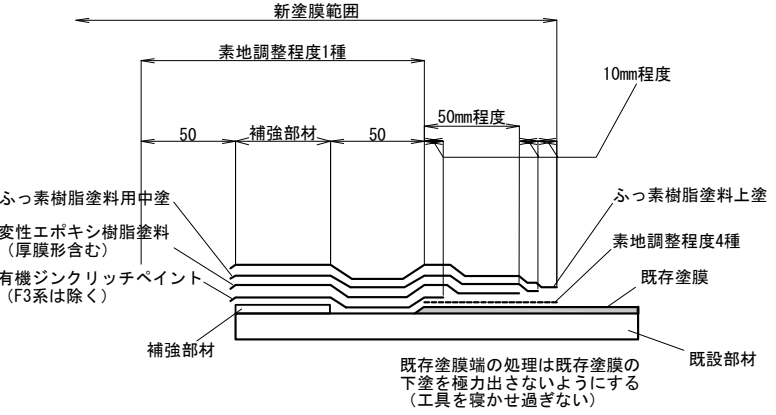


施工手順

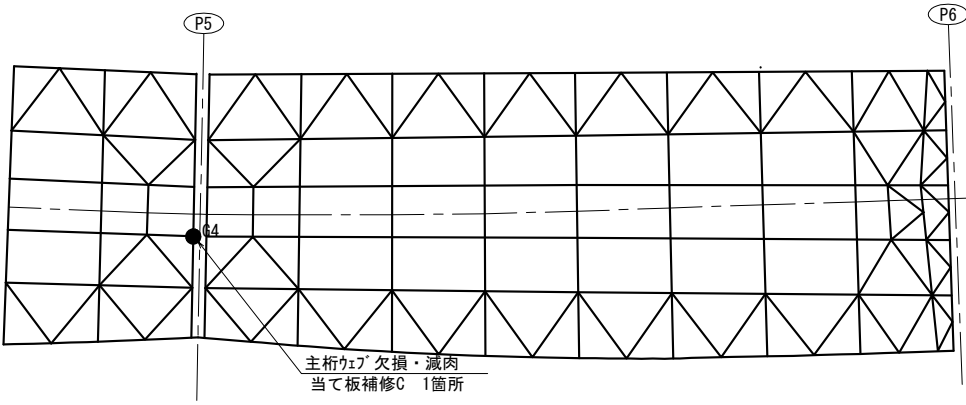
当て板補修C



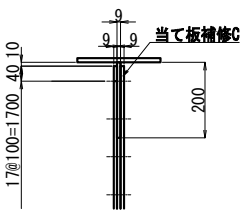
境界部詳細図



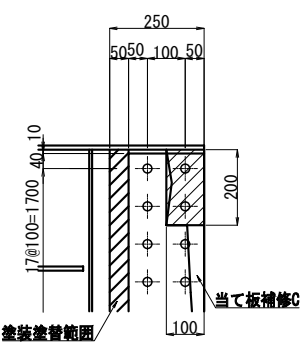
位置図 S=1:200



b部詳細 S=1:10



a部詳細 S=1:10

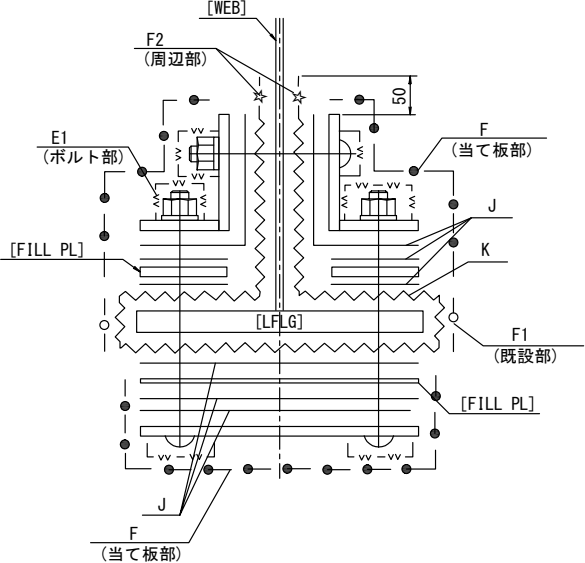


【鋼桁補修工 数量表】

区分	単位	数量	備考
当て板補修C	箇所	1	

<注記>

- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
- 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
- プラスト（ケレン）によるさびやケレンダストを飛散させないよう防護設備を設置すること。
- 補強部材の現場塗装仕様は高力ボルト接合部はF3系及び高力ボルト頭部はF11系とする。



凡例

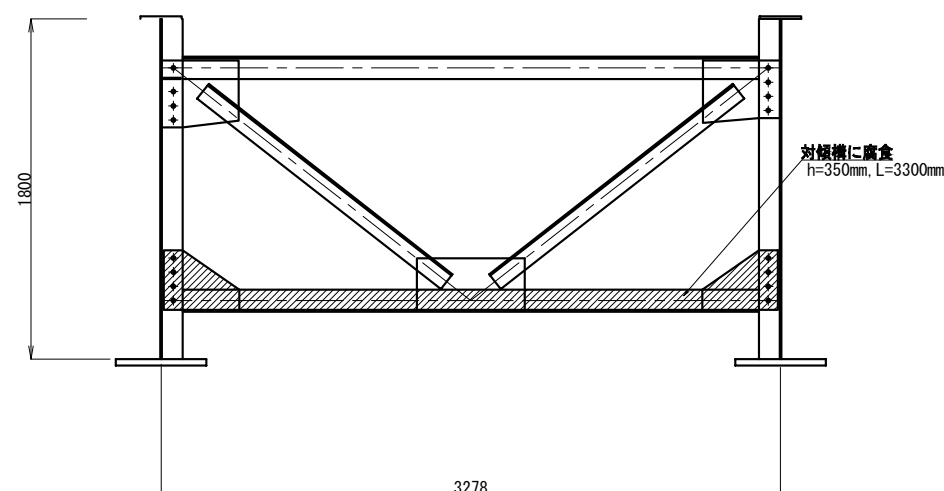
記号	塗装系
E1	ボルト外面(増し塗り部) — V V —
F	増し塗り部(当て板部) — ● —
F1	増し塗り部(既設部) — ○ —
F2	増し塗り部(周辺部) — ☆ —
J	摩擦接合面 — — —
K	1種ケレン — ~ ~ ~ —

横浜横須賀道路 水取沢高架橋橋梁補修工事	鋼桁補修工 詳細図 (2)
縮尺	図示 図面番号 13 / 39
設計会社名	株式会社櫻エンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所

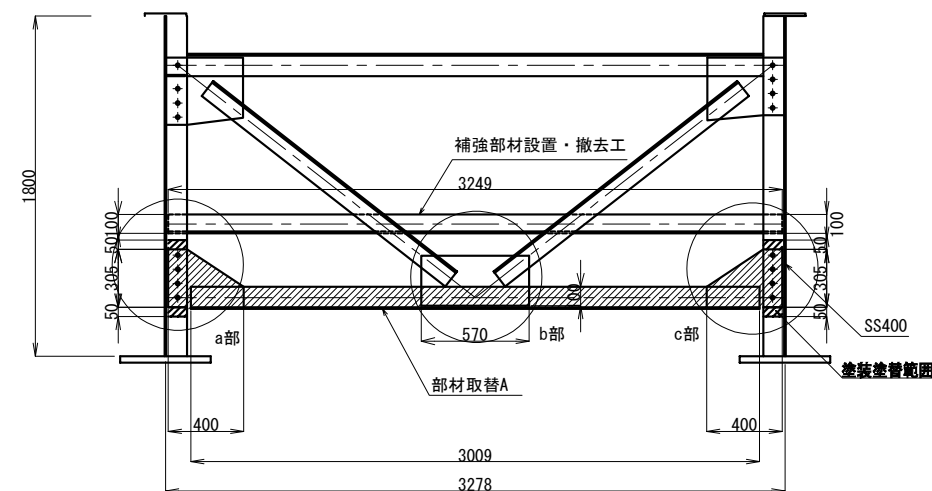
鋼桁補修工 詳細図(3)

P5~P6橋脚上

断面図 S=1:20



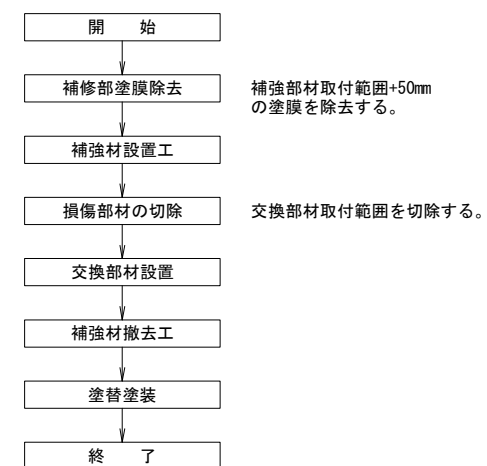
補修図
断面図



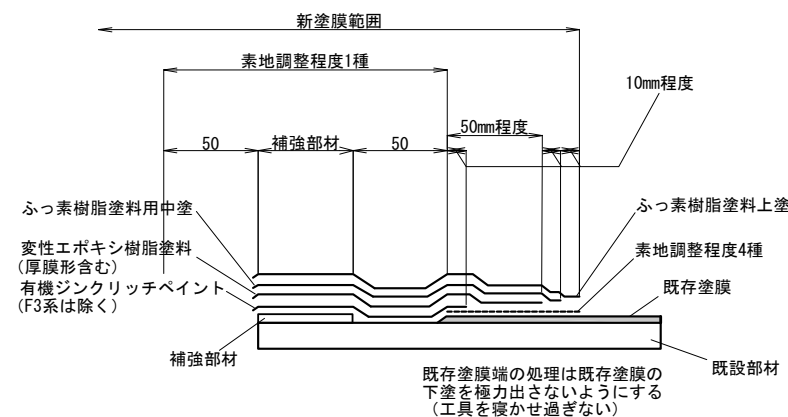
部材代替A部材	補強部材 (設置撤去)
1-CT 118x178x10x8x3009 (SM400A)	1-L 100x100x10x10x3249 (SM400A)
2-PL 305x 9x 400 (SM400A)	
1-PL 100x 9x 570 (SM400A)	
8-HTB M22x60 (S10T)	

施工手順

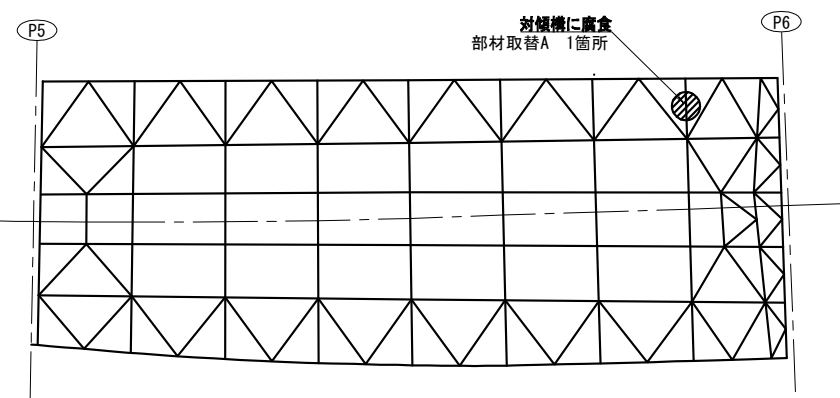
部材取替A



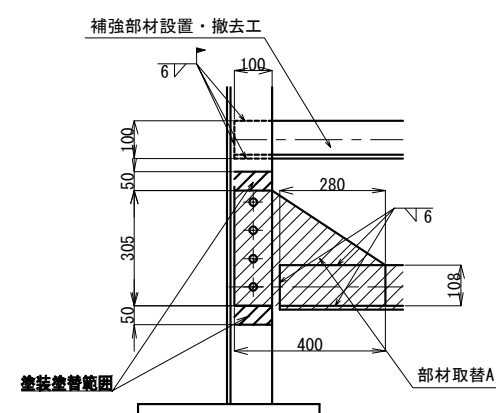
境界部詳細図



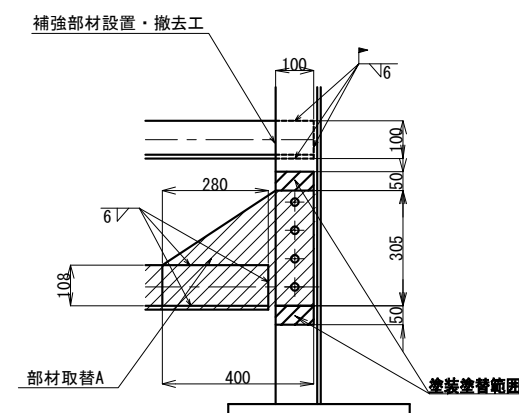
位置図 S=1:200



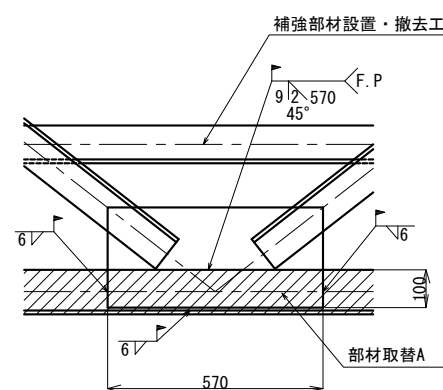
a部詳細 S=1:10



C部詳細 S=1:10



b部詳細 S=1:10

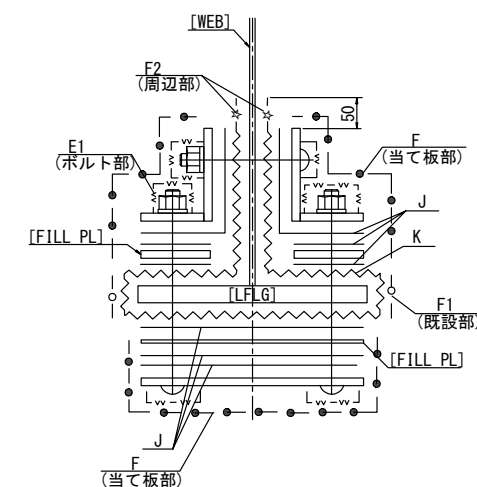


【鋼桁補修工 数量表】

区 分	単 位	数 量	備 考
部材取替A	箇所	1	

〈注記〉

- 1: 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
- 2: 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
- 3: プラスト（ケレン）によるさびやケレンダストを飛散させないよう防護設備を設置すること。
- 4: 補強部材の現場塗装仕様は高力ボルト接合部はF3系及び高力ボルト頭部はF11系とする。



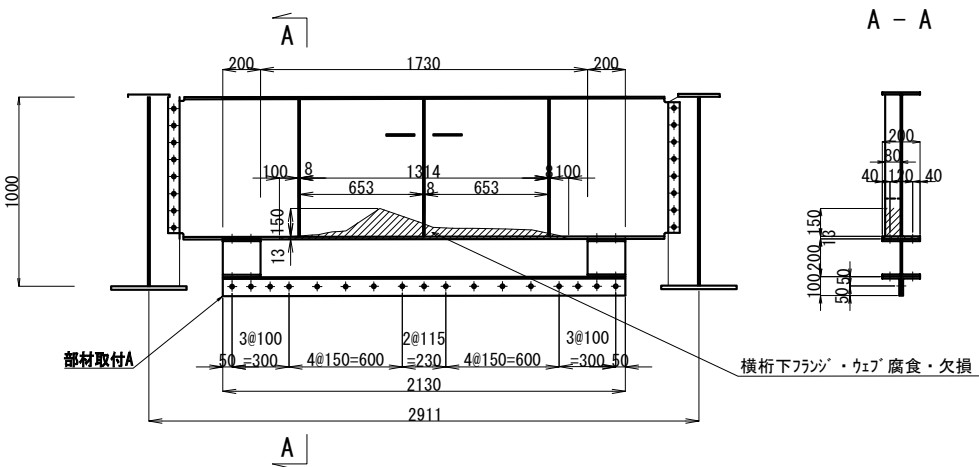
凡例

記号	塗装系	
E1	ボルト外面(増し塗り部)	— ∨ ∨
F	増し塗り部(当て板部)	— ● —
F1	増し塗り部(既設部)	— ○ —
F2	増し塗り部(周辺部)	— ☆ —
J	摩擦接合面	— —
K	1種ケレン	— 〰 —

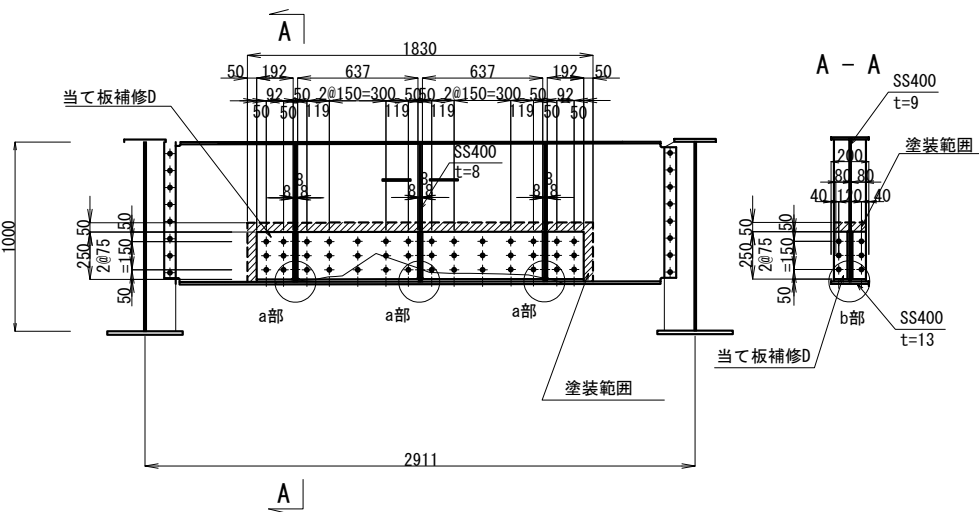
横 水	浜 取	横 高	須 架	賀 橋	道 梁	路 修	修 工	事
図面の種類		鋼桁補修工 詳細図 (3)						
縮	尺	図 示	図面番号			14 / 39		
設計会社名		株式会社櫻エエンジニアリング						
施工会社名								
事務所名		東日本高速道路株式会社 京浜管理事務所					関東支社	

P6橋脚上（終点）

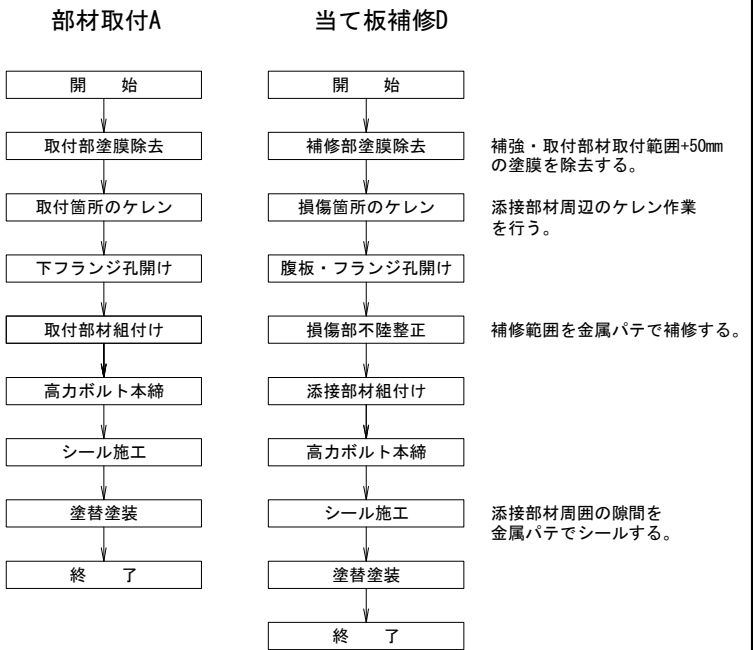
損傷図
断面図 S=1:20



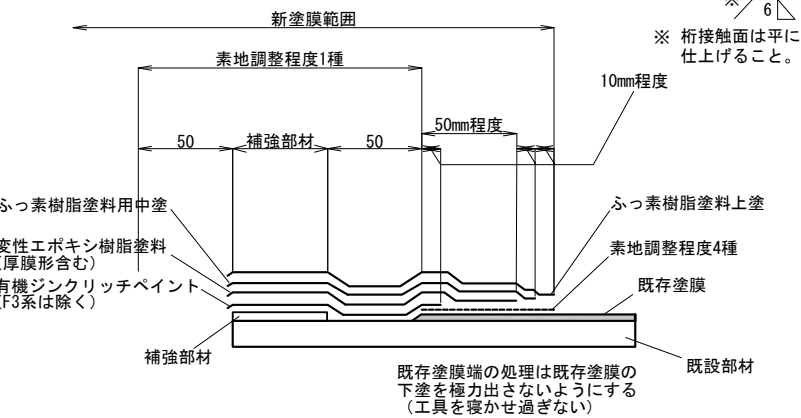
補修図
断面図 S=1:20



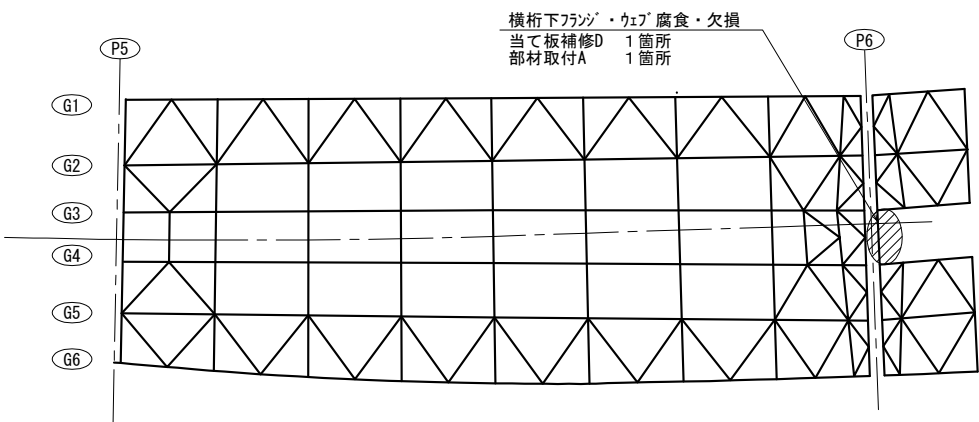
施工手順



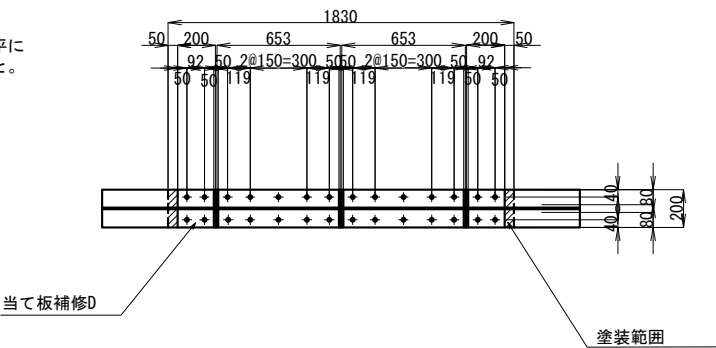
境界部詳細図



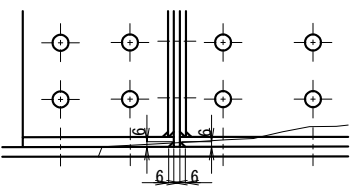
位置図 S=1:200



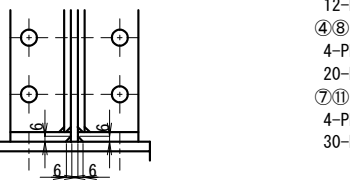
平面図 S=1:20



a部 詳細図 S=1:5

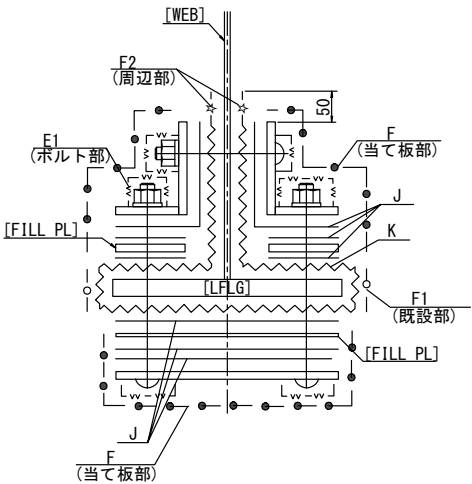


b部 詳細図 S=1:5



- ①⑫下フランジ部
4-PL 80x13x200 (SM400A)
8-Bolt M22x65 (S10T)
- ②⑥⑤⑩⑨⑬垂直補剛材部
12-PL 80x8x250 (SM400A)
②⑤⑨垂直補剛材部
18-Bolt M22x60 (S10T)
- ③⑭ウェブ部
4-PL 192x9x250 (SM400A)
12-Bolt M22x65 (S10T)
- ④⑧下フランジ部
4-PL 80x13x653 (SM400A)
20-Bolt M22x65 (S10T)
- ⑦⑪ウェブ部
4-PL 250x9x637 (SM400A)
30-Bolt M22x65 (S10T)

○シール工
L1=(263+80+200+263+80+200) × 2 × 2=4344mm
L2=(80+263+653+263+80+653) × 2 × 2=7968mm
L1+L2=12312mm



凡例		
記号	塗装系	
E1	ボルト外面 (増し塗り部)	— V V —
F	増し塗り部 (当て板部)	— ● —
F1	増し塗り部 (既設部)	— ○ —
F2	増し塗り部 (周辺部)	— ☆ —
J	摩擦接合面	— — —
K	1種ケレン	— 〰 —

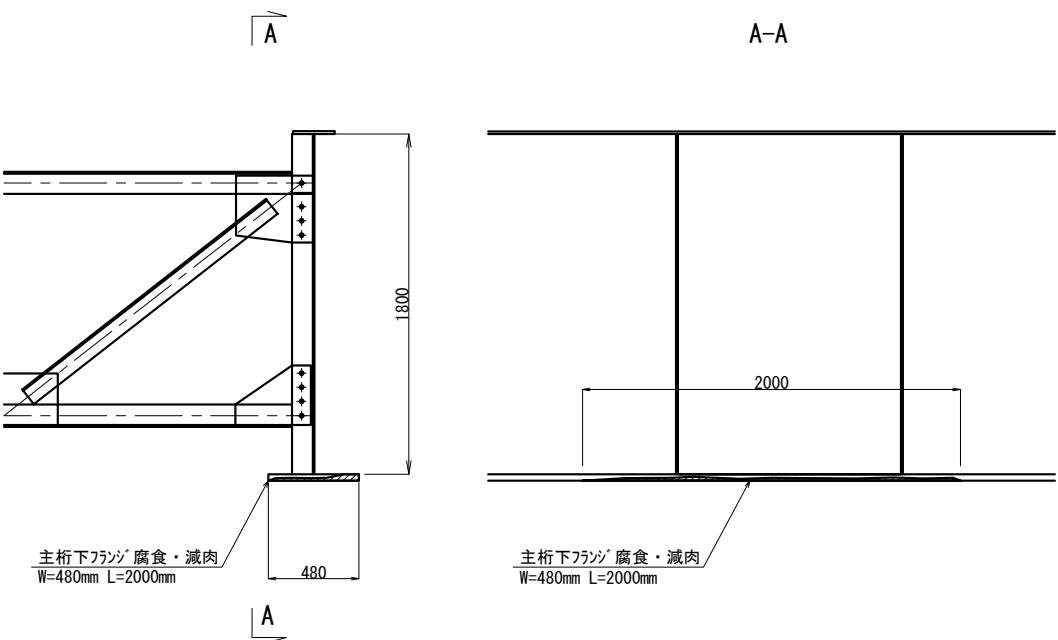
【鋼桁補修工 数量表】

区分	単位	数量	備考
当て板補修D	箇所	1	
部材取付A	箇所	1	

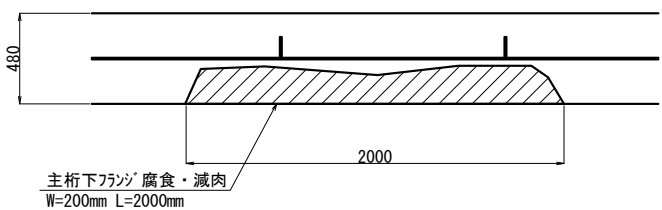
- ＜注記＞
- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - プラスト（ケレン）によるさびやケレンダストを飛散させないよう防護設備を設置すること。
 - 補強部材の現場塗装仕様は高力ボルト接合部はF3系及び高力ボルト頭部はF11系とする。

横浜横須賀道路 水取沢高架橋橋梁補修工事			
図面の種類	鋼桁補修工 詳細図 (4)		
縮尺	図示	図面番号	15 / 39
設計会社名	株式会社櫻エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

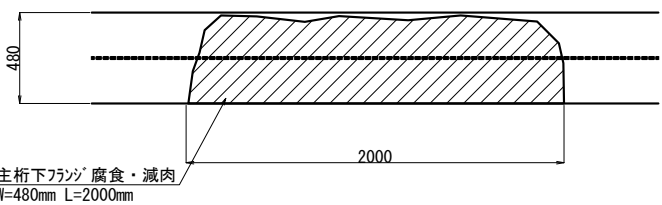
損傷図
断面図 S=1:20



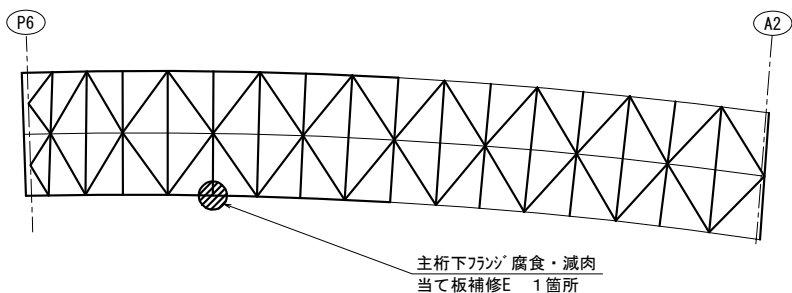
平面図 S=1:20
下フランジ上面



下フランジ下面

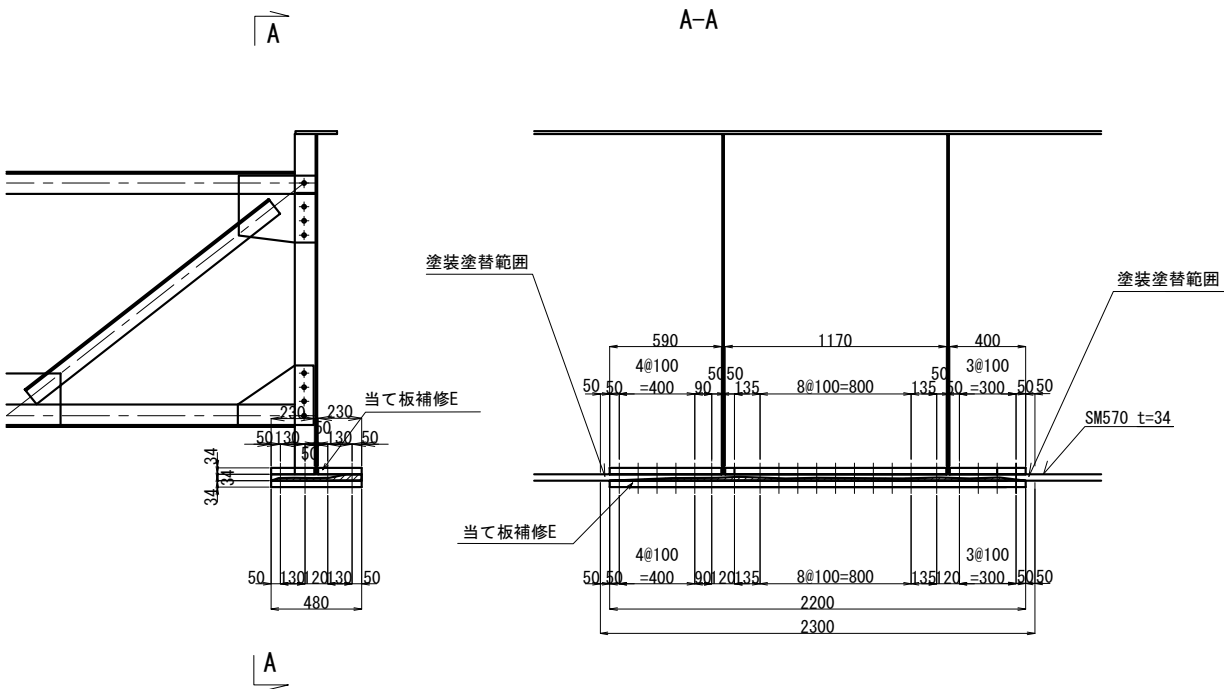


位置図 S=1:200

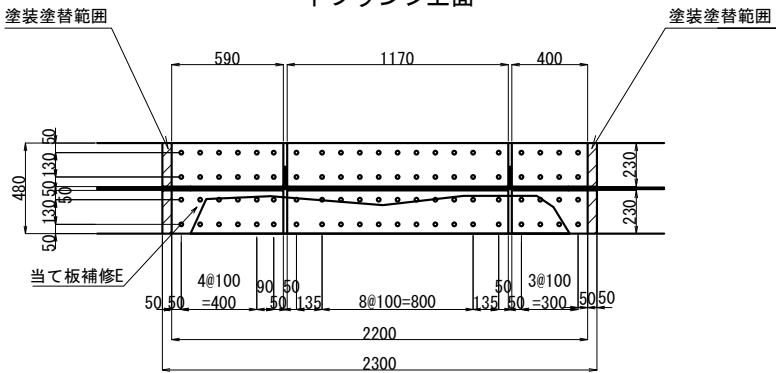


P6～A2橋台上

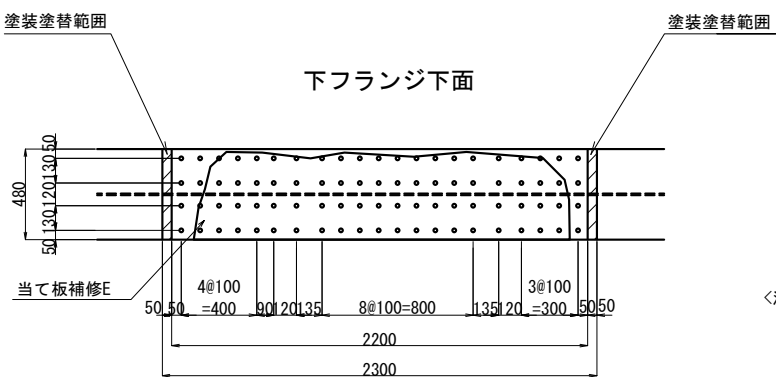
補修図
断面図 S=1:20



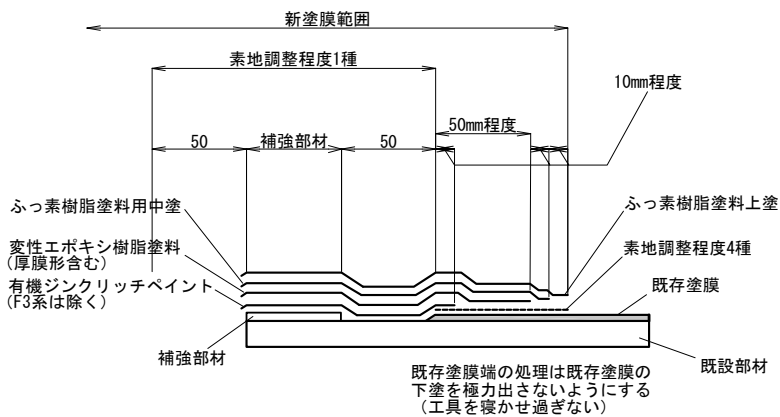
平面図 S=1:20
下フランジ上面



下フランジ下面



境界部詳細図



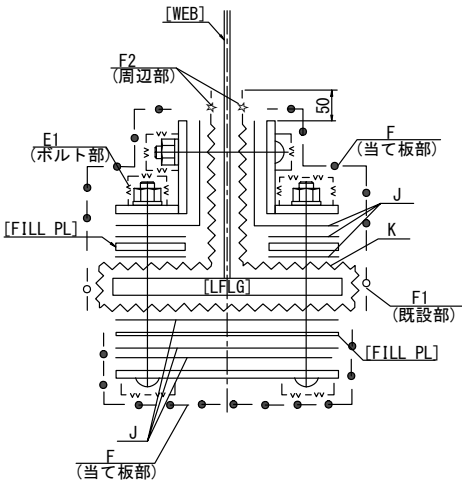
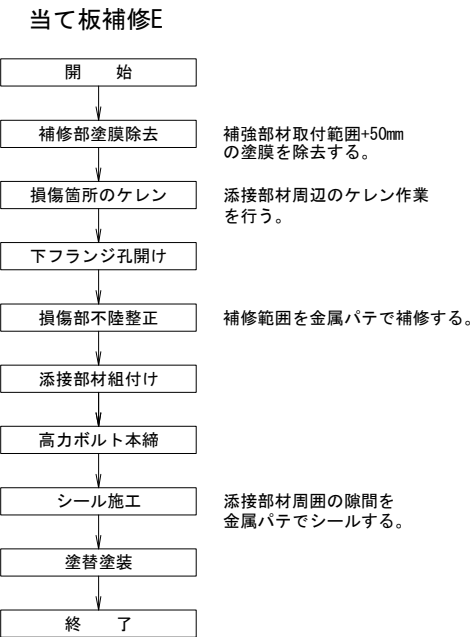
【鋼桁補修工 数量表】

区分	単位	数量	備考
当て板補修E	箇所	1	

2-PL 230x34x 590 (SM570)
2-PL 230x34x1170 (SM570)
2-PL 230x34x400 (SM570)
1-PL 480x34x2200 (SM570)
84-HTB M22x140 (S10T)

○シール工
L1 = (230+590+1170+400+230) × 2 = 5240
L2 = (480+2200) × 2 = 5360
L = 5240+5360 = 10600

施工手順



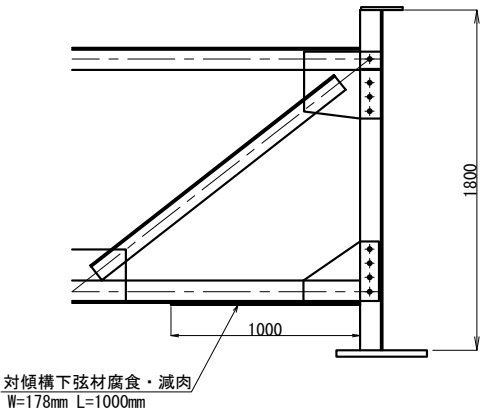
凡例	記号	塗装系
E1	ボルト外面 (増し塗り部)	— V V —
F	増し塗り部 (当て板部)	— ● —
F1	増し塗り部 (既設部)	— ○ —
F2	増し塗り部 (周辺部)	— ☆ —
J	摩擦接合面	— — —
K	1種ケレン	— ~ —

- 〈注記〉
- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地に補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - プラスト（ケレン）によるさびやケレンダストを飛散させないよう防護設備を設置すること。
 - 補強部材の現場塗装仕様は高力ボルト接合部はF3系及び高力ボルト頭部はF11系とする。

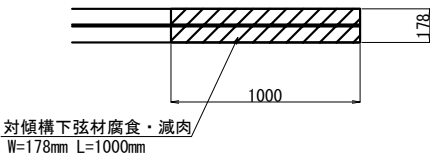
横浜 横浜 須賀 道路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事	
図面の種類	鋼桁補修工 詳細図 (5)
縮 尺	図 示 図 面 番 号 16 / 39
設計会社名	株式会社櫻エンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所

P6～A2橋台上

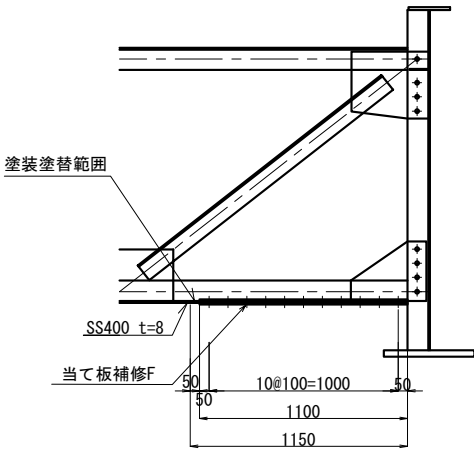
損傷図
断面図



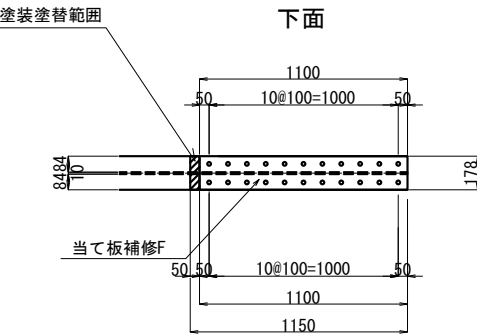
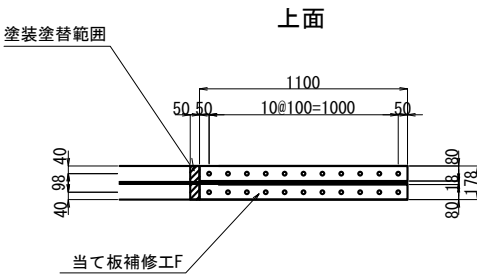
平面図 S=1:20



補修図
断面図 S=1:20



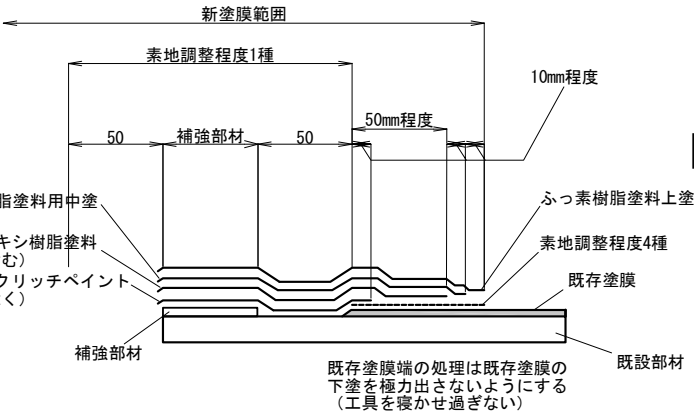
平面図 S=1:20



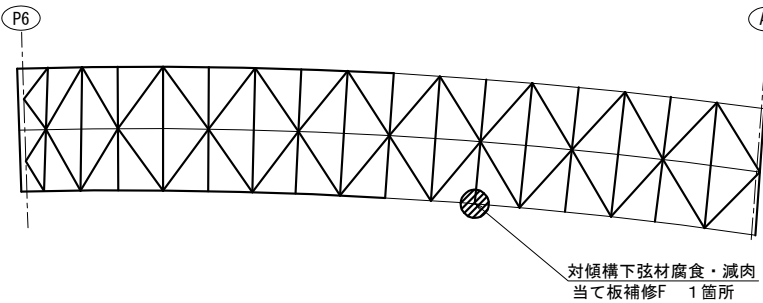
2-PL 80x8x1100 (SS400)
1-PL 178x8x1100 (SS400)
22-HTB M22x60 (S10T)

○シール工
L1 = (80+1100) × 4 = 4720
L2 = (178+1100) × 2 = 2556
L = 4720+2556 = 7276

境界部詳細図

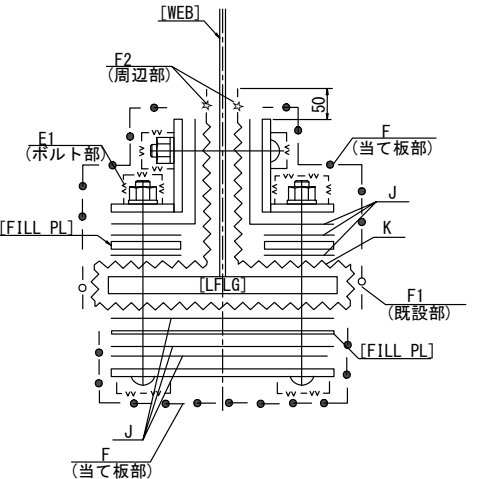
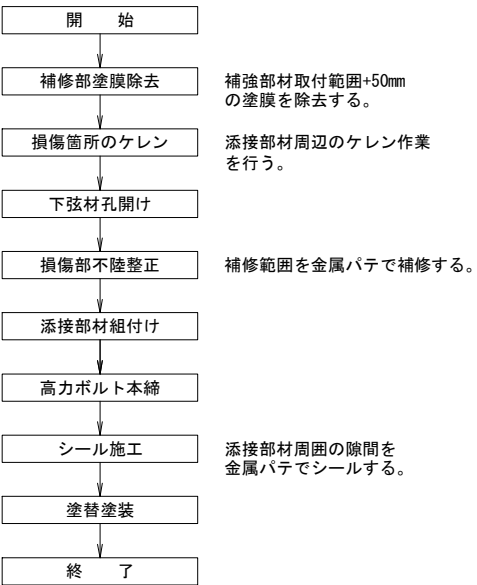


位置図 S=1:200



施工手順

当て板補修F



凡例

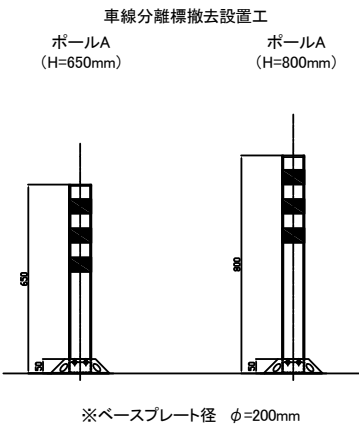
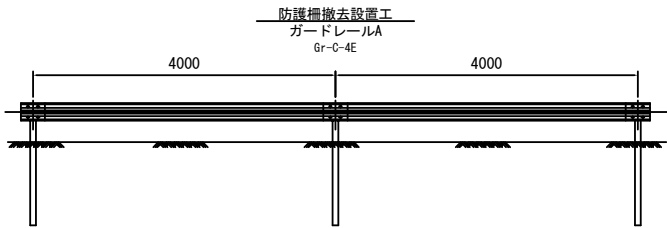
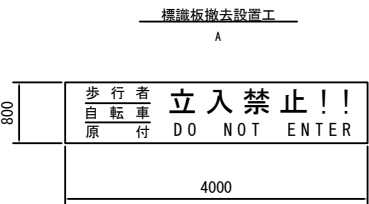
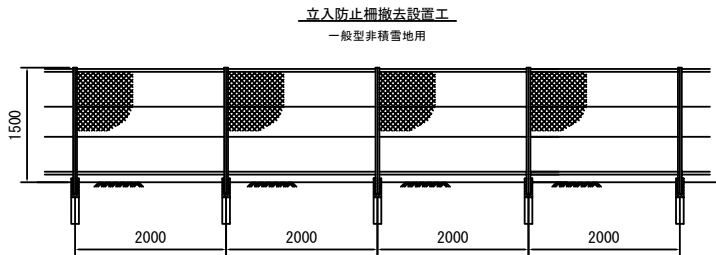
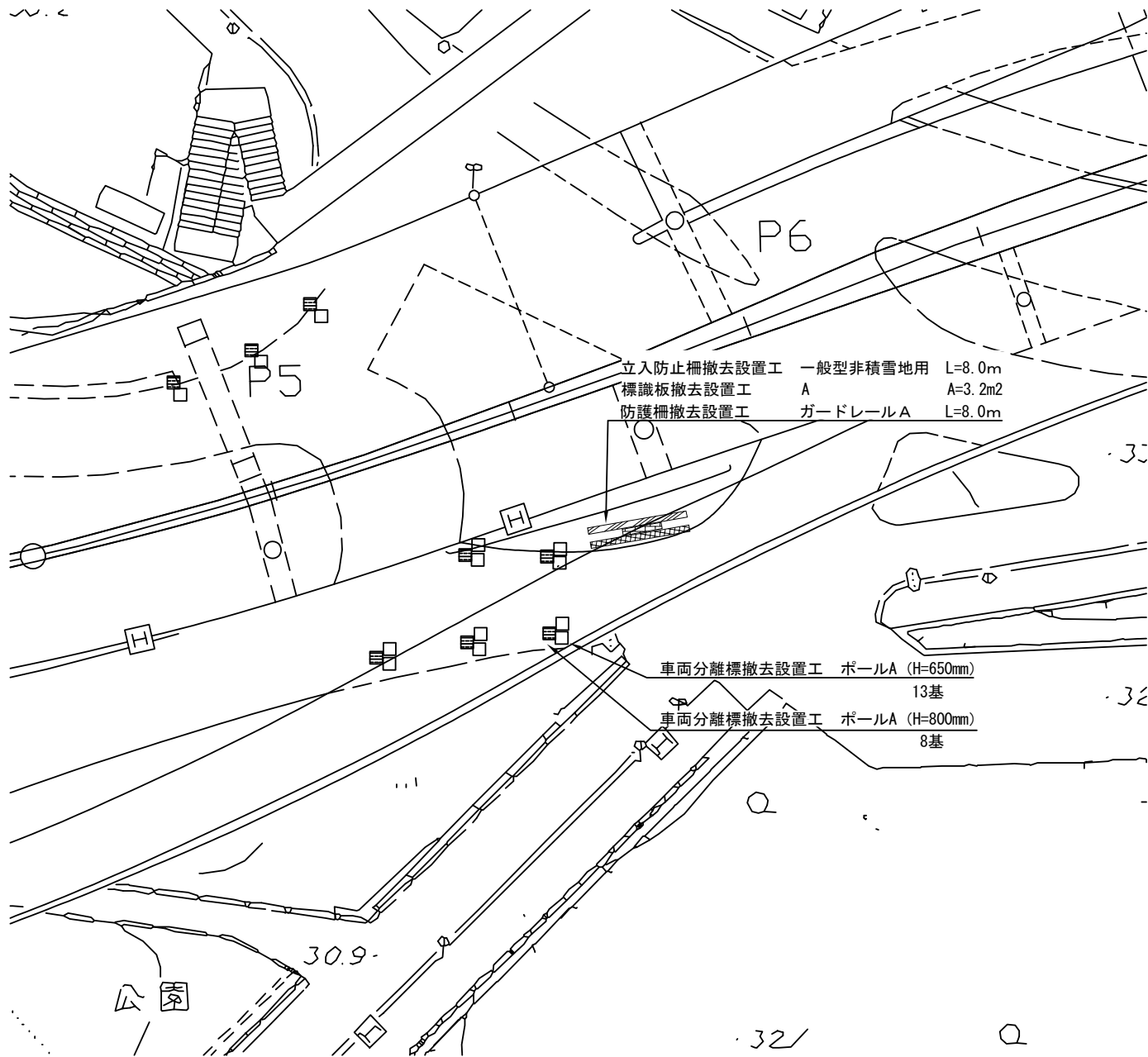
記号	塗装系	
E1	ボルト外面 (増し塗り部)	— V V —
F	増し塗り部 (当て板部)	— ● —
F1	増し塗り部 (既設部)	— ○ —
F2	増し塗り部 (周辺部)	— ☆ —
J	摩擦接合面	— — —
K	1種ケレン	— — —

- <注記>
- 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
 - 施工に際しては、必ず現地に於て補修箇所及び寸法・数量を確認の上行うこと。
 - プラスト（ケレン）によるさびやケレンダストを飛散させないよう防護設備を設置すること。
 - 補強部材の現場塗装仕様は高力ボルト接合部はF3系及び高力ボルト頭部はF11系とする。

【鋼桁補修工 数量表】

区 分	単 位	数 量	備 考
当て板補修F	箇所	1	

横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事	図面の種類	鋼桁補修工 詳細図 (6)
縮 尺	図 示	図 面 番 号 17 / 39
設計会社名	株式会社櫻エンジニアリング	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所	



- 【凡 例】
- 立入防止柵撤去設置工
一般型非積雪地用
 - 標識板撤去設置工
A
 - 防護柵撤去設置工
ガードレールA
 - 車線分離標撤去設置工
ポールA (H=650mm)
 - 車線分離標撤去設置工
ポールA (H=800mm)

【付帯工 数量表】

区 分	単 位	数 量	備 考
立入防止柵撤去設置工 一般型非積雪地用	m	8.0	支柱間
防護柵撤去設置工 ガードレールA	m	8.0	支柱間
車線分離標撤去設置工 ポールA (H=650mm)	基	13	
車線分離標撤去設置工 ポールA (H=800mm)	基	8	
標識板撤去設置工 A	m2	3.2	既設ビームからの 撤去・再設置

伸縮装置補修工 詳細図(1)

S = 1:50

- 【伸縮装置補修工 B1 (P5) 材料数量】
- 1-乾式止水材 1046

1-乾式止水材 15334

[排水用]1-防塵フォーム 125×110×200

押え金具設置延長 L=16652
- 1-止水ゴムパッキン 16652 (CR)

2-端部ジャバラ蓋

1-排水パイプ 50A×300 (CR) [止水ゴム付]

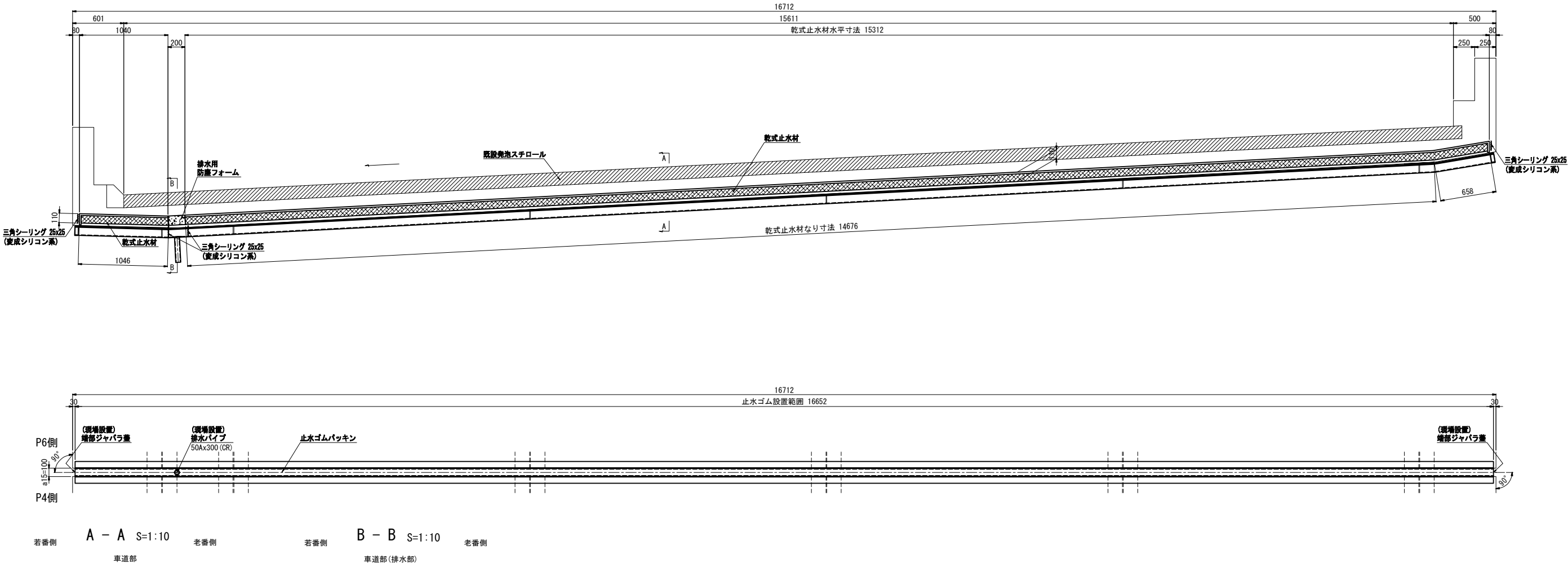
1-排水パイプ 50A×3000 (PVC) [導水用]

1-排水パイプカフス 50A用 (EPDM)

1-排水パイプ継手管 50A用

2-排水パイプ継手バンド 50A用

3-排水パイプ固定金具 50A用

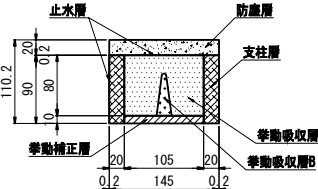


排水用防塵フォーム詳細図

(ポリウレタンフォーム)
[製作幅=最大遊間+10=125]



乾式止水材詳細図 S=1:10

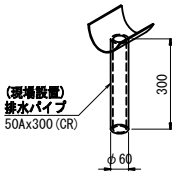


- 注記)
- 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
 - SS材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。膜厚はJIS H 8641 HDZ777とする。ただしボルト類はHDZ749とする。
 - ゴム板の導水用排水パイプの流末処理方法は協議の上決定すること。
 - 接着剤(t=3)に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.2kg/m2)を塗布すること。
 - 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。
現地調査の結果、コンクリート面に不陸や欠損がある場合、あるいは桁遊間内の既設物の設置状況によっては施工不可とし、別途止水構造を検討するものとする。
 - 新設するナットは、ゆるみ止めナットを使用すること。

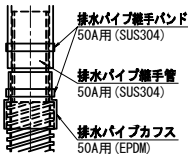
【伸縮装置補修工 数量表】

区分	単位	数量	備考
B1	箇所	1	P5

排水パイプ詳細図



排水パイプ継手部詳細図 S=1:10

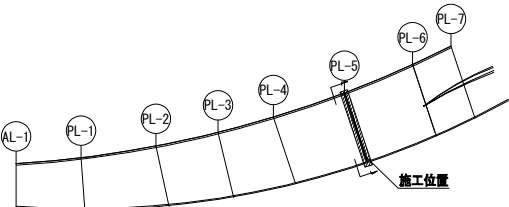


端部ジャバラ蓋詳細図

止水ゴム両端部に設置



配置図



横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事	
図面の種類	伸縮装置補修工 詳細図(1)
縮 尺	図 示 図 面 番 号 19 / 39
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所

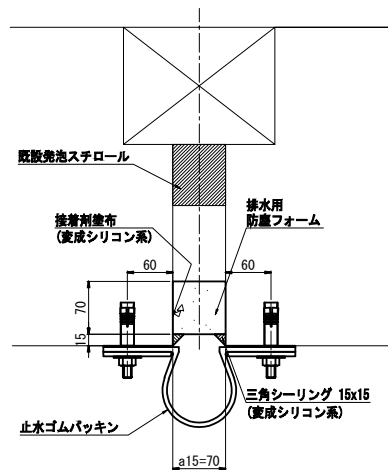
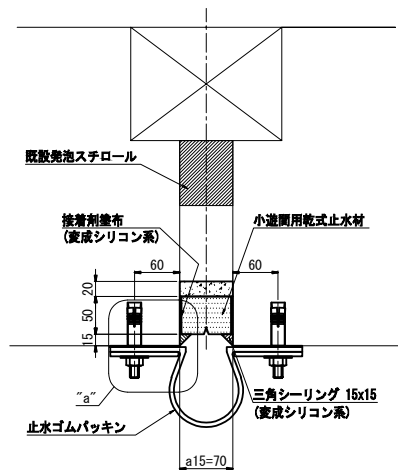
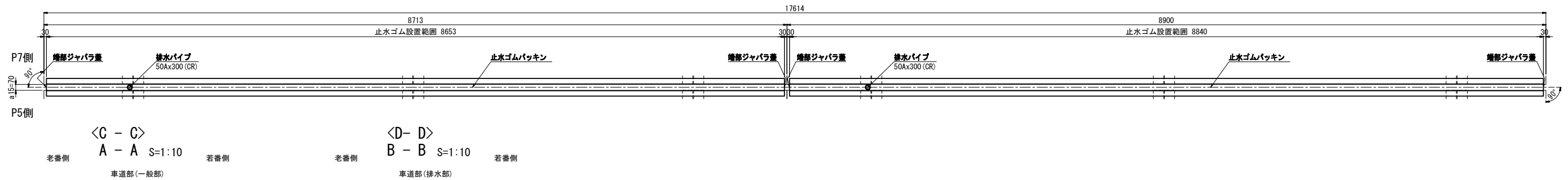
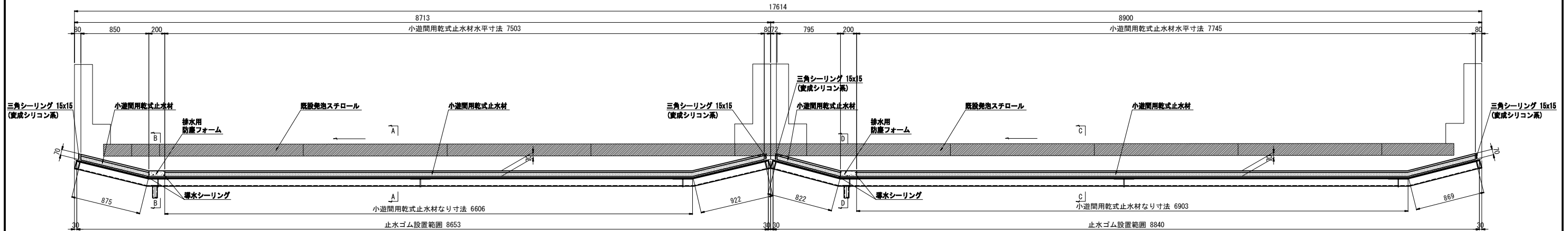
下り線P6橋脚

20 / 39

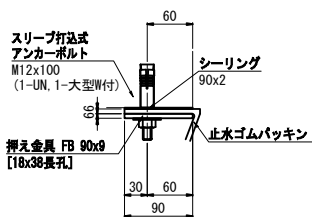
標準ウエブ遊間	+15℃時	70mm
最大ウエブ遊間	-10℃時	84mm
最小ウエブ遊間	+40℃時	56mm

1-小遊間用乾式止水材 875
1-小遊間用乾式止水材 7528
1-小遊間用乾式止水材 822
1-小遊間用乾式止水材 7772
〔排水用〕 2-防塵フォーム 94 × 70 × 200

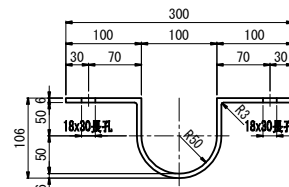
1-止水ゴムパッキン 8653(CR)
1-止水ゴムパッキン 8840(CR)
4-端部ジャバラ蓋
2-排水パイプ 50A×300(CR)〔止水ゴム付〕
2-排水パイプ 50A×3000(PVC)〔導水用〕
2-排水パイプカフス 50A用(EPDM)
2-排水パイプ継手管 50A用
4-排水パイプ継手バンド 50A用
6-排水パイプ固定金具 50A用



“a”部詳細図 S=1:10



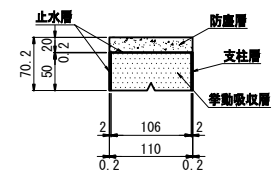
止水ゴムパッキン詳細図 S=1:10



(ポリウレタンフォーム)
[製作幅=最大遊間+10=94]



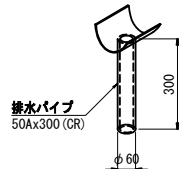
小遊間用乾式止水材詳細図 S=1:10



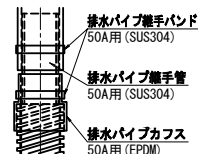
- (注記)
1. 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
 2. SS材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。厚膜はJIS H 8641 HDZT71とする。たしボルト類はHDZT49とする。
 3. ゴム板の導水路排水パイプの流末処理方法は協議の上決定すること。
 4. 接着剤(t=3)に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれぞれの施工の前にプライマー(0.2kg/m²)を塗布すること。
 5. 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。
- 現地調査の結果、コンクリート面に不陸や欠損がある場合、あるいは折曲間隔の既設物の設置状況によっては施工不可とし、別途止水構造を検討するものとする。
6. 新設するナットは、ゆるみ止めナットを使用すること。

区 分	単 位	数 量	備 考
B2	箇所	1	P6

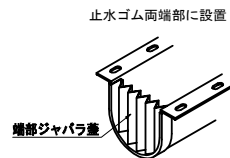
排水パイプ詳細図



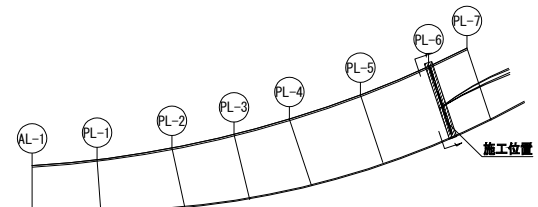
排水パイプ
継手部詳細図 S=1:10



端部ジャバラ蓋詳細図



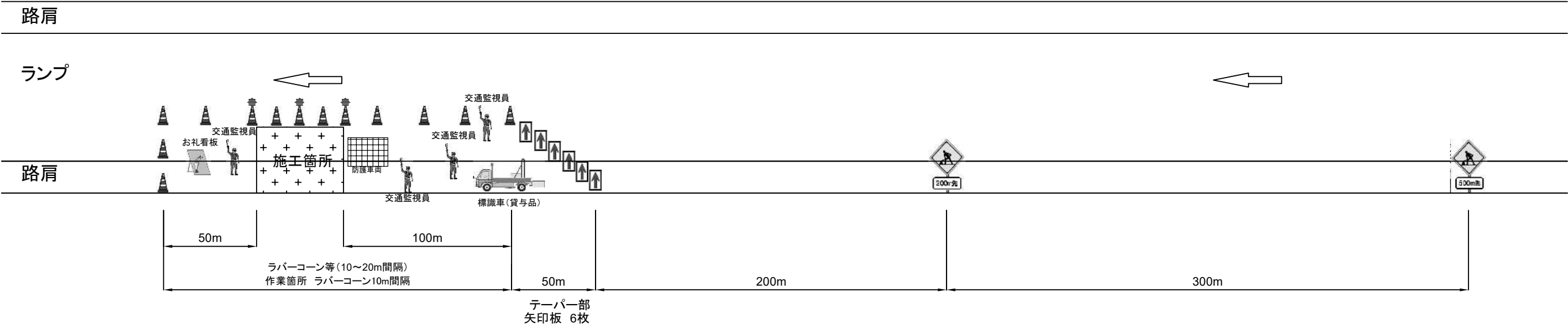
配置図



横 水	浜 取	横 高	須 架	賀 橋	道 梁	路 補	修 工	事
図面の種類		伸縮装置補修工 詳細図(2)						
縮 尺		図 示		図面番号		20 / 39		
設計会社名								
施工会社名								
東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所								

【第三京浜道路】路肩規制(ランプ部 : 昼間)

路肩規制 A 1



数量表 1回当たり

名称	数量	単位	備考
規制標識	2	枚	貸与品
矢印板	6	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
標識等安全施設 (標示板)	1	枚	貸与品
標識等安全施設 (保安灯)	必要数	本	貸与品
防護車両	1	台	受注者所持
交通監視員 (テーパー部)	1	人	
交通監視員 (工事車両出入口)	1	人	
交通監視員 (施工箇所)	1	人	
交通監視員 (規制内巡回等)	1	人	

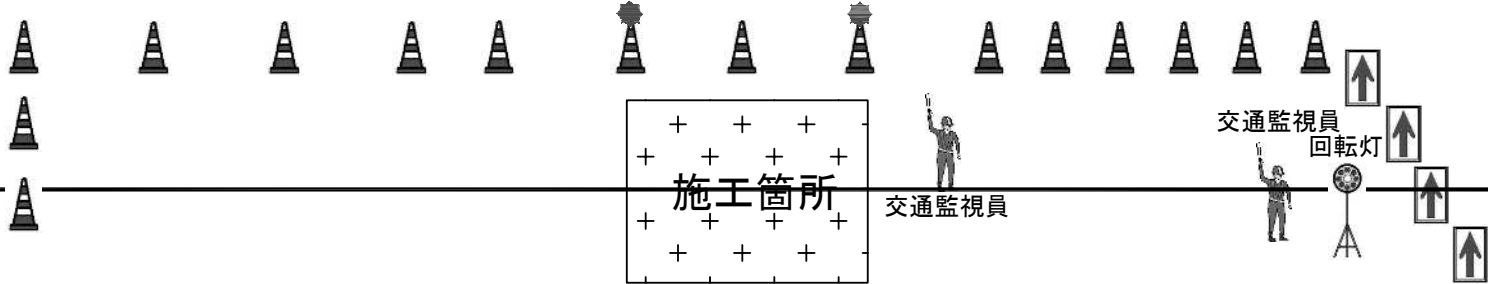
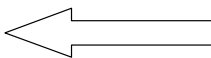
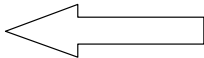
横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	交通規制工 詳細図 (1)		
縮 尺	—	図面番号	21 / 39
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

交通規制工 詳細図 (3)

【第三京浜道路】路肩規制(ランプ部 : 昼間)

路肩規制 A 2

一般道



数量表 1回当たり

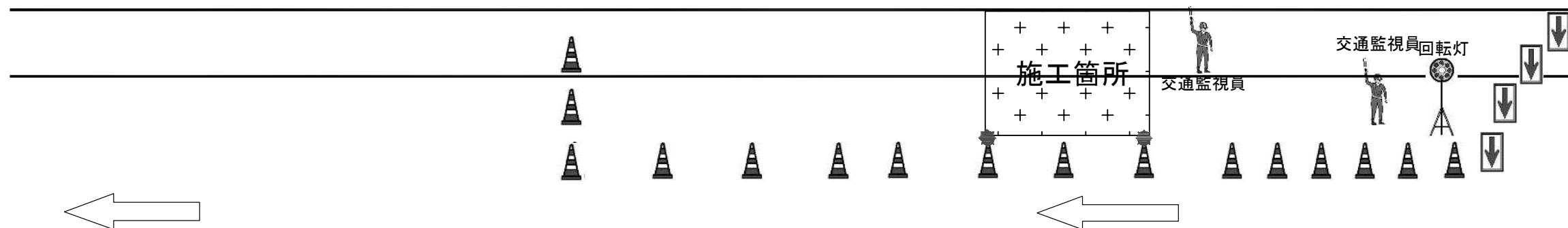
名称	数量	単位	備考
矢印板	4	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
標識等安全施設 (回転警告灯)	1	台	貸与品
標識等安全施設 (保安灯)	必要数	本	貸与品
交通監視員 (テーパー部)	1	人	
交通監視員 (施工箇所)	1	人	

横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	交通規制工 詳細図 (3)		
縮 尺	—	図面番号	23 / 39
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

交通規制工 詳細図 (4)

【第三京浜道路】路肩規制(ランプ部 : 昼間)

路肩規制 A 2



一般道

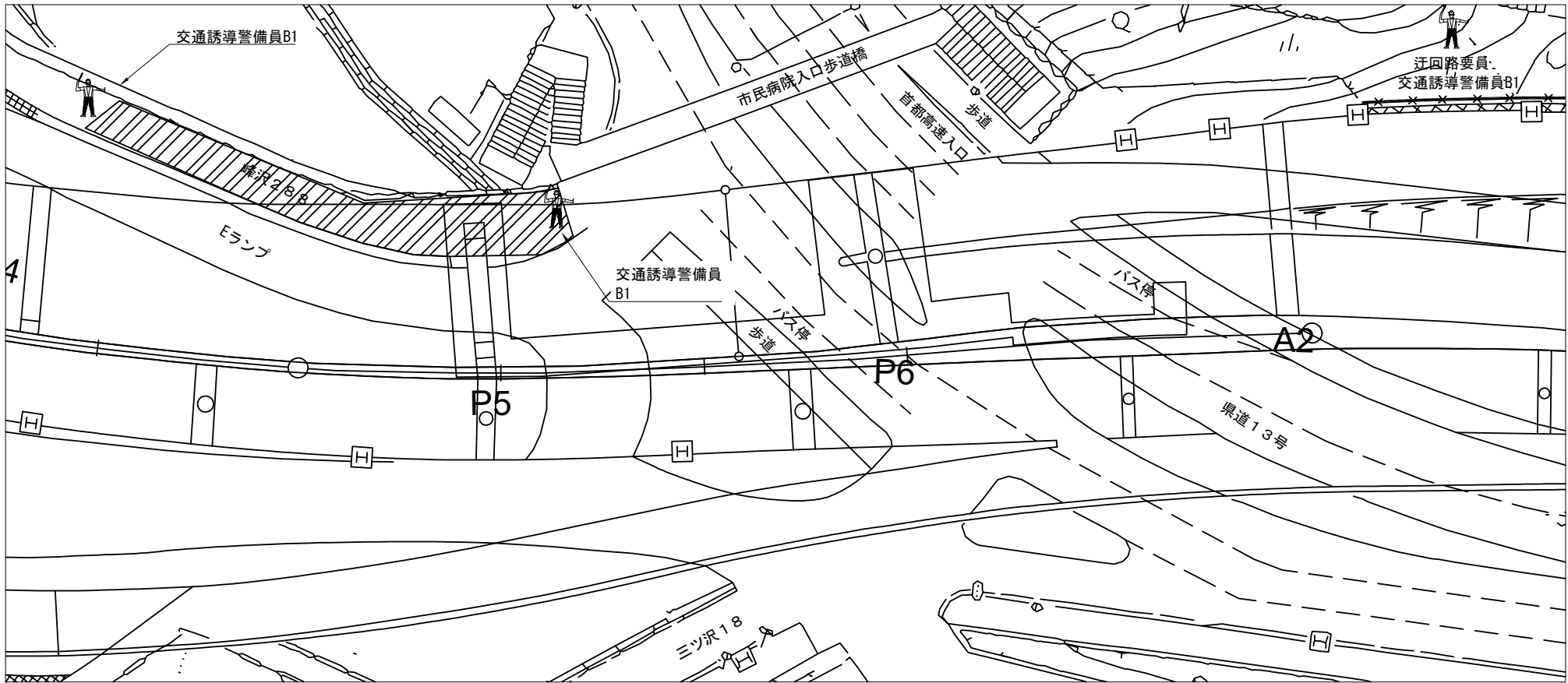
数量表 1回当たり

名称	数量	単位	備考
矢印板	4	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
標識等安全施設 (回転警告灯)	1	台	貸与品
標識等安全施設 (保安灯)	必要数	本	貸与品
交通監視員 (テーパー部)	1	人	
交通監視員 (施工箇所)	1	人	

ラバーコーン等(10~20m間隔)
作業箇所 ラバーコーン10m間隔テーパー部
矢印板 4枚

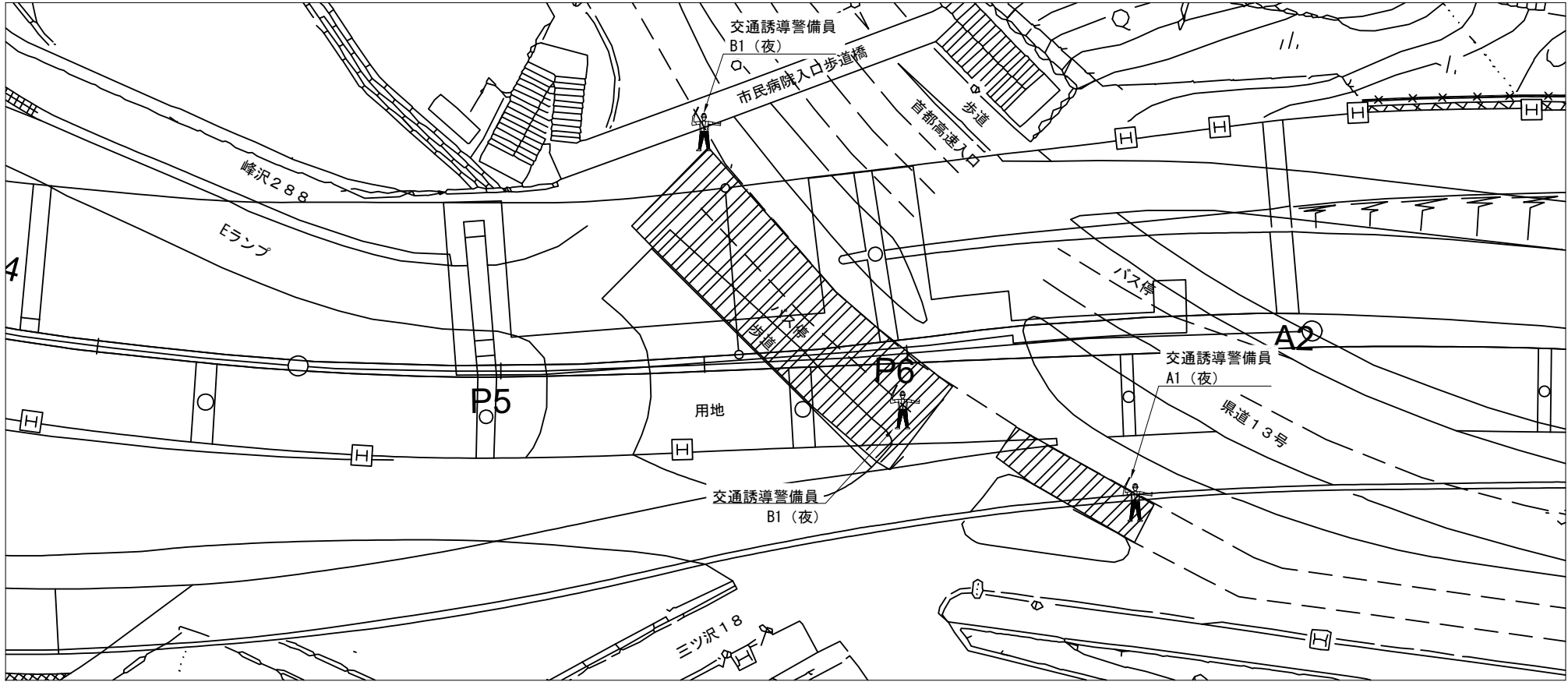
横 水	浜 取	横 高	須 架	賀 橋	道 梁	路 補	修 工	事
図面の種類		交通規制工 詳細図 (4)						
縮 尺		—	図面番号			24 / 39		
設計会社名								
施工会社名								
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所						

【１】市道峰沢第288号線（下り線 P 5 施工時）通行止め



交通安全要員 数量		1 回当たり(人・日)	
項目	必要人数	規制回数	合計
	規制箇所		
交通誘導警備員B1	3	2	6

【２】県道13号横浜生田線（下り線 P 5～P 6 施工時）

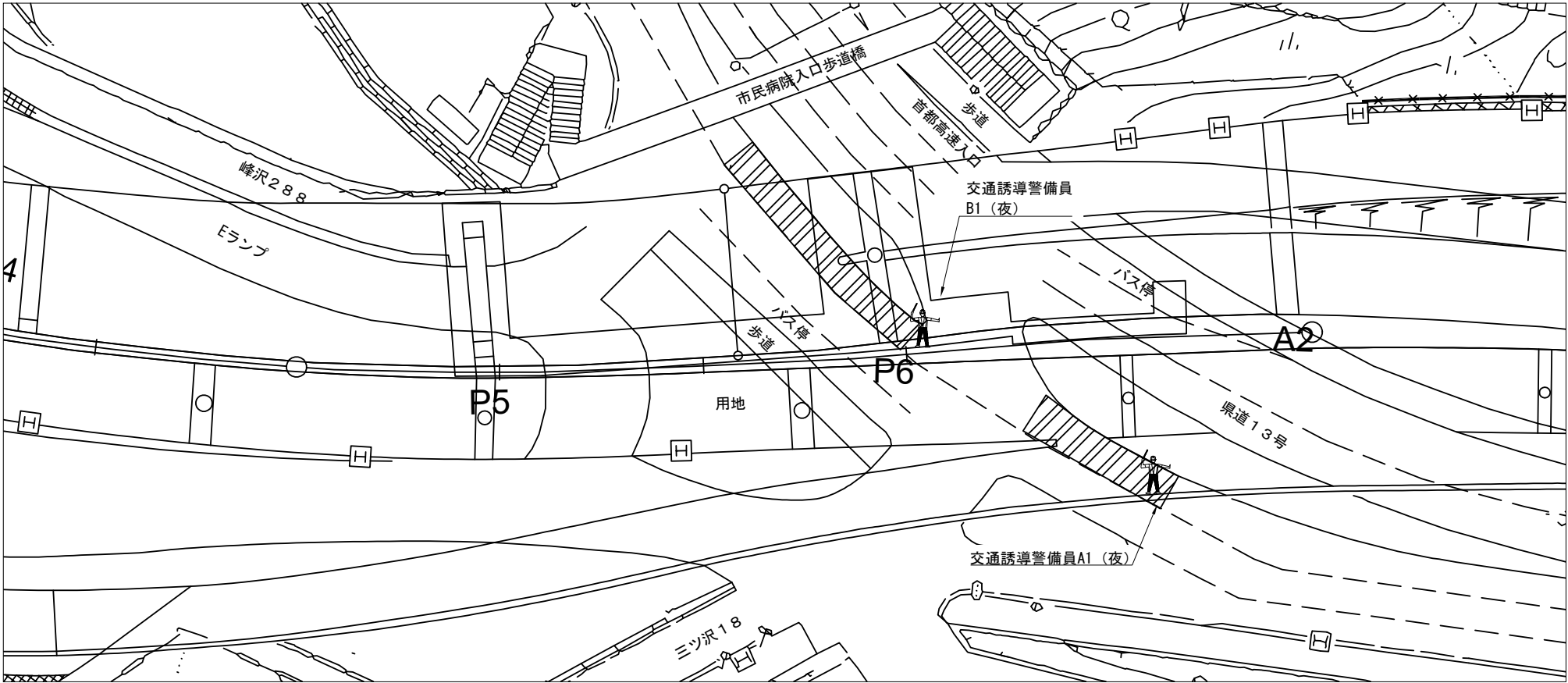


交通安全要員 数量		1 回当たり(人・日)	
項目	必要人数	規制回数	合計
	規制箇所		
交通誘導警備員A1（夜）	1	2	2
交通誘導警備員B1（夜）	2	2	4

凡例
：交通誘導警備員
：規制範囲

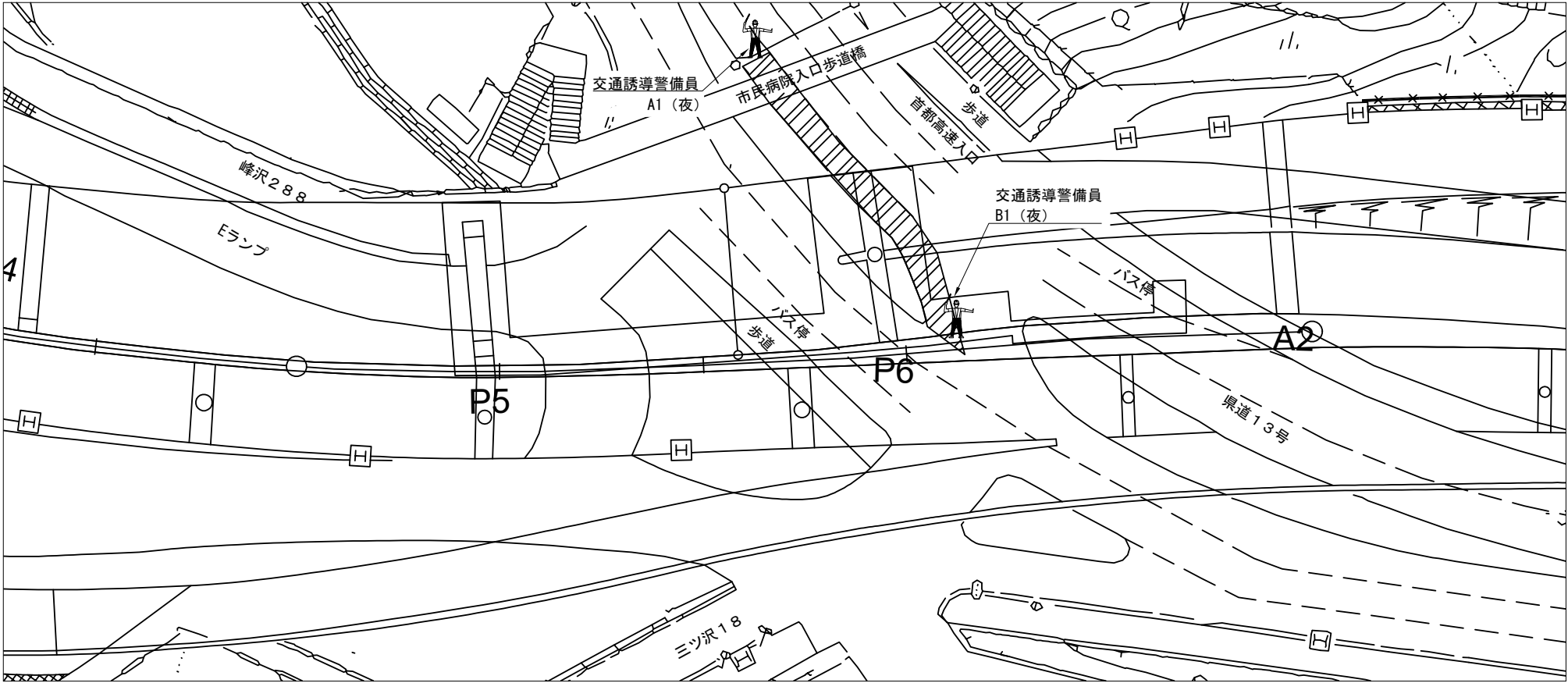
横浜 横須賀 道路 橋梁 補修 工事			
図面の種類	交通安全要員配置図（１）		
縮尺	-	図面番号	25 / 39
設計会社名	-		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

【3】 県道13号横浜生田線 （下り線 P5～P6 施工時）



交通安全要員 数量		1 回当たり(人・日)	
項目	必要人数	規制回数	合計
	規制箇所		
交通誘導警備員A1（夜）	1	5	5
交通誘導警備員B1（夜）	1	5	5

【4】 県道13号横浜生田線 （下り線 P6～A2 施工時）



交通安全要員 数量		1 回当たり(人・日)	
項目	必要人数	規制回数	合計
	規制箇所		
交通誘導警備員A1（夜）	1	2	2
交通誘導警備員B1（夜）	1	2	2

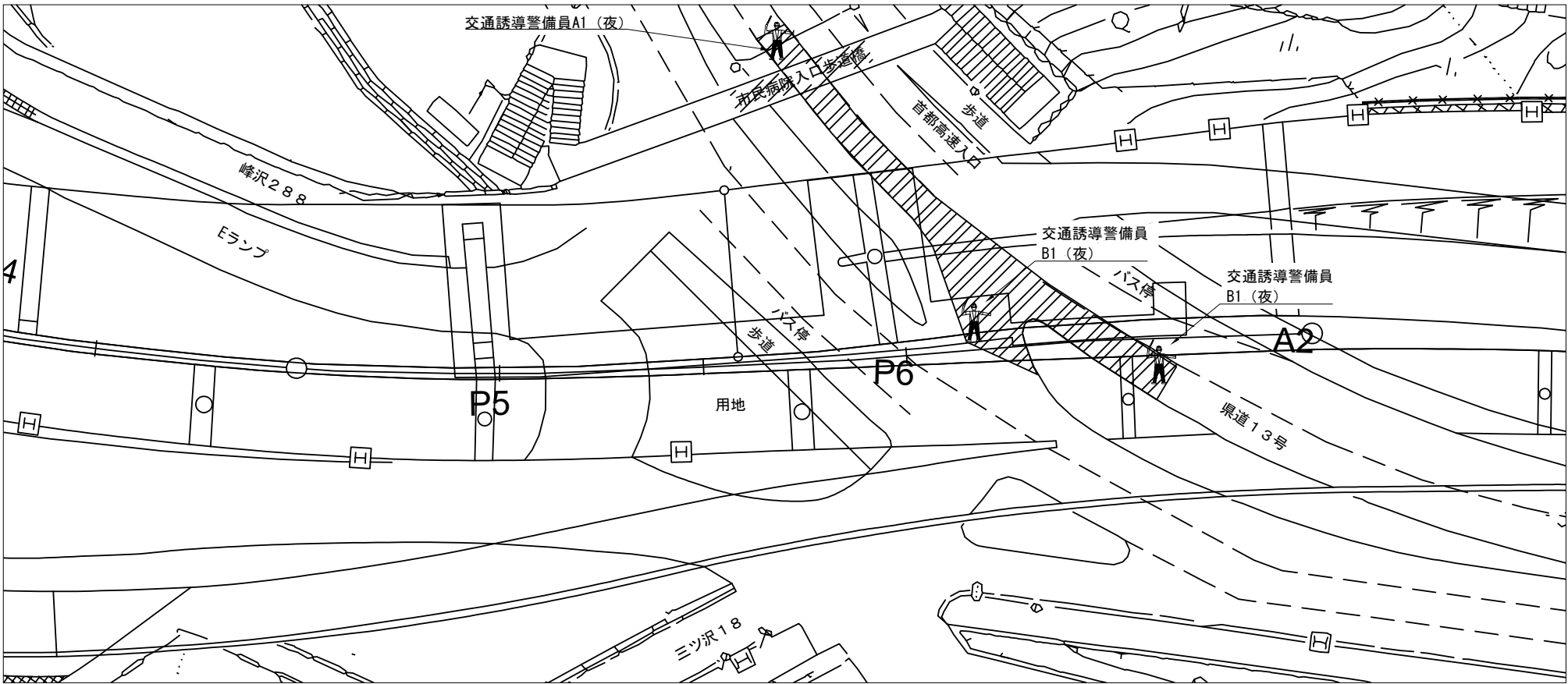
凡例

 : 交通誘導警備員

 : 規制範囲

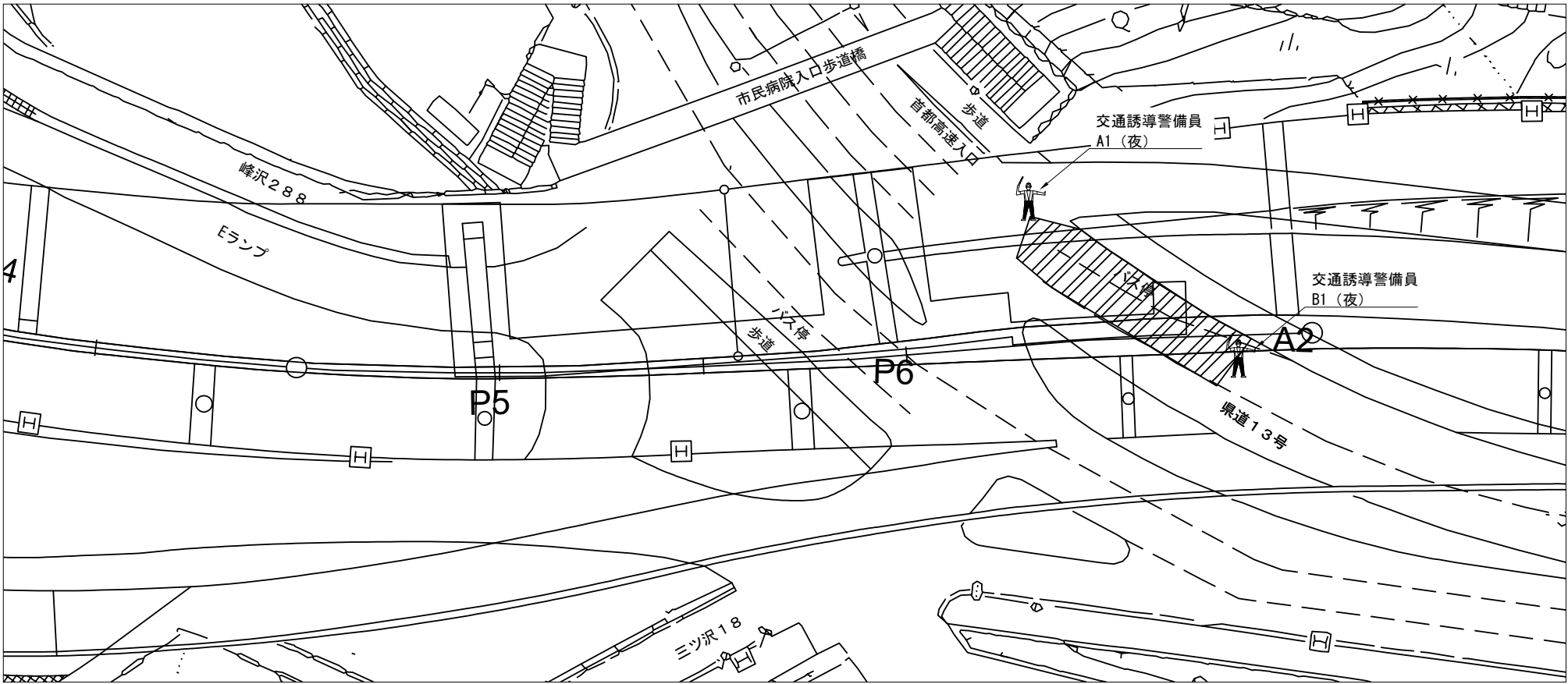
横浜 横須賀 道路 水取沢 高架橋 橋梁 補修 工事			
図面の種類	交通安全要員配置図（2）		
縮 尺	-	図面番号	26 / 39
設計会社名	-		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

【5】 県道13号横浜生田線 （下り線 P 6 ～ A 2 施工時）



項目	必要人数	1 回当たり(人・日)	
	規制箇所	規制回数	合計
交通誘導警備員A1（夜）	1	2	2
交通誘導警備員B1（夜）	2	2	4

【6】 県道13号横浜生田線 （下り線 P 6 ～ A 2 施工時）



項目	必要人数	1 回当たり(人・日)	
	規制箇所	規制回数	合計
交通誘導警備員A1（夜）	1	2	2
交通誘導警備員B1（夜）	1	2	2

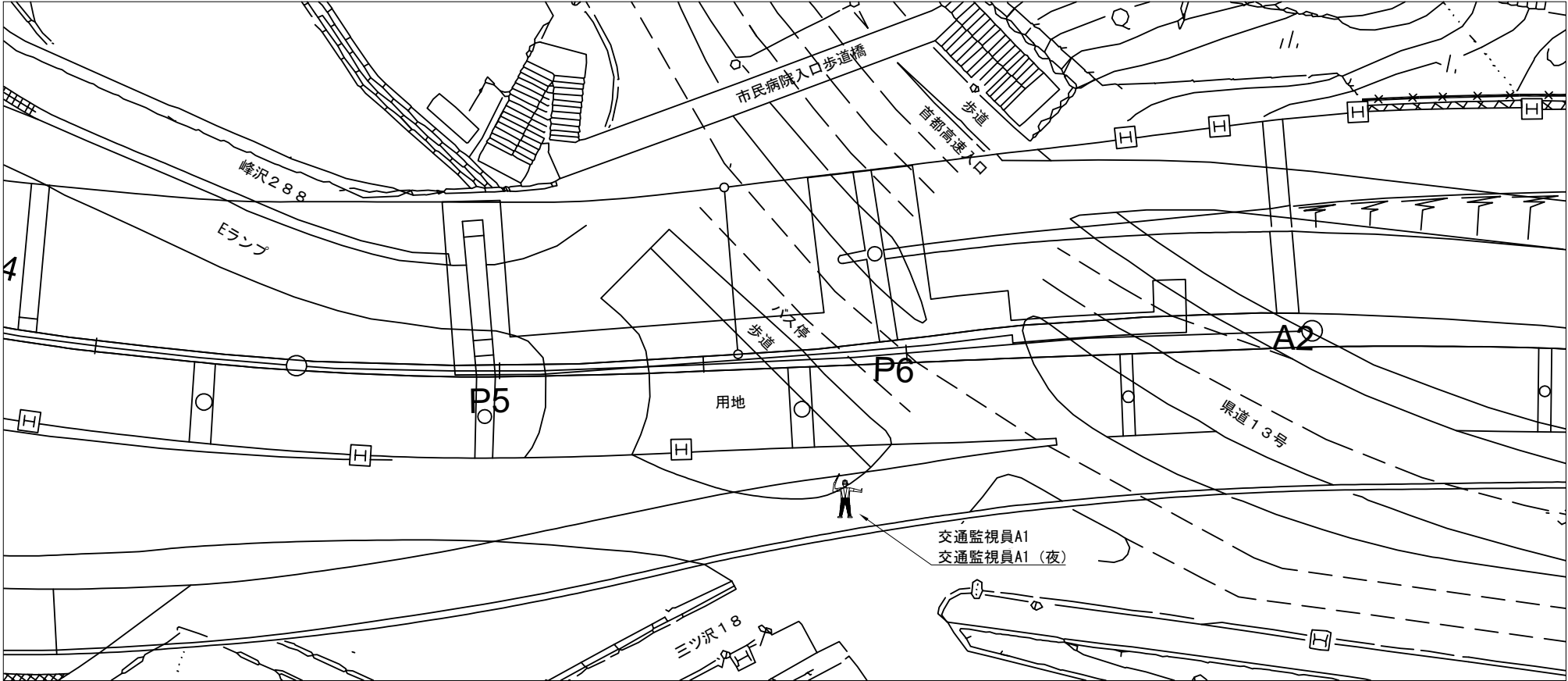
凡例

 : 交通誘導警備員

 : 規制範囲

横浜 横須賀 道路 水取沢 高架橋 橋梁 補修 工事			
図面の種類	交通保安要員配置図（3）		
縮 尺	-	図面番号	27 / 39
設計会社名	-		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

【7】車両進入箇所（保土ヶ谷IC Hランプ）



項目	交通安全要員 数量	1回当たり(人・日)	
	必要人数 車両出入口	規制回数	合計
交通監視員A1	1	67	67
交通監視員A1(夜)	1	13	13

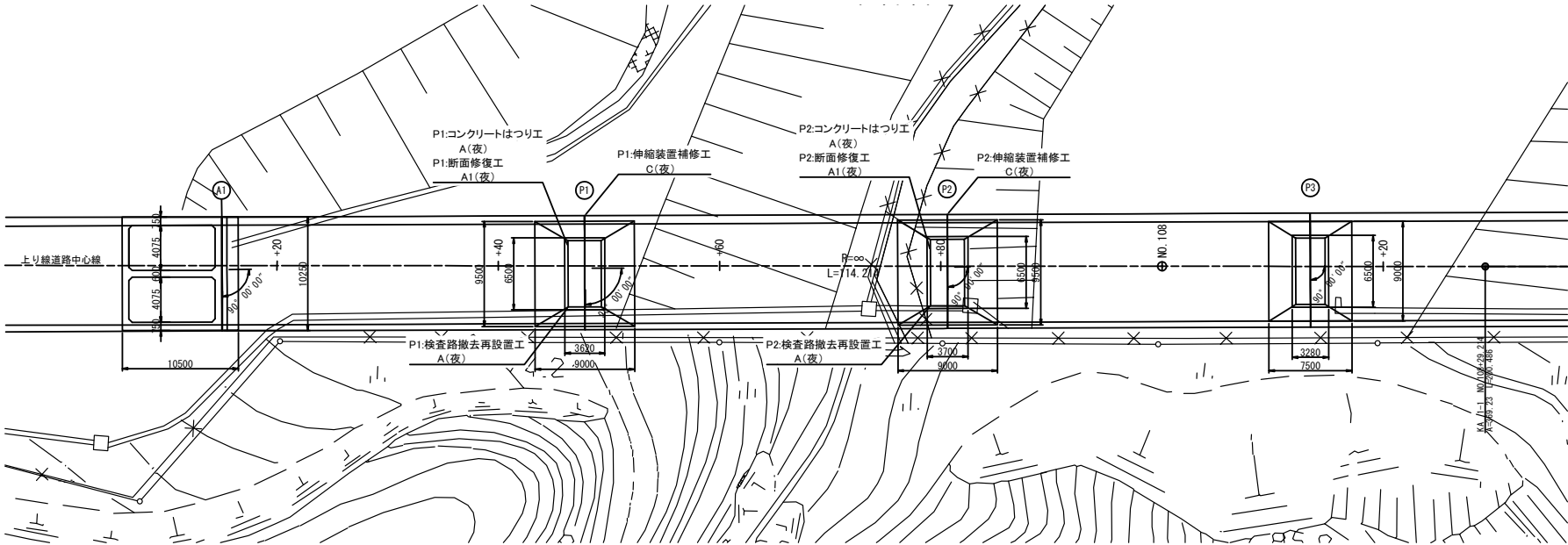
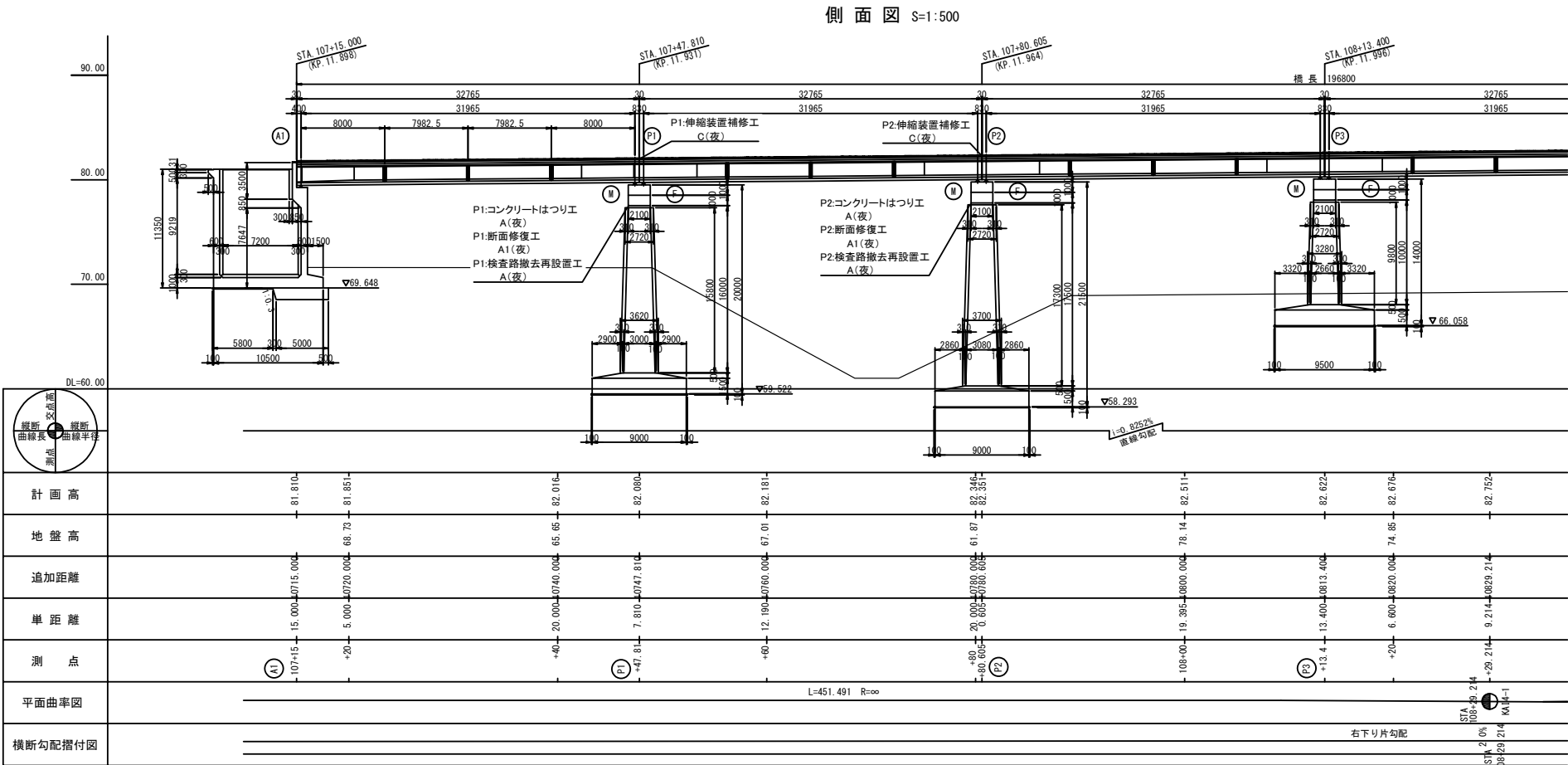
凡例

 : 交通監視員

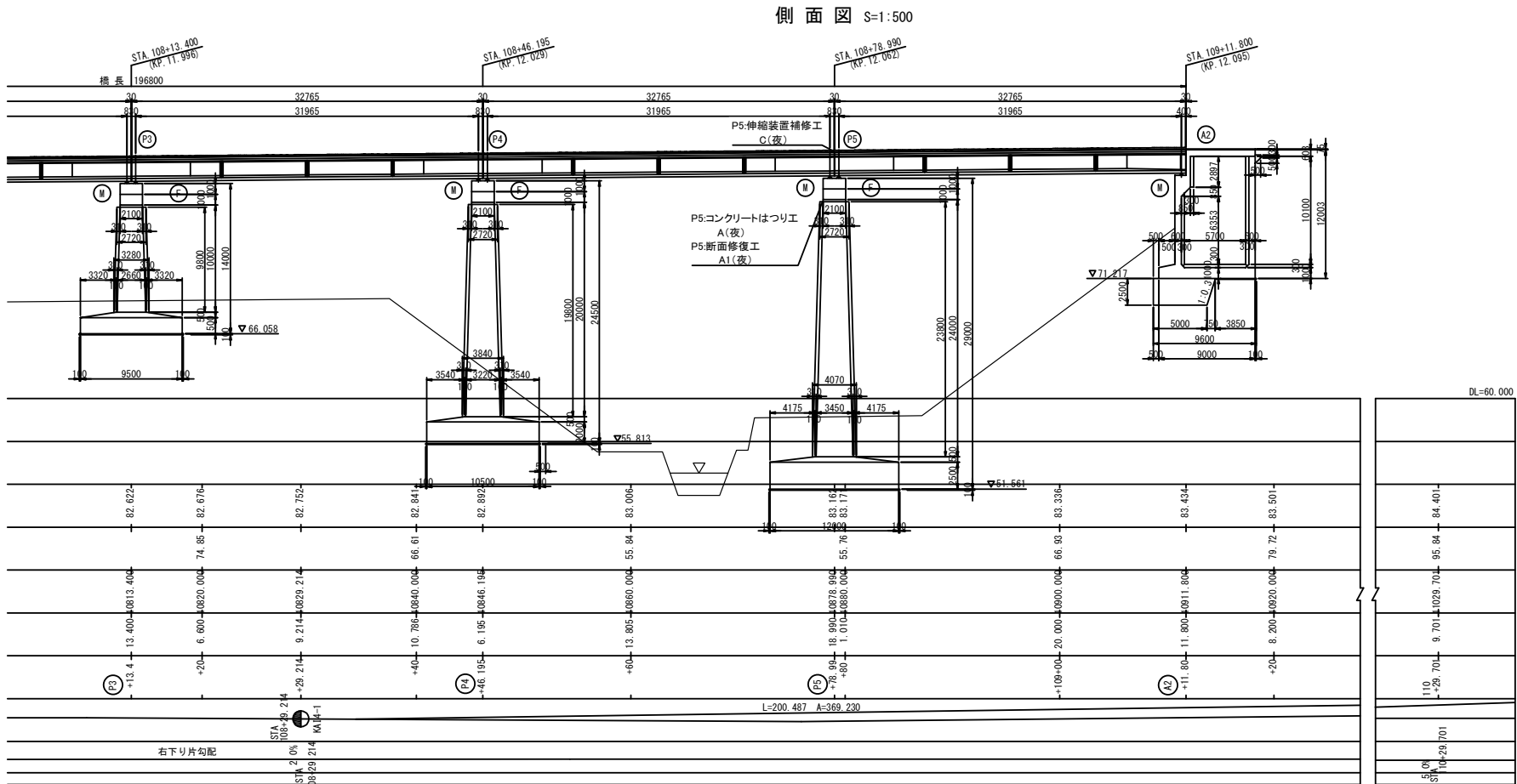
 : 規制範囲

横浜須賀道路 水取沢高架橋橋梁補修工事			
図面の種類	交通安全要員配置図（４）		
縮尺	-	図面番号	28 / 39
設計会社名	-		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

氷取沢高架橋



横浜須賀道路 水取沢高架橋橋梁補修工事			
図面の種類	橋梁一般図(1)		
縮尺	図示	図面番号	29 / 39
設計会社名	信和設計株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		



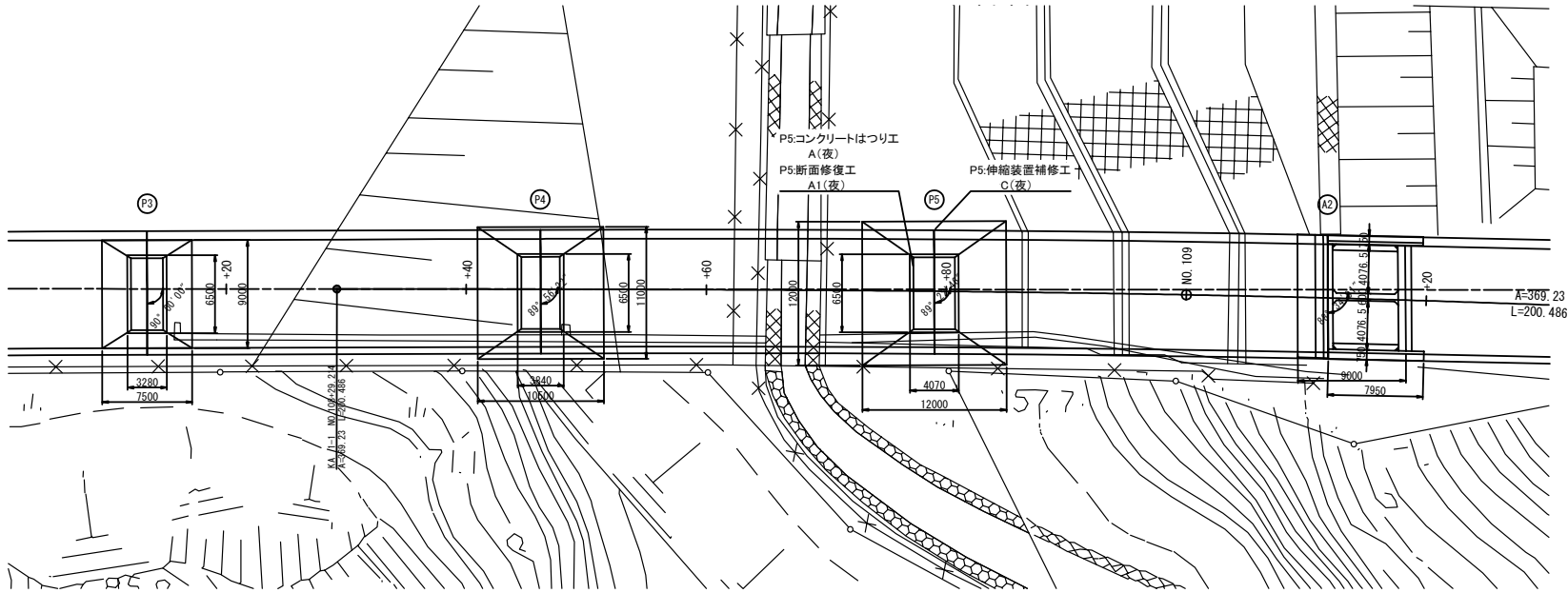
設計条件

橋長	196.800 m
桁長	32.765 m
支間	31.965 m
幅員	9.000 (10.300)
活荷重	TL-20 (TT-43)
衝撃係数	i=10/(25+1) i=20/(25+1)
温度変化	t=+5°
地震係数	KH=0.25 KV=0
特殊荷重(害)	
斜角度	① 90° 00' 00" ② 88° 34' 01"
平面線形	R=∞ STA 108+29.715 L=200.487 A=369.230
縦断線形	直線 L=0.8252%
横断勾配	STA 108+29.715 1.835 STA 110+29.701

上部工材料強度及び許容応力度

コンクリート	主 桁	場所打ち	
		床版	橋 桁
設計基準強度	400kg/cm ²	240kg/cm ²	300kg/cm ²
許容曲げ圧縮応力度	上 縁 130kg/cm ² 下 縁 170	68.5	上縁 100kg/cm ² 下縁 130
許容曲げ引張応力度	15kg/cm ²	-	-
初期圧縮応力度	350	-	-
粗骨材最大寸法	25mm	25mm	

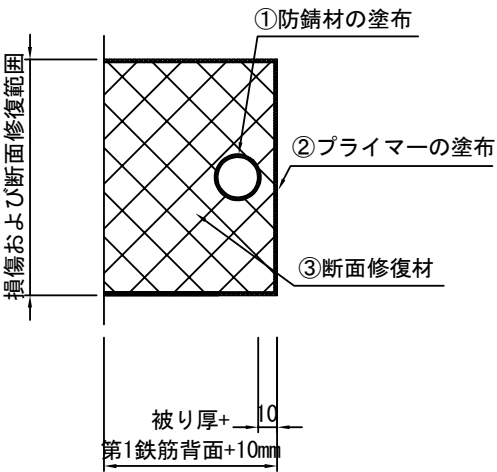
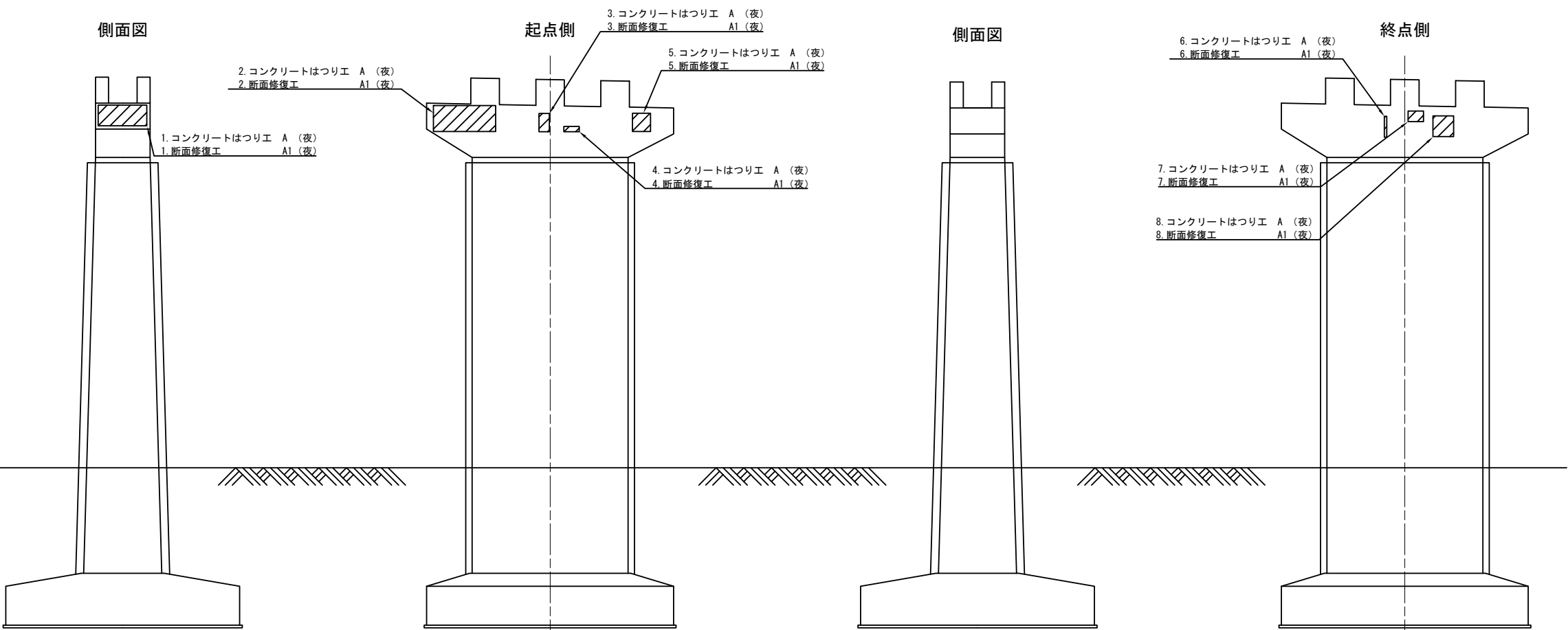
P C 鋼 線	12-φ7
引 張 強 度	155kg/mm ²
降伏点応力度	135
設計荷重作用時許容応力度	93
プレストレスング	1215



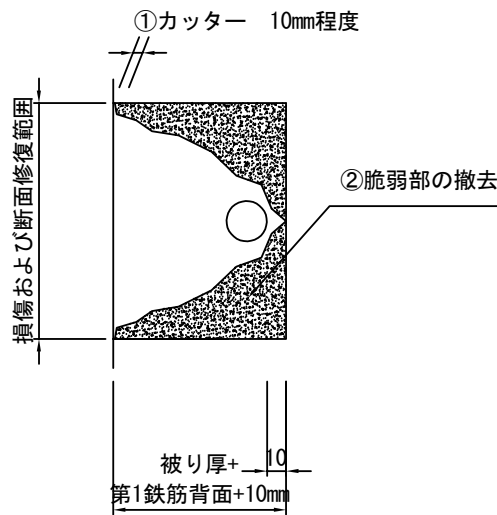
横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	橋梁一般図 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	30 / 39
設計会社名	信和設計株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上り線
P1橋脚

断面修復工 施工標準図



コンクリートはつりエ 施工標準図



コンクリートはつりエ A (夜) 数量表 (P1橋脚-上り線)

位置	単位	数量	計算根拠	備考
1	m3	0.113	$1.80 \times 2.10 \times 0.03$	t=30mm
2	m3	0.072	$1.00 \times 2.40 \times 0.03$	t=30mm
3	m3	0.008	$0.70 \times 0.40 \times 0.03$	t=30mm
4	m3	0.003	$0.20 \times 0.60 \times 0.03$	t=30mm
5	m3	0.014	$0.70 \times 0.70 \times 0.03$	t=30mm
6	m3	0.002	$0.80 \times 0.10 \times 0.03$	t=30mm
7	m3	0.007	$0.40 \times 0.60 \times 0.03$	t=30mm
8	m3	0.019	$0.80 \times 0.80 \times 0.03$	t=30mm
計	m3	0.238		

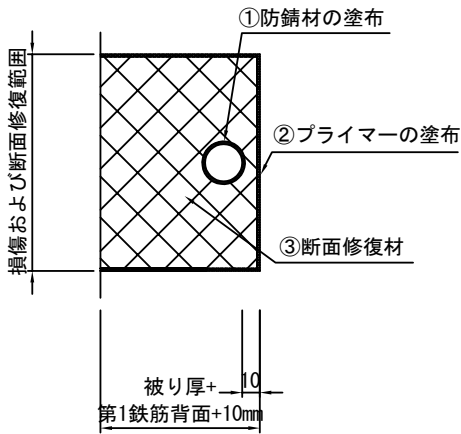
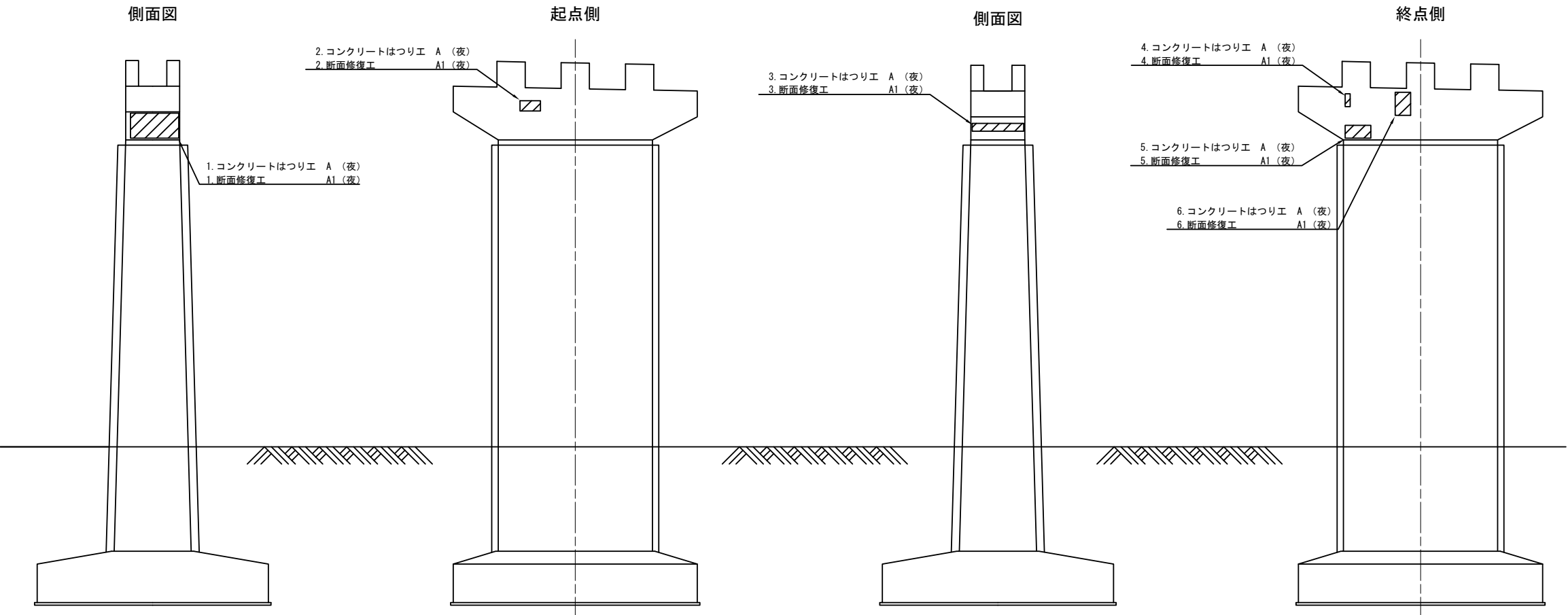
断面修復工 A1 (夜) 数量表 (P1橋脚-上り線)

位置	単位	数量	計算根拠	備考
1	L	491.4	$1.80 \times 2.10 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
2	L	312.0	$1.00 \times 2.40 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
3	L	36.4	$0.70 \times 0.40 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
4	L	15.6	$0.20 \times 0.60 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
5	L	63.7	$0.70 \times 0.70 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
6	L	10.4	$0.80 \times 0.10 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
7	L	31.2	$0.40 \times 0.60 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
8	L	83.2	$0.80 \times 0.80 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
計	L	1043.9		

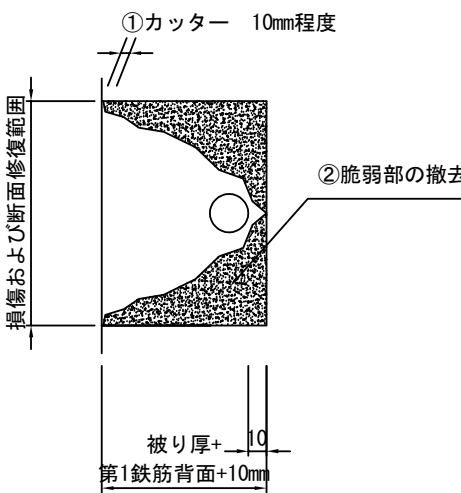
横浜 須賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	断面修復工 詳細図 (1)		
縮 尺	—	図面番号	31 / 39
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上り線
P2橋脚

断面修復工 施工標準図



コンクリートはつリエ 施工標準図



コンクリートはつリエ A (夜) 数量表 (P2橋脚-上り線)

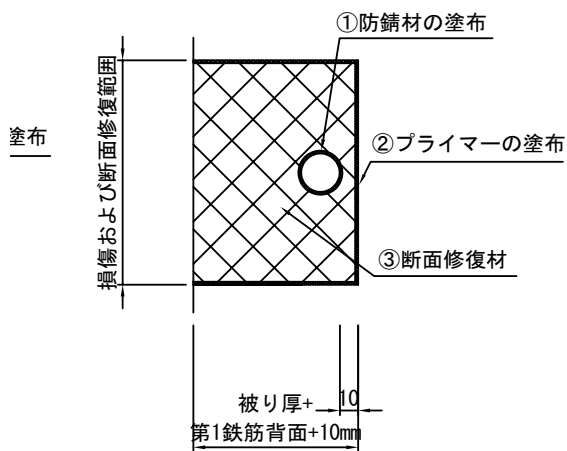
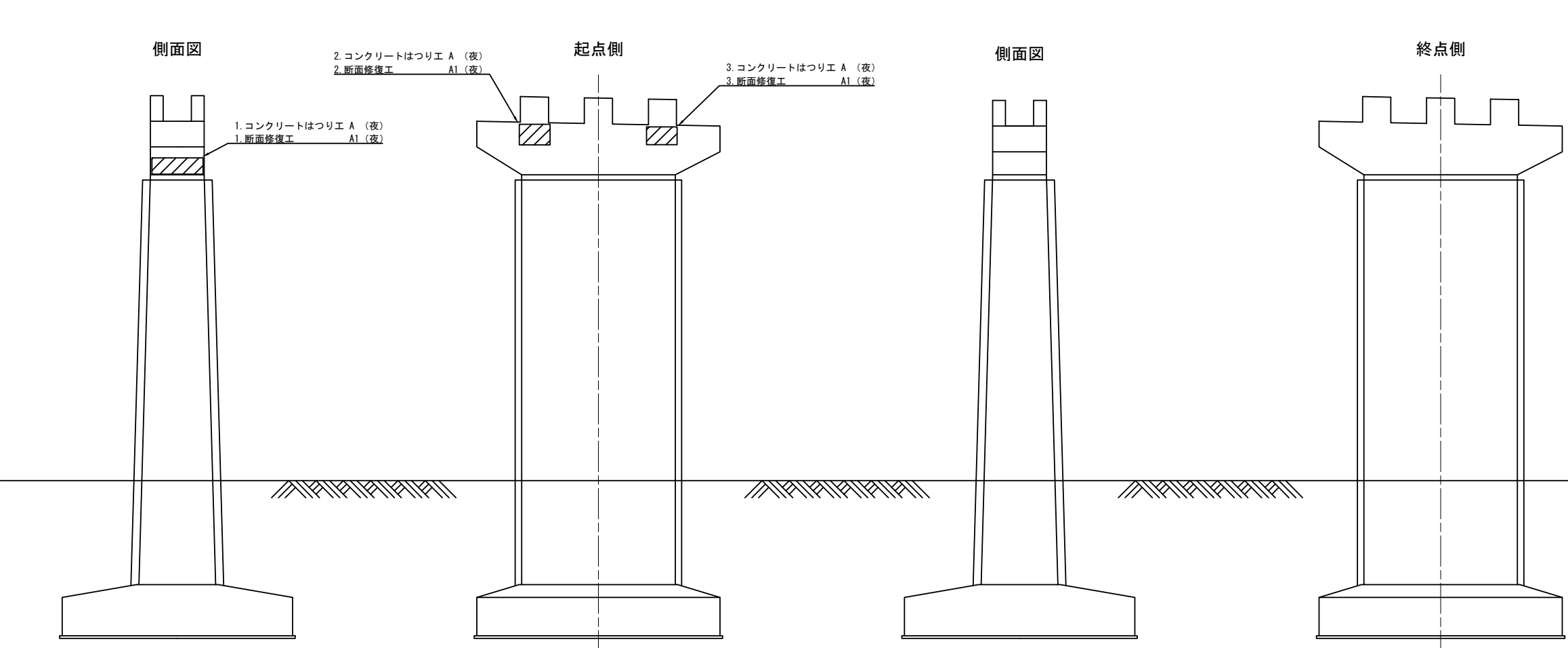
位置	単位	数量	計算根拠	備考
1	m3	0.090	$2.00 \times 1.50 \times 0.03$	t=30mm
2	m3	0.009	$0.40 \times 0.80 \times 0.03$	t=30mm
3	m3	0.006	$0.20 \times 1.00 \times 0.03$	t=30mm
4	m3	0.003	$0.50 \times 0.20 \times 0.03$	t=30mm
5	m3	0.015	$0.50 \times 1.00 \times 0.03$	t=30mm
6	m3	0.016	$0.90 \times 0.60 \times 0.03$	t=30mm
計	m3	0.139		

断面修復工 A1 (夜) 数量表 (P2橋脚-上り線)

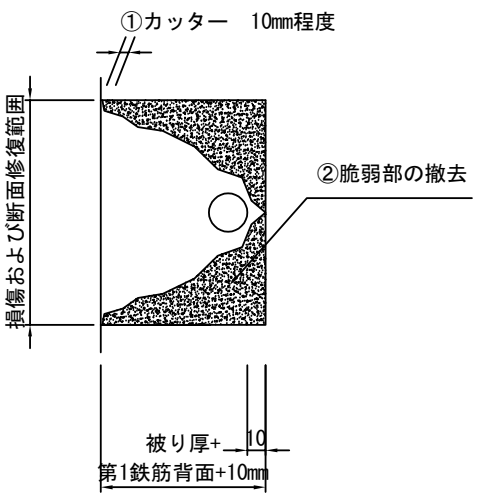
位置	単位	数量	計算根拠	備考
1	L	390.0	$2.00 \times 1.50 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
2	L	41.6	$0.40 \times 0.80 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
3	L	26.0	$0.20 \times 1.00 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
4	L	13.0	$0.50 \times 0.20 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
5	L	65.0	$0.50 \times 1.00 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
6	L	70.2	$0.90 \times 0.60 \times 0.13 \times 1000$	t=130mm
計	L	605.8		

上り線
P5橋脚

断面修復工 施工標準図



コンクリートはつリエ 施工標準図



コンクリートはつリエ A (夜) 数量表 (P5橋脚-上り線)

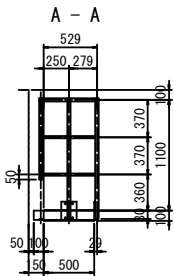
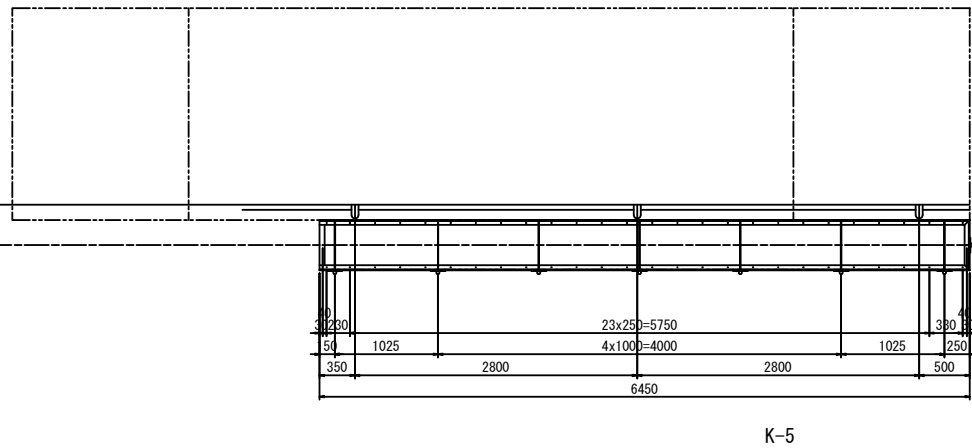
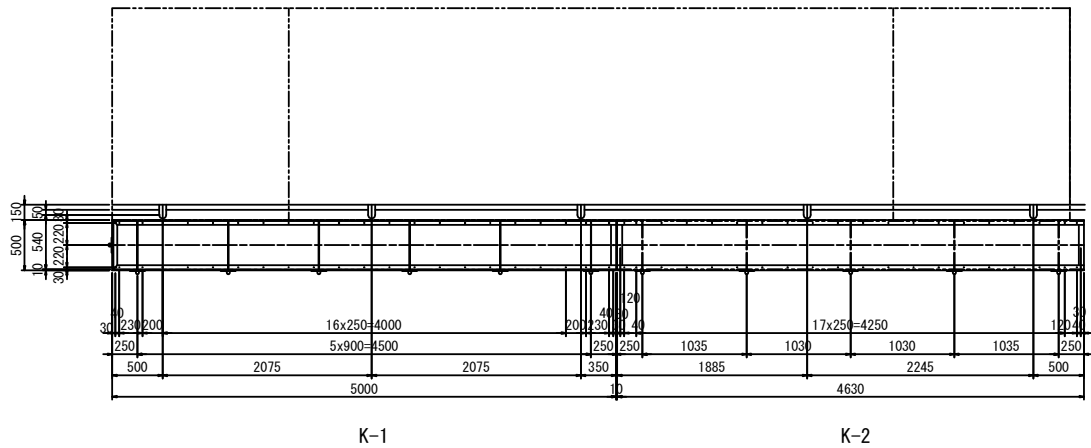
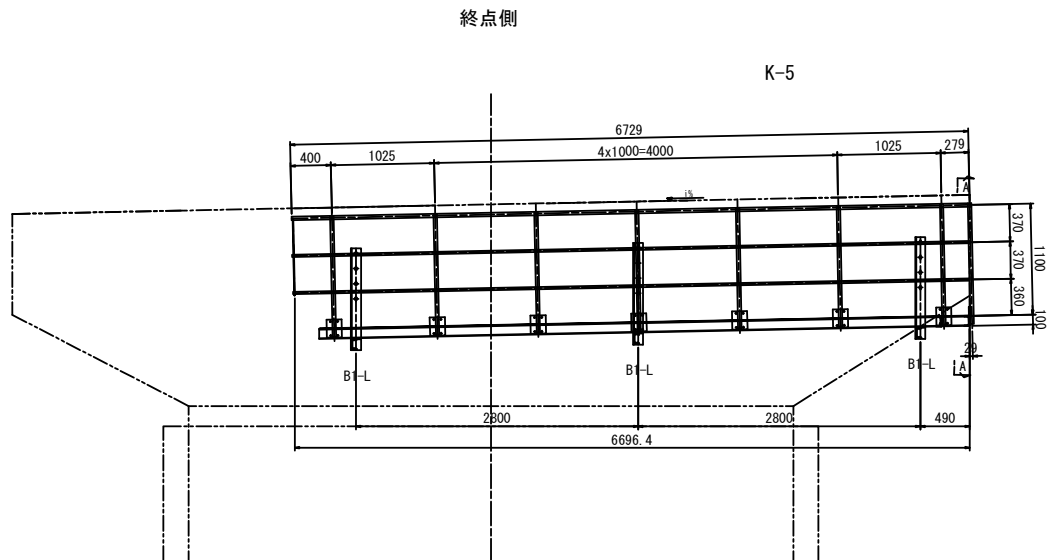
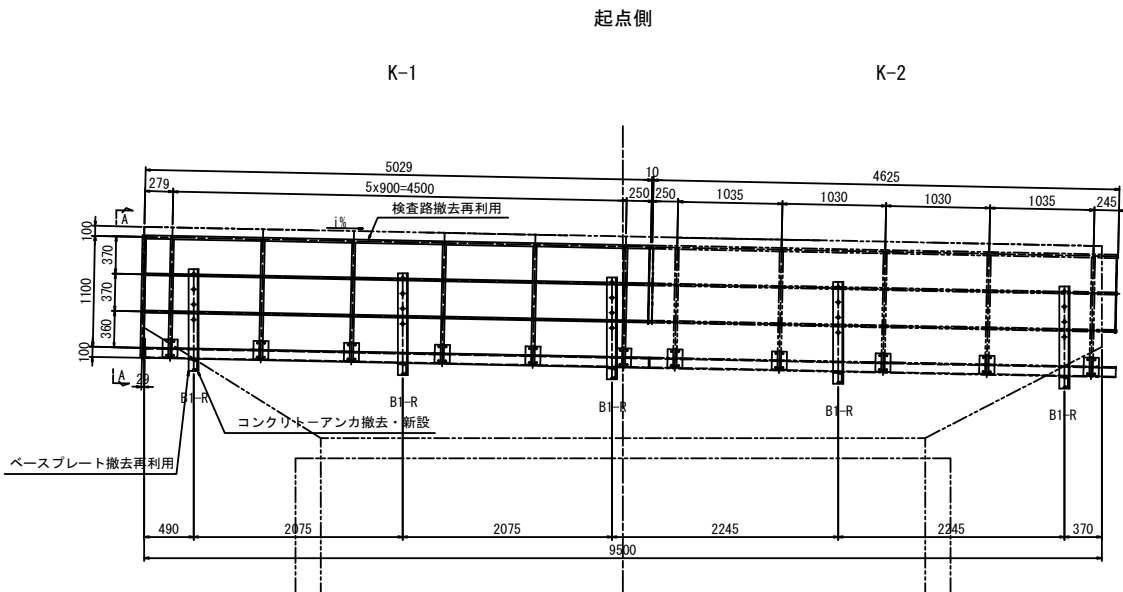
位置	単位	数量	計算根拠	備考
1	m3	0.072	1.20×2.00×0.03	t=30mm
2	m3	0.025	0.70×1.20×0.03	t=30mm
3	m3	0.028	0.80×1.20×0.03	t=30mm
計	m3	0.125		

断面修復工 A1 (夜) 数量表 (P5橋脚-上り線)

位置	単位	数量	計算根拠	備考
1	L	312.00	1.20×2.00×0.13×1000	t=130mm
2	L	109.20	0.70×1.20×0.13×1000	t=130mm
3	L	124.80	0.80×1.20×0.13×1000	t=130mm
計	L	546.0		

横浜須賀道路 水取沢高架橋橋梁補修工事			
図面の種類	断面修復工 詳細図(3)		
縮尺	—	図面番号	33 / 39
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

上り線
P1橋脚



撤去・復旧材料:K-1

- 1-Pipe φ34x2.3x563 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2.3x5046 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2.3x807 (STK400)
- 7-Pipe φ34x2.3x1180 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x224 (STK400)
- 4-Pipe φ21.7x1.9x1004 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x226 (STK400)
- 1-FB 44x6x762
- 1-FB 44x6x784
- 1-Spl Pipe φ27.2x1.9x100 (STK400)
- 10-PL 150x6x180
- 20-BN M16x45 (2-W付)
- 1-ChPL 590x3.2x4950
- 2-[100x50x5x7.5x5000
- 2-[100x50x5x7.5x500
- 6-FB 50x6x490
- 6-FB 50x6x100
- 1-FB 50x6x800
- 3-PL 80x9x480
- 44-BN M10x30 (1-SW, 1-W付)

撤去・復旧材料:K-2

- 1-Pipe φ34x2.3x4619 (STK400)
- 5-Pipe φ34x2.3x1180 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x221 (STK400)
- 4-Pipe φ21.7x1.9x1009 (STK400)
- 4-Pipe φ21.7x1.9x1004 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x226 (STK400)
- 1-FB 44x6x762
- 1-FB 44x6x784
- 1-Spl Pipe φ27.2x1.9x100 (STK400)
- 10-PL 150x6x180
- 20-BN M16x45 (2-W付)
- 1-ChPL 590x3.2x4610
- 2-[100x50x5x7.5x4650
- 2-[100x50x5x7.5x500
- 5-FB 50x6x490
- 5-FB 50x6x100
- 1-FB 50x6x800
- 2-PL 80x9x480
- 42-BN M10x30 (1-SW, 1-TW付)
- 2-Spl P1 80x9x320
- 8-BN M16x50 (2-W, 1-SW付)

撤去・復旧材料:K-5

- 1-Pipe φ34x2.3x6765 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2.3x563 (STK400)
- 2-Pipe φ34x2.3x807 (STK400)
- 8-Pipe φ34x2.3x1180 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x574 (STK400)
- 4-Pipe φ21.7x1.9x999 (STK400)
- 8-Pipe φ21.7x1.9x974 (STK400)
- 4-Pipe φ21.7x1.9x277 (STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x224 (STK400)
- 16-PL 150x6x180
- 32-BN M16x45 (2-W付)
- 1-ChPL 590x3.2x6450
- 2-[100x50x5x7.5x6450
- 2-[100x50x5x7.5x500
- 7-FB 50x6x490
- 7-FB 50x6x100
- 1-FB 50x6x800
- 3-PL 80x9x480
- 54-BN M10x30 (1-SW, 1-TW付)

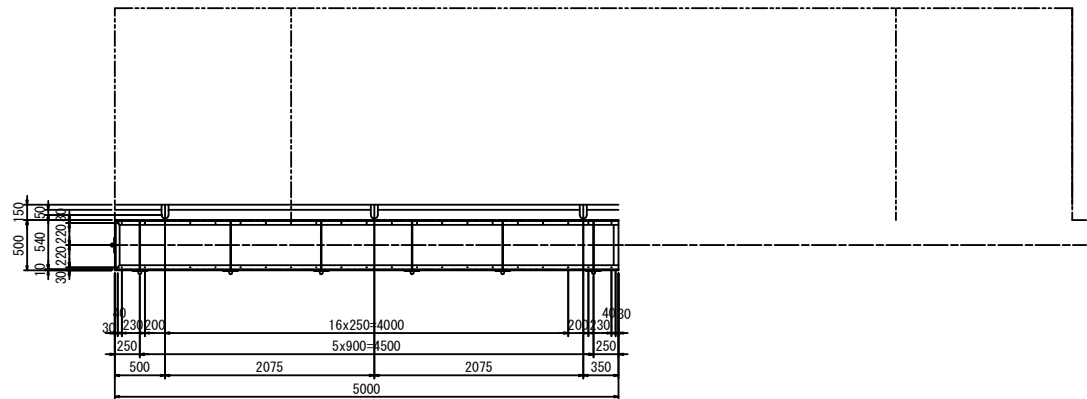
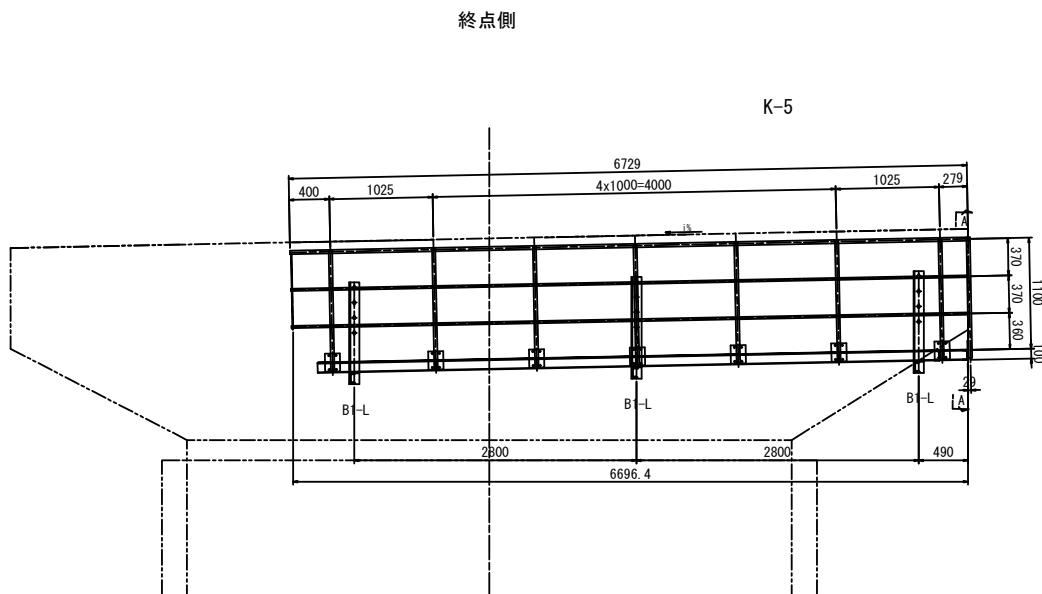
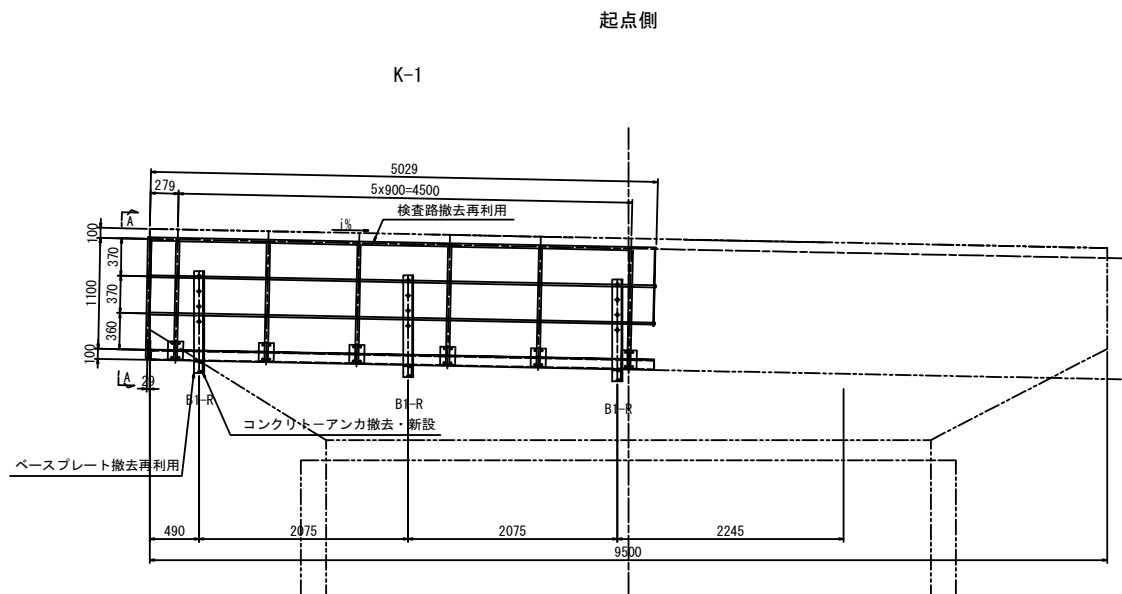
【検査路撤去再設置工 数量表】

区 分	単 位	数 量	備 考
A(夜)	t	0.801	P1橋脚

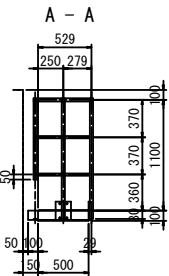
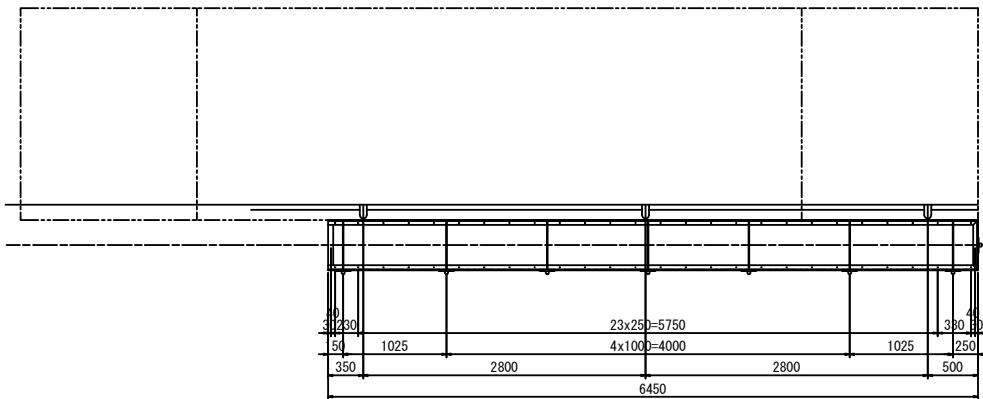
注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	検査路撤去再設置工 詳細図 (1)		
縮 尺	1:75	図 面 番 号	34 / 39
設計会社名	信和設計株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上り線
P2橋脚



	i (%)
P2	2.000



撤去・復旧材料:K-1

- 1-Pipe φ34x2. 3x563 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2. 3x5046 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2. 3x807 (STK400)
- 7-Pipe φ34x2. 3x1180 (STK400)
- 2-Pipe φ21. 7x1. 9x224 (STK400)
- 4-Pipe φ21. 7x1. 9x277 (STK400)
- 10-Pipe φ21. 7x1. 9x874 (STK400)
- 2-Pipe φ21. 7x1. 9x221 (STK400)
- 1-FB 44x6x762
- 14-PL 150x6x180
- 26-BN M16x45 (2-W付)
- 1-ChPL 590x3. 2x4950
- 2-L 100x50x5x7. 5x5000
- 2-L 100x50x5x7. 5x500
- 6-FB 50x6x490
- 6-FB 50x6x100
- 1-FB 50x6x800
- 3-PL 80x9x480
- 44-BN M10x30 (1-SW, 1-W付)

撤去・復旧材料:K-5

- 1-Pipe φ34x2. 3x6765 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2. 3x563 (STK400)
- 2-Pipe φ34x2. 3x807 (STK400)
- 8-Pipe φ34x2. 3x1180 (STK400)
- 2-Pipe φ21. 7x1. 9x574 (STK400)
- 4-Pipe φ21. 7x1. 9x999 (STK400)
- 8-Pipe φ21. 7x1. 9x974 (STK400)
- 4-Pipe φ21. 7x1. 9x277 (STK400)
- 2-Pipe φ21. 7x1. 9x224 (STK400)
- 16-PL 150x6x180
- 32-BN M16x45 (2-W付)
- 1-ChPL 590x3. 2x6450
- 2-L 100x50x5x7. 5x6450
- 2-L 100x50x5x7. 5x500
- 7-FB 50x6x490
- 7-FB 50x6x100
- 1-FB 50x6x800
- 3-PL 80x9x480
- 54-BN M10x30 (1-SW, 1-TW付)

注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

【検査路撤去再設置工 数量表】

区 分	単 位	数 量	備 考
A(夜)	t	0.577	P2橋脚

横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事			
図面の種類	検査路撤去再設置工 詳細図(2)		
縮 尺	1:75	図 面 番 号	35 / 39
設計会社名	信和設計株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

伸縮装置補修工 詳細図 (1)

上り線P1, P2, P5

S=1:50

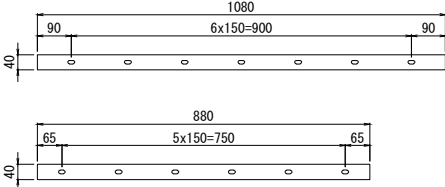
【伸縮装置補修工 C 材料数量】

- 1-湿式止水材 7950
1-防塵フォーム (100×100) L=1250
L=1050
2-端部ジャバラ蓋
2-排水パイプ 50A×300 (CR) [止水ゴム付]
2-排水パイプ 50A×3000 (PVC) [導水用]
2-排水パイプカフス 50A用 (EPDM)
2-排水パイプ継手管 50A用 (SUS304)
4-排水パイプ継手バンド 50A用 (SUS304)
6-排水パイプ固定金具 50A用 (SUS304)

36 / 39

標準ウエブ間隔	+15℃時	30mm
最大ウエブ間隔	-5℃時	38mm
最小ウエブ間隔	+35℃時	22mm
	+5℃時	34mm

金具詳細図 S=1:20



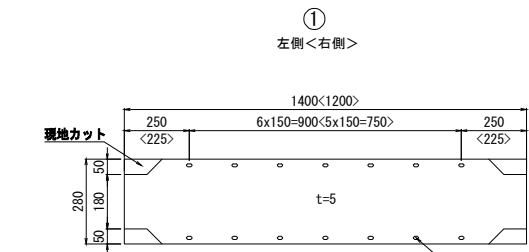
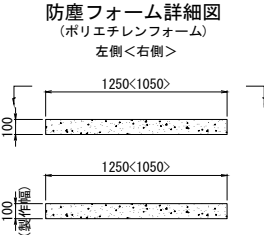
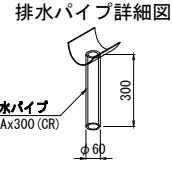
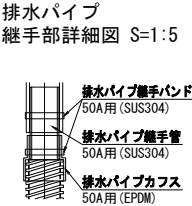
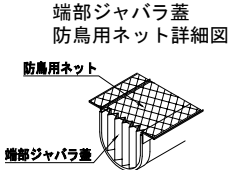
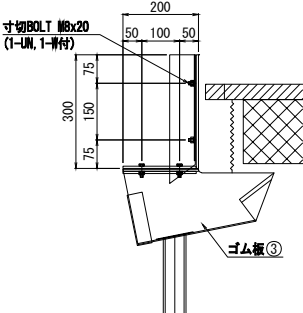
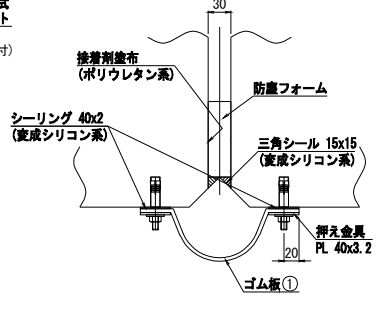
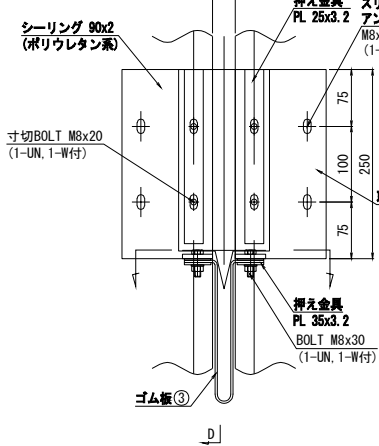
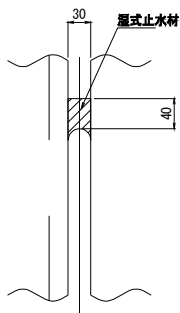
- 2-PL 40×3.2×1080
2-PL 40×3.2×880
26-スリッパ型アンカーボルト M8×70 (1-UN, 1-W付)

若番側 A - A S=1:10 老番側

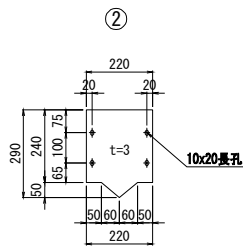
若番側 B - B S=1:10 老番側

若番側 C - C S=1:10 老番側

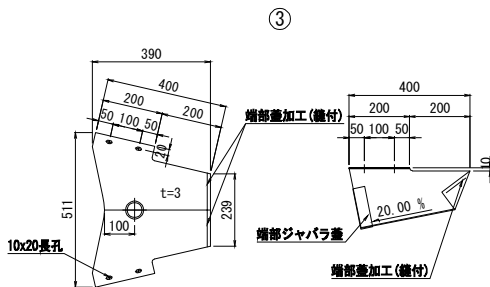
D - D S=1:20



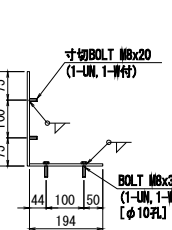
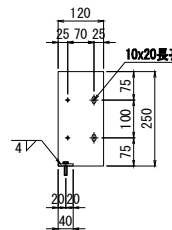
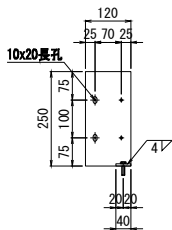
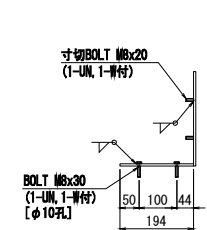
① 1-ゴム板 280×5×1400<1200> (CR)



② 2-ゴム板 220×3×290 (CR)

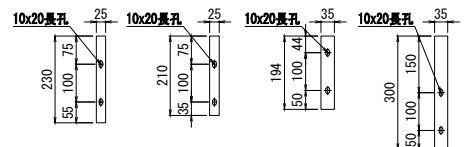


③ 2-ゴム板 511×3×390 (CR)

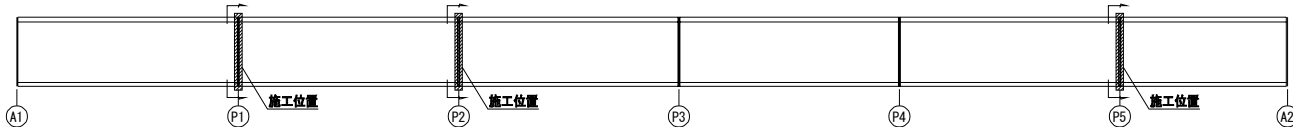


- 【P1, P2, P5共通鋼材数量】
4-PL 40×6×194
4-PL 120×6×250
4-PL 25×3.2×230
4-PL 25×3.2×210
4-PL 35×3.2×194
4-PL 35×3.2×300
8-寸切BOLT M8×20 (1-UN, 1-W付)
8-BOLT M8×30 (1-UN, 1-W付)
24-スリッパ型アンカーボルト M8×70 (1-UN, 1-W付)

- 注記
1. 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
2. SS材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。ただしボルト類はHDZT49とする。
3. ゴム板の導水用排水パイプの流末処理方法は協議の上決定すること。
4. 接着剤 (t=3) に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー (0.2kg/m²) を塗布すること。
5. 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。
現地調査の結果、コンクリート面に不陸や欠損がある場合、あるいは桁道間内の既設物の設置状況によっては施工不可とし、別途止水構造を検討するものとする。
6. 新設するナットは、ゆるみ止めナットを使用すること。



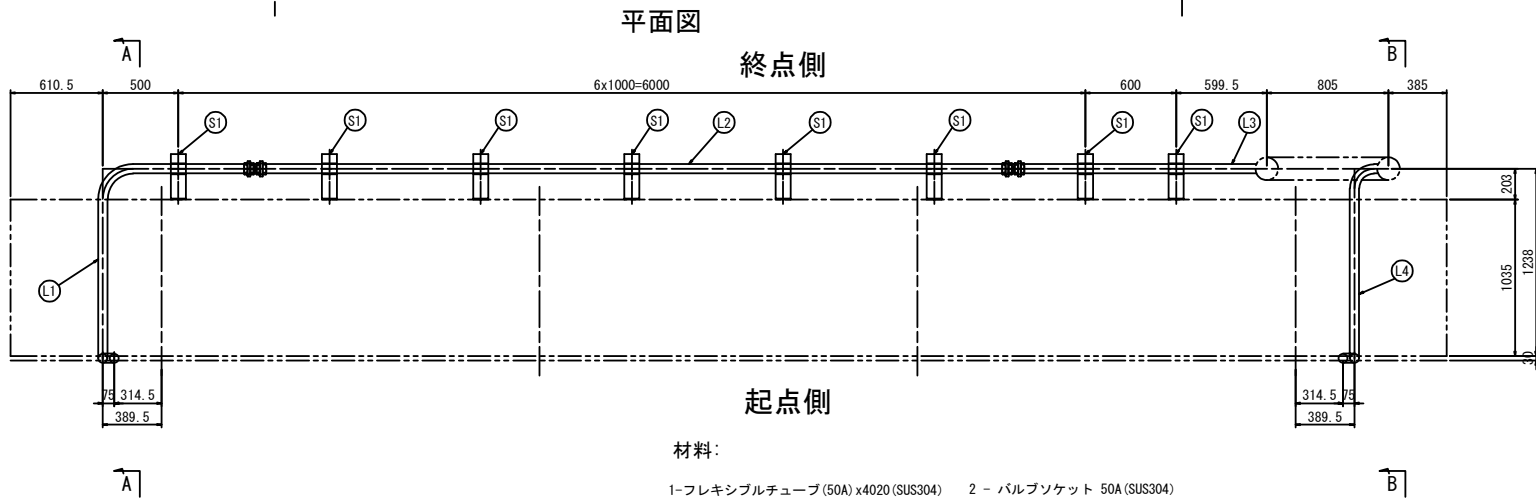
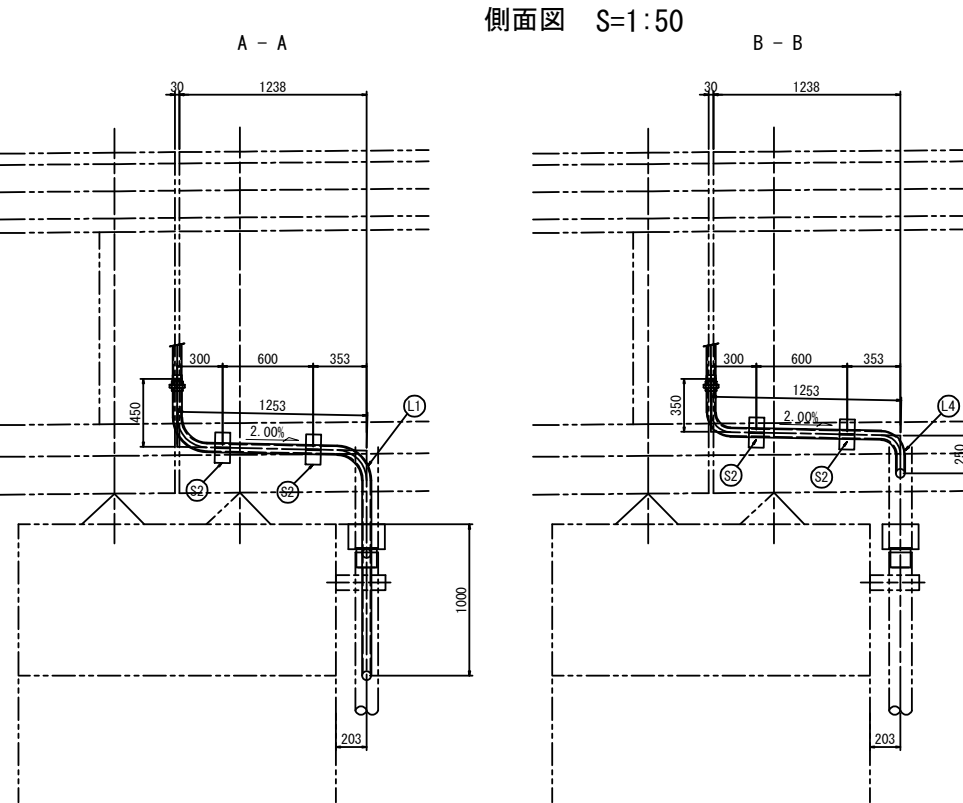
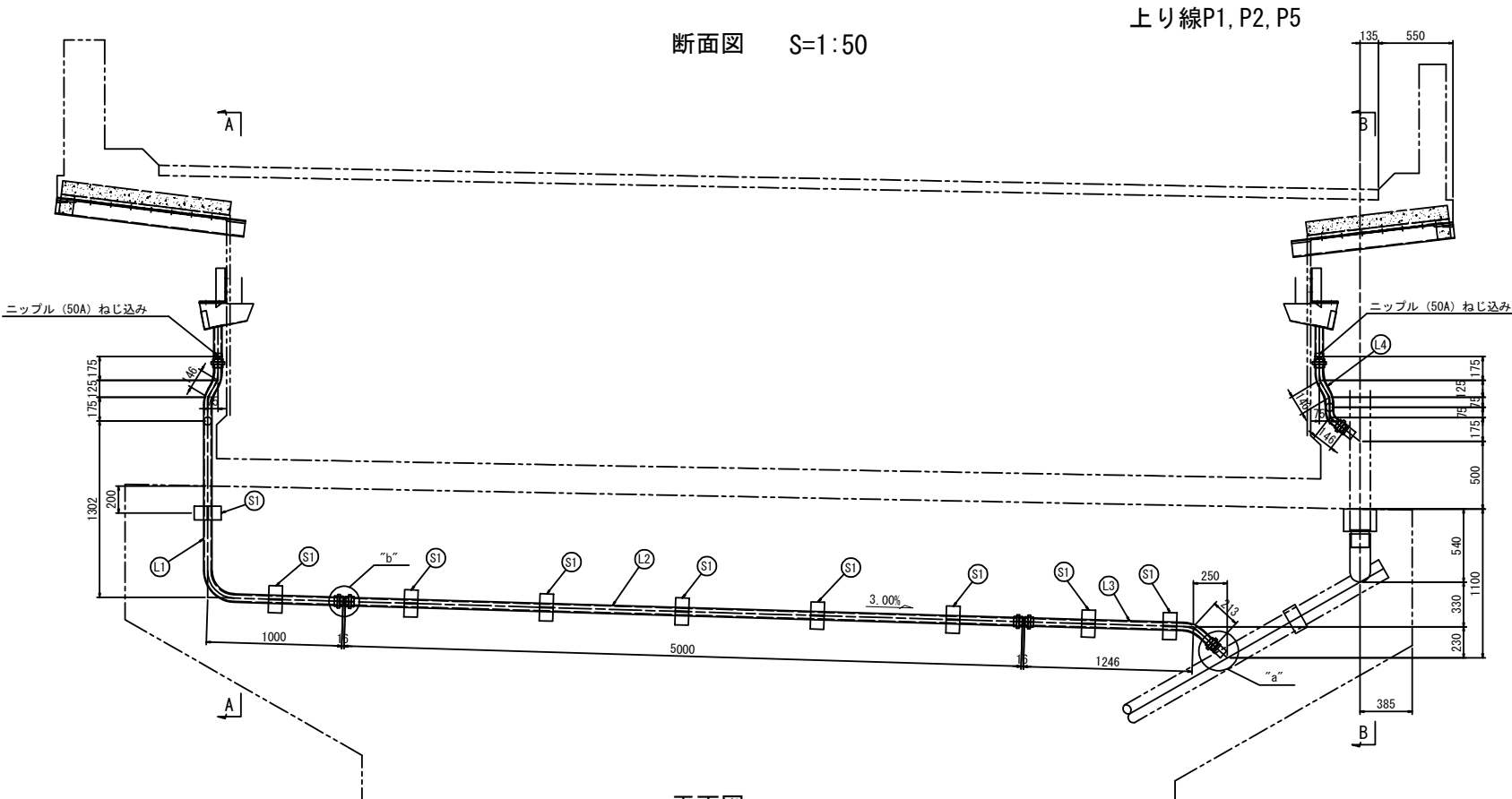
配置図



【伸縮装置補修工 数量表】

区分	単位	数量	備考
C(夜)	箇所	3	P1,P2,P5

横浜 横浜 須賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事	
図面の種類	伸縮装置補修工 詳細図 (1)
縮 尺	図 示 図 面 番 号 36 / 39
設計会社名	信和設計株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所



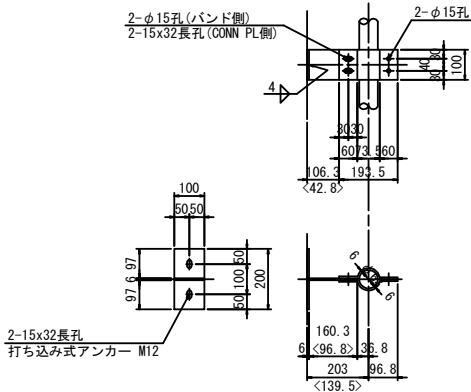
材料:

- 1-フレキシブルチューブ (50A) x4020 (SUS304)
- 2- バルブソケット 50A (SUS304)
- 1-フレキシブルチューブ (50A) x5000 (SUS304)
- 4- ニップル (50A) (SUS304)
- 1-フレキシブルチューブ (50A) x1460 (SUS304)
- 1-フレキシブルチューブ (50A) x1840 (SUS304)
- 9- S1
- 4- S2

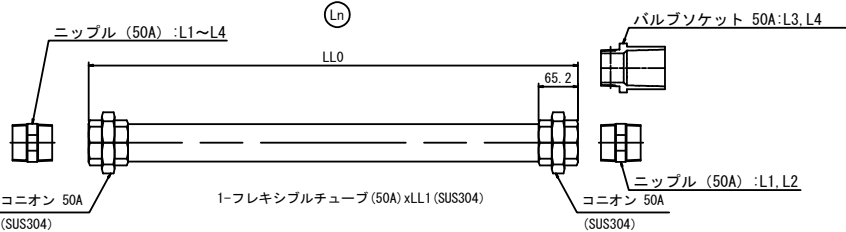
支持金具 縮尺 1:25

①<②>

製作数:9<4>

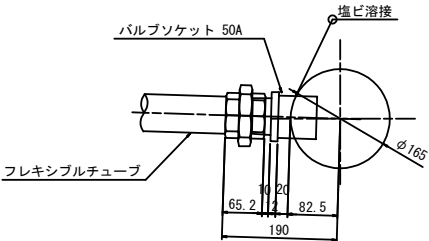


フレキシブルチューブ詳細 縮尺 1:12.5



	L1	L2	L3	L4
LL0	4014	5000	1459	1833
LL1	4020	5000	1460	1840
ニップル (50A)	1	1	1	1
バルブソケット 50A	-	-	1	1

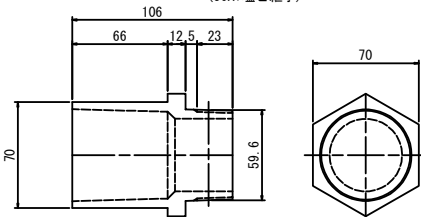
“a”部詳細 縮尺 1:12.5



バルブソケット詳細 縮尺 1:5

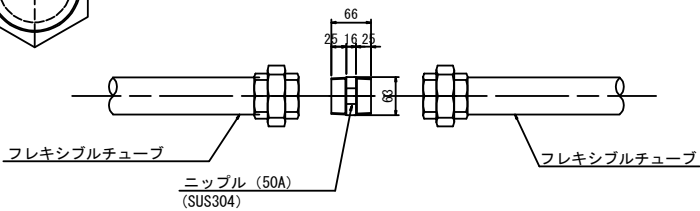
製作数:2

(50A:塩ビ継手)



“b”部詳細 縮尺 1:12.5

製作数:2



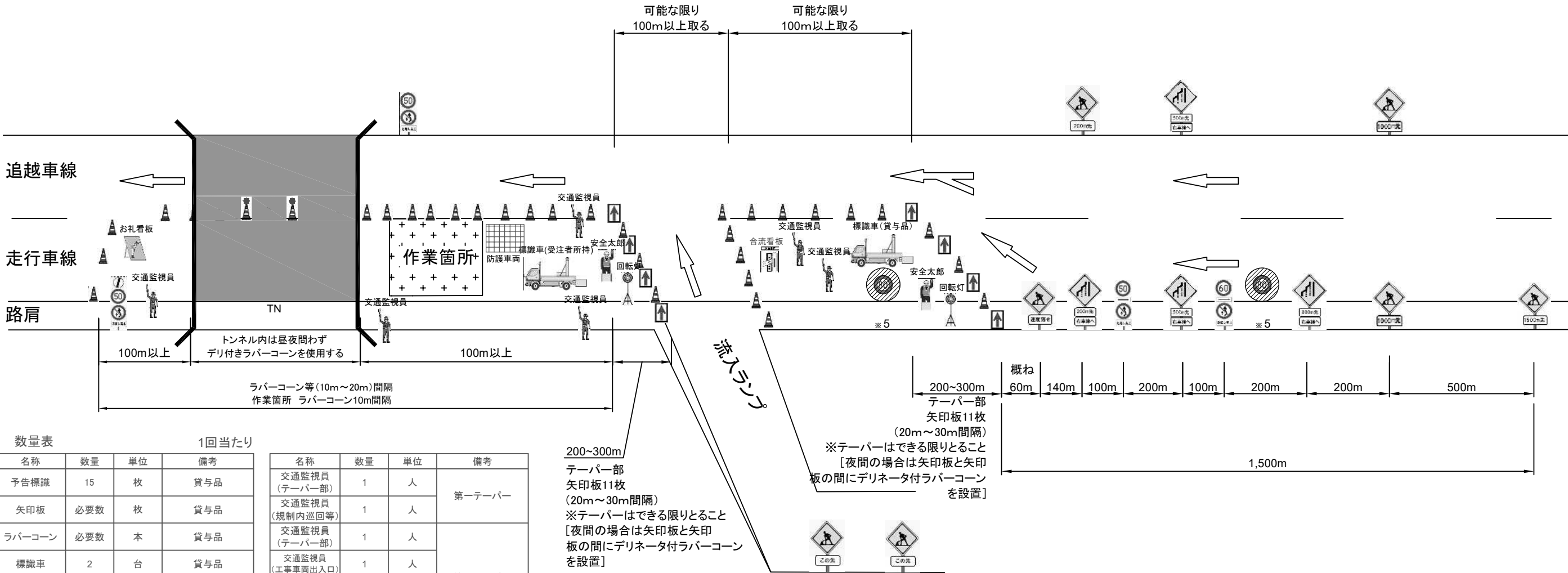
注記

- 1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 2. SS・SM材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。膜厚は JIS H 8641 HDZT77とする。ただしボルト類はHDZT49とする。
- 3. 排水流末部は現場調査後に製作のこと。
- 4. 新設するナットは、ゆるみ止めナットを使用すること。

横 浜 横 須 賀 道 路 水 取 沢 高 架 橋 橋 梁 補 修 工 事	伸縮装置補修工 詳細図(2)
縮 尺	図 示 図 面 番 号 37 / 39
設計会社名	信和設計株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所

交通規制工 詳細図 (1)
車線規制 A1(夜)

【横浜横須賀道路】 走行規制(2車線区間 : 夜間)



数量表				1回当たり
名称	数量	単位	備考	
予告標識	15	枚	貸与品	
矢印板	必要数	枚	貸与品	
ラバーコーン	必要数	本	貸与品	
標識車	2	台	貸与品	
保安ロボット	2	台	貸与品	
標識等安全施設 (標示板)	2	枚	貸与品	
標識等安全施設 (保安灯)	必要数	本	貸与品	
標識等安全施設 (回転警告灯)	2	台	貸与品	
防護車両	1	台	受注者持ち	
標識車 (後尾警戒車)	1	台	貸与品	
発炎筒(15分)	12	本	テーパ設置撤去 受注者持ち(※)	
発炎筒(5分)	24	本	中分予告標識設置撤去 受注者持ち(※)	

名称	数量	単位	備考
交通監視員 (テーパ部)	1	人	第一テーパ
交通監視員 (規制内巡回等)	1	人	
交通監視員 (テーパ部)	1	人	第二テーパ
交通監視員 (工事車両出入口)	1	人	
交通監視員 (施工箇所)	1	人	
交通監視員 (規制内巡回等)	1	人	

200~300m
テーパ部
矢印板11枚
(20m~30m間隔)
※テーパはできる限りとること
[夜間の場合は矢印板と矢印
板の間にデリネータ付ラバーコーン
を設置]

※後尾警戒車の配備
後尾警戒車はテーパ先端から 概ね2000m手前に配備する。

標示内容

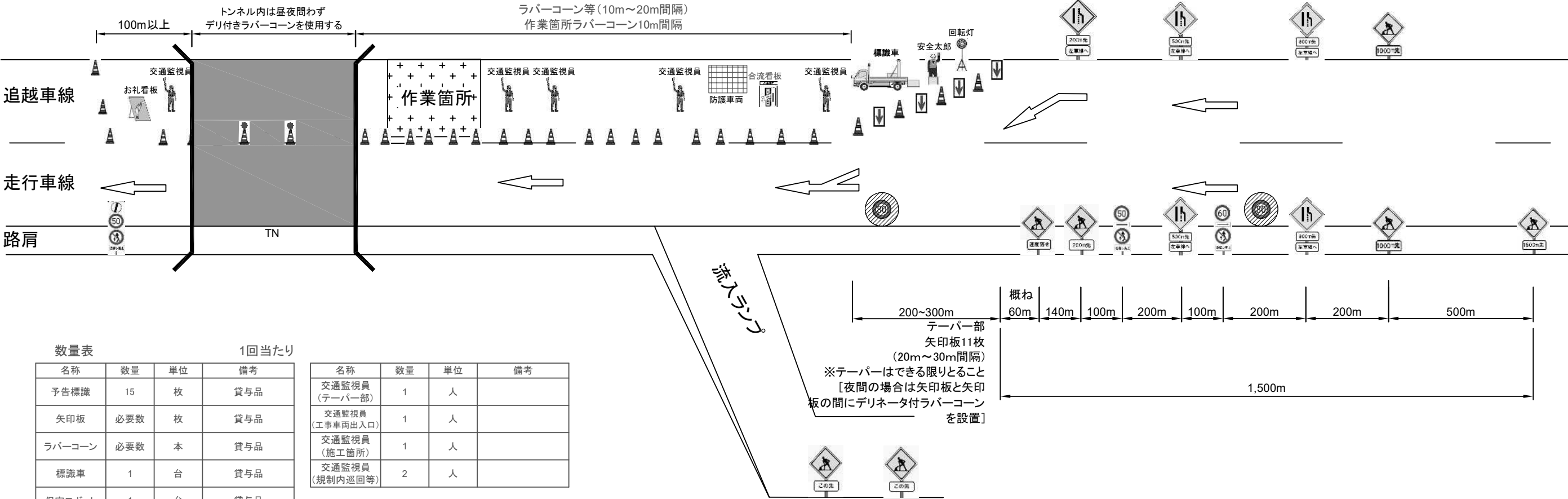
この先
工事
速度落せ

この先
渋滞
追突注意

(※)発炎筒は設置・撤去各3本の使用を基本とする
本線の速度規制標識「80」は布等で隠す

交通規制工 詳細図 (2)
車線規制 A2(夜)

【横浜横須賀道路】 追越規制(2車線区間 : 夜間)



数量表		1回当たり	
名称	数量	単位	備考
予告標識	15	枚	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
標識車	1	台	貸与品
保安ロボット	1	台	貸与品
標識等安全施設 (標示板)	2	枚	貸与品
標識等安全施設 (保安灯)	必要数	本	貸与品
標識等安全施設 (回転警告灯)	1	台	貸与品
防護車両	1	台	受注者持ち
標識車 (後尾警戒車)	1	台	貸与品
発炎筒(15分)	6	本	テーパー設置撤去 受注者持ち(※)
発炎筒(5分)	24	本	中分予告標識設置撤去 受注者持ち(※)

名称	数量	単位	備考
交通監視員 (テーパー部)	1	人	
交通監視員 (工事車両出入口)	1	人	
交通監視員 (施工箇所)	1	人	
交通監視員 (規制内巡回等)	2	人	

(※)発炎筒は設置・撤去各3本の使用を基本とする
本線の速度規制標識「80」は布等で隠す

※後尾警戒車の配備
後尾警戒車はテーパー先端から 概ね2000m手前に配備する。

標示内容

この先
工事
速度落せ

この先
渋滞
追突注意